○ R5取り組み状況について(集計表)

具体	的な取組の柱													実施	する	機関						—			資料	<u>‡</u> _
_	事 項									かす										村稲						Γ
[主な内容	目標時期	土浦市	石岡市	能ケ崎市	鹿嶋市	潮来市	稲 敷 市	みが うら 市	神 栖 市	行 方 市	鉾 田 市	小美玉市	美 浦 村	阿 見 町	河 内 町	利 根 町	香取市	事務組合	茨 城 県	千葉県	気象庁	鉄道㈱ 物	鉄道㈱ 鹿島臨海	
	具体的な取組																			市町		Щ.				L
	ハード対策の主な取組)洪水を河川内で安全に	流す対策																								_
ſ	①優先的に実施する堤防整備	•無堤区間、堤防断面不足区間	H28年度から 順次実施																		0					
ŀ	②優先的に実施する波浪対策	·波浪対策対象区間	H28年度から 順次実施																							Ī
	③危機管理型ハード対策	・高齢者が特に多い地域等において、危機管理型	順次実施																							r
		ハード対策等を概成 																								L
	①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	引き続き実施																		Δ					
	②防災行政無線の改良、防災 ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から 順次実施	•	•	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0							
	③水防活動を支援するための 新技術を活用した水防資機材 等の配備	・水防活動を支援するための新技術を活用した水防 資機材等の配備	H28年度から 順次実施	×	•	0	•	0	0	0	•	•	•	0	•	•	0	0	Δ		0					
	④簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水位計(危機管理型水位計含む)や量水標、CCTV カメラ(監視用カメラ含む)等の設置 ・POTEKAの設置	H28年度から 順次実施	0	•	•	×	Δ	•	•	•	Δ	•	•	•	0	Δ	×			0					
	⑤浸水時においても災害対応 を継続するための施設の整備 及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設 の整備及び自家発電装置等の耐水化	H28年度から 順次実施	•		•			•			Δ				•	Δ									
	⑥内水被害危険箇所の対策、 排水ポンプの準備	- 移動式ポンプの増設等 - 消防車両ポンプの転用	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	•	0	0	•	•	0	0	•	•	•	•	Δ			0					
	⑦重要インフラの機能確保を 図るため、病院、市役所など重 要施設の雨水排水整備の実施	・沿川の地方公共団体や民間事業者等との情報交換を十分に行い、高規格堤防の整備との共同事業を積極的に地方公共団体や民間事業者等に提案する取組を実施し、新規着工に向けた調整・検討。	順次実施	•	Δ		×	0	Δ	×	Δ	Δ	Δ	•	Δ	0	Δ	Δ			Δ					
	⑧河川防災ステーションの整備	・協議会等の場を活用して、河川防災ステーションの整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市 町村等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調 整。	順次実施																							Ī
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	災害活動拠点施設となる事務所及び事務所をつな ぐ重要な通信中継施設の停電対策、通信機器の整 備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の 増強等を実施。	順次実施	•	Δ	•	×	0	Δ	0	•	Δ	Δ	•	Δ	•	Δ	0			Δ					
体	的な取組の柱													実施	する	機関										
1	事 項	主な内容	目標時期	土浦	石岡市	能ケ崎	鹿嶋	潮来	稲敷	かすみがう	神栖	行方市	鉾田	小美玉	美浦:	阿見	河内	利根町	香取市	村圏事務組	茨城	千葉県	気象庁	鉄道㈱	鉄道㈱海	
	具体的な取組			市	т	崎市	市	市	市	う 市	市	т	市	市	村	町	町	шј	m	合域 市 町	県	県	П	物物	海	
	①想定最大規模降雨による浸 水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	H28年度から実 施 H29年度(県)																		0					L
	②想定最大規模降雨による氾 濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの 公表	H28年度から 順次実施																		0					
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	H28年度から 順次実施	Δ	Δ	•	Δ	•	Δ	0	•	•	•	•	0	-	•	•	0		•	Δ	0			L
	④広域避難を考慮したハザー ドマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から 実施	0	•	•	•	•	Δ	0	•	•	•	•	0	•	•	•	0		0	Δ				
	プ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた 検討を行う	H28年度から 実施	Δ	Δ	0	0	•	0	0	Δ	Δ	•	Δ	0	Δ	•	0	0							1
	ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計 画の作成及び訓練の促進			Δ	Δ	0	•	•	Ο Δ	0	Δ	•	•	•	0	•	•	0	0		0	0	Δ			
	⑥要配慮者利用施設の避難計	検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する	実施 H28年度から							0					0						0	0	Δ			
(2	⑥要配慮者利用施設の避難計 画の作成及び訓練の促進	検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する	実施 H28年度から							•					0						0	0	Δ			
(2	⑥要配慮者利用施設の避難計 画の作成及び訓練の促進) 避難指示の発令に着目 ①避難指示の発令に着目した	検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・実配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整 市町村と協同し、策定を支援	実施 H28年度から 実施 H28年度から	Δ	Δ	0	•	0	Δ		0	•	0	•		•	0	0	0							
(2	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進)避難指示の発令に着目 ①避難指示の発令に着目した タイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準 に基づいた、マイ・タイムライン	検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地巻・市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	実施 H28年度から 実施 H28年度から 順次実施 H28年度から	•	Δ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	0		0	0	Δ			
(2	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進)避難指示の発令に着目した タイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準 に基づいた、マイ・タイムライン の作成 ③「マイ・タイムライン」作成講	検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成を促進する	実施 H28年度から 第28年度から 順次実施 H28年度から 順次実施 H28年度から	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	0 0		0	0	Δ			
(2	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・・ップセミナーの開催 ・自治体訓練に参加 の風と型防災訓練のモデルの構築	実施 H28年度施 H28年度 度 から 原 を から 順 次 実 度 から 順 次 実 度 変 施 H28年度 度 から 所 から 所 から 所 から 所 から	•	•	•	• 0	•	Δ Δ	•	•	•	•	•	0 •	•	•	•	0 0		0 0	0 0	Δ Δ			

○ R5取り組み状況について(集計表)

		取り組み状況につい	· C \ *	= 1	10	. /																				
具体	な的な取組の柱 									か				実施	する	機関				稲						
	事項	主な内容	目標時期	土浦市	石岡市	龍ケ崎	鹿嶋市	潮来市	稲敷市	すみがう	神栖市	行方市	鉾田市	小美玉市	美浦村	阿見町	河内町	利根町	香取市	村圏事務	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道㈱物	鉄道 鉄 道 線	関東地整
	具体的な取組			-,-		市		1,12	112	市	112			市	.,				,,,,	組域合市町	<i>,</i> ,	,,	,,	物物	""海	整
(3)防災教育や防災知識の)普及																								
	①水災害に事前準備に関する 問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	Δ	0	•	•	•	•	•	Δ	•	•	•		•		•			
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行って いく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	0	Δ	•	•	0	0	•	Δ	Δ	0	0	0		0	•	•			
	③教員を対象とした講習会の 実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行って いく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	×	0	•	Δ	•	0	0	0		Δ	Δ	0	0		•	•	•			
	④小学生を対象とした防災教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行って いく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	•	•	0	0	•	•	•	0	0	•	0	Δ	•	0	0		0	Δ	•			
	⑤出前講座等を活用した講習 会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	0	•	•	Δ	Δ	0	0	0	•	•	•	0		0	Δ	•			
	⑥プッシュ型の洪水予報等の 情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	H29年度から実 施	•	0	•	•	•	Δ	•	•	•	•	•	•	0	0	•	0		0					
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する ・市公式サイトに川の防災情報をリンク付けし情報共 有している	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Δ	Δ	Δ	0		0					
	⑧許可工作物管理者への防災 教育の実施	・操作規則作成に必要な情報の提供及び支援 ・履行検査における周知	H28年度から 順次実施	0	Δ	•	0	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ					
具体	的な取組の柱													実施	する	機関										
	事 項	主な内容	目標時期	土浦	石岡	龍ケ崎	鹿嶋	潮来	稲敷	かすみがう	神栖	行方	a は 田 七	小美玉	美浦	阿見	河内	利根	香取	村圏事務	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道㈱	鉄道㈱	関東地整
	具体的な取組			市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	村	町	町	町	市	組域合市町	県	県	П	物物	棉海	整
1 -		②洪水氾濫による被害の軽減、避難 の実施及び水防体制の強化	時間の確保	₹のt:	<u>-</u> めの	水防	活動	の取	組																_	_
	①水防団等への連絡体制の再 確認と伝達訓練の実施	・情報伝達訓練等の実施	H28年度から 実施	•	0	•	0	0	0	•	•	0	0	0	•	•	•	0	0							
	②水防団同士の連絡体制の確 保	・連絡体制の確保	H28年度から 実施	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	•	•	0	•	0	0							
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間 の共同点検	・国が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加 ・人員不足、多くの対象箇所があることなどから取り 組み方法については、今後検討していく必要があ ス	H28年度から 実施	•	•	0	•	0	Δ	0	•	•	•	•	0	•	•	0	0	0	0	0	0			
	④関係機関が連携した実働水 防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加・利根川水系連合水防演習に参加する	引き続き 定期的に実施	×	Δ	•	×	Δ	•	0	•	0	Δ	•	•	•	•	0	0	0	0	0	•			
	⑤水防活動の担い手となる水 防協力団体の募集・指定を促 進	・団員による声かけやコミュニティーFMでの募集 ・広報誌やホームページ等で募集していく	引き続き実施	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	•	0	0	•	0	•	•	0	Δ							
	⑥地域の建設業者による水防 支援体制の検討・構築	・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構 築	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	•	•	Δ	Δ	•	•	•	•	0	•	0	×	•							
	⑦内水被害危険箇所の把握及 び情報共有	・関係自治区との情報共有	H28年度から 順次実施	•	Δ	0	•	0	0	•	0	0	•	•	0	×	0	0			0	0				
	⑧重要水防箇所の見直し及び 水防資機材の確認	・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施。	順次実施	•	•	•	×	0	Δ	Δ	•	0	Δ	•	0	Δ	•	0	•	Δ	0	0				
	③水防に関する広報の充実 (水防団員確保に係る取組)	- 協議会等の場を活用して、水防団員の募集、自主 防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広 報の進め方について検討の上、順次実施するととも に、必要に応じて本省としても水防団員募集に係る 広報を実施。	順次実施	0	0	•	•	0	Δ	Δ	0	0	0	•	0	0	Δ	0	Δ	Δ	•					
	⑩水防訓練の充実	・引き続き、多様な関係機関、住民等の参加により、 より実践的な水防訓練となるよう、必要に応じて訓練 内容の検討、調整をし改善を図りつつ実施。	順次実施	×	Δ	•	×	0	Δ	0	0	Δ	Δ	0	0	•	•	0	•	Δ	0	0				
	⑪水防関係者間での連携、協 カに関する検討	・協議会等の場を活用し、大規模な氾濫に対してより 広域的、効率的な水防活動が実施できるよう、必要 に応じて関係者の協力内容等について検討・調整し 改善を図る。	順次実施	0	Δ	•	×	Δ	0	Δ	0	Δ	0	0	0	0	Δ	0	Δ	Δ	0	0				
具体	的な取組の柱													実施	する	機関										
	事項	主な内容	目標時期	土浦市	石岡市	龍ケ崎・	鹿嶋市	潮来市	稲敷市	かすみがう	神栖市	行方市	鉾田市	小美玉	美浦村	阿見町	河内町	利根町	香取市	村圏事務	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道㈱	鉄道㈱	関東地整
	具体的な取組					市				市			.,,	市	13		~1	,	.,,	組域 合市 町		- 10	.,	物物	**"海	整
1 -	ノフト対策の主な取組 1)排水計画(案)の作成及	③一刻も早い生活再建及び社会経済なび排水訓練の実施	A活動の回行	复をす	可能と	:する	ため	の排	水活	動の	取組															
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ	•	•	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	Δ	Δ			
	(条)の作成 ②排水訓練の実施	・関係自治体が実施する訓練への参加	H28年度から 実施	0	Δ	0	×	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		0	Δ	Δ			
	③内水被害危険箇所の排水計 画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供 ・浸水による機能停止リスクが高い下水道施設約70	H28年度から 順次実施	0	Δ	Δ	×	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	Δ	Δ			
	④排水設備の耐水化	箇所(水密扉の設置等約10箇所)、河川の排水機場 約20箇所について、排水機能停止リスク低減策を概 ね完了。	R3年度から 順次実施 R3年度から		Δ	•	×	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ	_							
Ш	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供●:実施済、○:実施中(検討中を含	順次実施	施に	△ うけた	△ 取組	× を継糸	 売、 >	△ < :実	△ 施して	ムいな	△ い、	△ ■:対	○ 象外.	_ △ 	△ 卡着色	│ △ !:前年	△	の変	化	Δ	Δ	Δ			2

●:実施済み、O:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

		関東地整					気象庁						
項 3	内容	実施内容	実施内容	実放 着手	期間	H31(R1)年度実績		度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	实施机
ハード対策の主 (1)洪水を河	主な取組 可川内で安全に流す対策			, ,,,	, ,,,		*				* *		
① 每 #	先的に実施する堤防整備	-無堤区間											
0.827	CHITCAME / COMMULE STO	-境防断面不足区間											
②優先	先的に実施する波浪対策	·波波対策対象区間(約14km)											
③危機	幾管理型ハード対策	- 危機管理型ハード対策等											
(2)避難行罪	動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備												
①雨量ための	量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達する の基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備を実施していく											
②防災	災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布												
③水防配備	防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の	・ 新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備											
④ 簡易	易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・量水標、カメラの設置											
⑤浸水 自家务	水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び 発電装置等の耐水化	・自家発電装置等の耐水化											
⑥内 オ	水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	移動式ポンプの増設等											
⑦重要設の再	要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施 雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施											
		・河川防災ステーションの整備を進める											
9庁書	舎等の防災拠点の強化	- 防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等											
頁 事 目 項	内容	関東地整 実施内容	実施内容	実施	期間	H31(R1)年度実績	気象庁 実施状況 R3年	度実績	実施状況	 R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施
	な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動の		Z/10F 1-1	<u> </u>	完了	1101(117)平汉人报	110-	X / 150		八十人人		八〇十八八八呎	
	難を考慮したハザードマップの作成・周知等 定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表											
②想定	定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表											
③広場	減避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供および策 定を支援	・H28年度	•R7年度	・鬼怒川・小貝川広域避難検討会に参加 ・現時点において支援作業は生じて いない。(銭子)	O ・令和3年度の支持ない(水戸・銚子)	爰作業は生じてい	△ ・令和・ ない(オ	4年度の支援作業は生じてい ベ戸・銚子)	• 令和 ない(15年度の支援作業は生じて 水戸・銚子)	IV.
④広垣	或避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援											
⑤まる	るごとまちごとハザードマップ整備·拡充												
⑥要商	記慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	•R7年度	・要配慮者施設の避難確保計画作成に係る講習会において、段階的に 発表する防災気象情報の避難行動 への活用について説明(10/25土浦市ほか)	△ ・令和3年度の支持ない(水戸・銚子)	爰作業は生じてい	△ ・令和・ない(対	4年度の支援作業は生じてい K戸・銚子)	令和ない(15年度の支援作業は生じて 水戸・銚子)	SUN
⑦ハサ報の記	ザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情 舌用												
(2)避難指示	示の発令に着目したタイムラインの作成					言に係る資料等は整っている	△ 言に係る資料等に	は整っている .(水	Δ .	= /> o#=====		, - , , , , , ,	- I
①避難	推指示の発令に着目したタイムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提供	・関東地方整備局、県、市町村と協 同し、策定を支援	・H28年度	•R7年度	・現時点において支援作業は生じていない。(銚子)	戸・銚子)	E 2 C 0 000		ュラインの策定にあたってのほ る資料等は整っている(水戸	ty ・タイ: 言に 銚子)	ムラインの策定にあたって(系る資料等は整っている(水)助
②避勤作成訓	植指示の発令の判断基準に基づいた、、「マイ・タイムライン」 講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度		・タイムラインの第 言に係る資料等に 戸・銚子)	支援作業は生じて	△ 言に係 戸・銚・現時		言に(子) ・現時	ムラインの策定にあたってで 系る資料等は整っている。(・点において支援作業は生り、(水戸・銚子)	銚
③ 「マ・	イ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進							·令和· (水戸·	4年度の参加実績なし 銚子)	• 令和	15年度の参加実績なし(銚子	子)
49 7	「ムラインに基づく実践的な訓練	・トップセミナーの開催 - 自治体訓練に参加	・自治体訓練への参加や支援	•H28年度	•R7年度	・6/29 龍ケ崎市 洪水時情報伝達 演習に参加 ・現時点において支援作業は生じて いない。(銚子)	・12月3日潮来市 △ タイムライン講習: (水戸) △ ・令和2年度の参う (銚子)			4年度の参加実績なし 銚子)	(水戸	は体が実施する訓練に参画(う) 15年度の参加実績なし(銚子	
⑤気気	象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象に 配性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善		- 警報等における危険度の色分け表示: 「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 【H28年度 防災関係機関を対象に試行】【H29年度出水期~】		•R7年度	・平成29年7月3日より気象庁HPに で公開及び気象情報提供システム にて各自治体に提供開始している。 31年度から同システムにで「流域両 豊指数の予測値」の監視地点を地 図上に表示する。 ・令和元年12月から危険度分布に国 直轄河川において浸水想定区域の 重ね合わせて表示するよう改善。	・線状降水帯キー 顕著な大雨に関 開始(水戸・銚子) ・記録的短時間大 実施(水戸・銚子) ・「台風の暴風域 達する熱帯低気[供を開始(水戸・剣	「る情報の発表を 雨情報の改善を こ入る確率」の発 Eの段階からの提	前から ・洪水・ (水戸・ ・大雨:	降水帯による大雨の半日程 の呼びかけ(水戸・銚子) キキクル(危険度分布)の改 ・銚子) 特別警報(浸水害)の指標改 5・銚子)	大30:	な大雨に関する気象情報 分前に前倒して発表する。 用を改善 特別警報(浸水害)の指標 子)	よう
⑥洪力 築)	水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構	・ホットラインの実施体制を確認。 ・洗水対応別線や超種訓練等の実施 ・タイムラインへの反映											

○ R5取り組み状況について(個票)

The state of the	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	・問い合わせ窓口の対応へのサ ポート	・H28年度	•R7年度	・問い合わせ窓口を設置している が、現時点においてサポートは生じ	・問い合わせ窓口を設置している が、現時点においてサポートは生じ	•	・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点においてサポートは生じ	問い合わせ窓口を設置していが、現時点においてサポートは
Part			7 - 7			ていない ・関係機関と連携した防災対応を行うた	ていない(水戸・銚子) ・関係機関と連携した防災対応を行うた		ていない(水戸・銚子) ・関係機関と連携した防災対応を行うた	ていない(銚子)
### PART OF THE PA						開催している ・台風の接近に伴う影響や防災上の留	リモート開催(水戸) ・地域住民を対象として、茨城県・防災		リモート開催(水戸) ・地域住民を対象として、茨城県・防災	
Control Cont			・関係機関と連携に効果的な対応			て、注意、警戒を呼びかけている ・気象台の見学やお天気教室のイベン	庁ワークショップを開催(水戸)	_	庁ワークショップを開催(水戸)	ステムを併用した台風説明会 し、県内全市町村及び関係起
Part)水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・市町村の要譲により出前譲座等を積極的に行ってして		•H28年度	•R7年度	実施している	意事項について、リモート会議システム を併用した台風説明会を開催し、県内		意事項について、リモート会議システム を併用した台風説明会を開催し、県内	子)
Part						士会及び気象予報士会と共同で気象 庁ワークショップを開催	る(水戸・銚子) ・市町村防災担当者を対象に防災気象		る(水戸・銚子) ・市町村防災担当者を対象に防災気象	象ワークショップをリモート開作
March Marc						本赤十字と共同で気象庁ワークショップ	ワークショップをリモート開催 (水戸・銚子)		ワークショップをリモート開催 (水戸・銚子)	
Marie Mari			- 教育委員会と連携し、効果的な対	uno fer etc	03/5/5			_		・学校に職員を派遣して、教員
Part	9. 教具を対象とした講音・歌の夫施	・中国村の安排により出削調度等を積極的に行っていく	応を検討する	*H28年度	·R/年度					
Part						関する講演を実施している	で防災に関する講演を実施している		で防災に関する講演を実施している	・小学校に職員を派遣、防災
Part	①小学生を対象とした防災教育の実施	- 市町村の要譲により出前講座等を積極的に行っていく		•H28年度	•R7年度	入れ、気象や防災に関して説明を	・小学生による気象台の見学を受け	•	・小学生による気象台の見学を受け	・小学生による気象台の見学 入れ、気象や防災に関して説
Part						11,500.00	行っている(水戸・銚子)		行っている(水戸・銚子)	
Marie Mari	S山前護庫学太子田」 た護羽会の宇体	, ※統一ト以中的博弈な生を経済の「行って」(・関係機関と連携し、効果的な対応	. 山20 年度	.D7年度	・市民講座等の催しに職員を派遣し	て、講習会を実施している(水戸・銚子)		て、講習会を実施している (水戸・銚子)	子)
Automotive	9日別時在今6日からに続きまり大心	Scini-6-> Changing 4-5 distrib-13 / CCA	を検討する	1120平及	-1(7年度	て、講習会を実施している	・対面による講演のはか、リモート会 議システムを活用した講演も実施し	_	議システムを活用した講演も実施し	議システムを活用した講演も
The content of the	シブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信								
Material	7)水付計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォン広どに氷竹計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する								
Comparison Com										
Part		・履行検査における周知								
### 1	J効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	7ための水切活動の収組								
中国										
####################################	②水防団同士の連絡体制の確保									
日本語画の代表を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の は同点は	・重要水防箇所等の共同点検を実施	・毎年、河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加して	・H29年度	•R7年度	参加	・令和3年度は参加対応なし (水戸・鉄子)	Δ	・令和4年度は参加対応なし (水戸・銚子)	・令和5年度は参加対応なし()
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日			l V			参加(銚子)	VIV 500 1 7			56.17
	①関係機関が連携した実働水防訓練の実施	- 水防管理団体が行う訓練への参加	・水防管理団体が行う訓練への参加、支援	・H28年度	•R7年度	加している	・令和3年度は参加対応なし (水戸・銚子)	Δ	害対策用機器操作講習に参加した (銚子)	利根川下流河川事務所主催 害対策用機器操作講習に参加
PAMER READ HOME AND PROTECTION A	の水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進								(水戸)	(SOCT)
選出版 無限の意思、近く 指定 報知の概念 選出版 無限の方法 日本	⑤地域の建設業者による水防支援体制の検討·構築									
選出版 無限的 反										
特別	7.内水被害危険箇所の把握及び情報共有									
決計開催者間での薄積、気力に関する機材 日本の日本書館の開催で記されるの協力性 日本の日本書館の開催で記されるの協力性 日本の日本書館の開催で記されるの協力性 日本の日本書館の開催で記されて、作成への協力性 日本の日本書館の開催で記されて、作成への協力性 日本の日本書館 日本の日本書館を含まりままり 日本の日本書館を含まり 日	②重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認									
決計開催者間での薄積、気力に関する機材 日本の日本書館の開催で記されるの協力性 日本の日本書館の開催で記されるの協力性 日本の日本書館の開催で記されるの協力性 日本の日本書館の開催で記されて、作成への協力性 日本の日本書館の開催で記されて、作成への協力性 日本の日本書館 日本の日本書館を含まりままり 日本の日本書館を含まり 日	9)水防に関する広報の夯実(水防団昌辞停1~ほよ取組)									
「技术形と力の整置側所の変更する。	A STANDARD OF STANDARD STANDAR									
の主な設備 3一部も利・主済再識及びは金銭用売物の回路を可能とするための技术活動の回題 技術機能(第)の中産及び縁水料機の実施 「排水ポンプの設置個所の選定まで 行うた場外末期 (第)の中産 で	小水防訓練の充実									
*** *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	①水防関係者間での連携、協力に関する検討									
・	の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復	を可能とするための排水活動の取組								
特殊が対象を表別の作成への協力作	水計画(案)の作成及び排水訓練の実施		・排水ポンプの設置個所の選定まで			. 田味 ちーヤハマ ゆき・ヘホール				. 田味よにおいて ルキ・ニ
12.0 F	〕排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(業)の作成	行った排水計画(案)の作成への協力	•H28年度	•R7年度	************************************	△ *** ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	Δ	** **********************************	*************************************
がから自国(来/下版・シスカ 1120十段 東は生じていない 2.1 東は上でいない 2.1	②排水訓練の実施	・水防訓練と同様に各自治体持ち回りで実施する	・自治体訓練への支援	・H28年度	•R7年度	・現時点において、訓練への支援作 業は生じていない	△ ・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子)	Δ		
・排水設備の耐水化 ・排水設備の耐水化 ・排水設備の耐水化 ・排水設備の耐水化 ・用時点に対して、体球への均力体 ・用時点に対して、体球への均力体 ・用時点に対して、体球への均力体 ・用時点に対して、体球への均力体	③内水被害危険箇所の排水計画(楽)の作成	- 作成に必要な情報の提供及び支援	・排水計画(案)作成への支援	・H28年度	•R7年度	・現時点において、作成への協力作 業は生じていない	□ ・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・蘇子)	Δ	・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子)	・現時点において、作成への†業は生じていない(水戸・鉢子
。用味与に対して 作成への切り作	D.排水設備の耐水化	- 捺水設備の耐水化								
							・現時点において 作成への払われ		・現時点において 作成への位われ	・現時点において 作成への

○ R5取り組み状況について(個票)

内容		宇施期即			茨城県		_		1		宇恢	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #			集				
対策の主な取組	実施内容	<u>実施期間</u> 着手 字	H31(R1)年度実	:績	R3年度績	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	<u>実施</u> 着手	完了	H31(R1)年度実績 実施状況	R	3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績
洪水を河川内で安全に流す対策							$\overline{}$												
	・流入7河川における河川改修の実 施【継続実施】		E度以 ・流入7河川において掘削・ ・売実施 梁改築・用地取得等を実施		O・流入7河川において掘削・築堤・橋 梁改築・用地取得等を実施した	・流入7河川において掘削・築堤・橋梁改築・用地取得等を実施した	0	・流入7河川において掘削・築堤・橋梁改築・用地取得等を実施した	0	・県管理区間では予定なし									
②優先的に実施する波浪対策																			
③危機管理型ハード対策																			
避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
	・雨量、水位、風向風速等の観測 データ及び洪水時の状況を把握・伝 達するための基盤の整備を実施して いく。	- ·H28年度 ·R7 ⁴	E度 ・CCTVカメラを新設。		〇 実施に向けた取り組みを継続	・クラウドによるメール配信サービスの整備検討	0	・クラウドによるメール配信サービスの整備	0	・県管理区間に施設なし									
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																			
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の 配備	・今後、水防資機材の補充・追加等 の際には、新技術を活用した水防資 機材による配備充実を図る。	·H28年度 ·R75	・各出先事務所へ新技術(: 配布し,訓練時の活用につ を実施	水のう)をいて指導	O ・資機材等の確認を行い、不足した 水防資機材を補充した。	・資機材等の確認を行い、不足した 水防資機材を補充した。	0	・資機材等の確認を行った。	0	・配備予定なし									
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・カメラの設置	•H28年度 •R75	・水位計の増設工事を実施 Vカメラを設置し画像の配信	E中。CCT 言を実施	増設箇所の選定を実施し、来年度に かけて増設予定 ※危機管理型水位計 簡易型カメラ	○ 危機管理型水位計及び簡易型河川 監視カメラの増設。	1 0	・水位計及び河川監視カメラの増設検討	0	・県管理区間で設置予定なし									
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び 自家発電装置等の耐水化	・県庁舎は浸水想定区域外				間勿生パアク					・県管理施設で予定なし									
	・内水被害危険箇所に関して関係機		・水害統計調査により、市町	町村との	・水害統計調査により、市町村との	・水害統計調査により、市町村との	#	・水害統計調査により、市町村との											
②附小板音/DIR 回用の対象、サハハンノの平端	関と情報の共有化を図っていく。	*H28年度 *R75	情報共有を図った	-11100	情報共有を図った。	情報共有を図った。		情報共有を図った。	0	予定なし									
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施 設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度 •R75	度		実施に向けた取り組みを継続	△ 実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ										
⑧河川防災ステーションの整備																			
③庁舎等の防災拠点の強化	防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	R3年度 -R75	- 度		実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ										
内容		宇施期即			茨城県		<u> </u>				宇体	# 129		千美					
 策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動6	実施内容	着手	円31(R1)年度実	績	R3年度実績	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	実施 着手	完了	H31(R1)年度実績 実施状況	R	3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	也内具上和推放工(a), 7 写点和内		#changuage R		新たに13河川の洪水浸水想定区域図		$\overline{\mathbf{T}}$	*** 1-507110 0 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1											
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定 区域図の公表	•H29年度 •R7	・指定17河川について, 見 新規公表を実施	担し及び	● を公表 (10河川を新規作成、3河川を区間延伸)	○ 新たに河川の洪水浸水想定区域図 を作成	-	・新たに56河川の洪水浸水想定区 域図を公表	0	・県管理区間での予定無し									
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・氾濫シミュレーションの検討	•H28年度 •R75	・氾濫シミュレーションの策 た検討	定に向け	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	0	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	0	・県管理区間での予定無し									
③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定 を支援 ・市町村が広域避難計画を策定する に当たっての課題等を整理したガイ ドラインを作成		・市町村の広域避難計画策算た た。 広域避難計画検討ワーキンプを設置し、「大規模水害時に 域避難集定ガイドライン」を作 +129.2f 大規模水害時に活味 東の連携に関する協定、高末 市、神極市、香取市」への資	ググルー における広 手成済み トる広域避 モ市、稲敷	・広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、「大規模水害時における広域避難策定ガイドライン」を作成済み	・広域避難計画検討ワーキンググ ループを設置し、「大規模水害時に おける広域避難策定ガイドライン」を 作成済み	ě	・広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、「大規模水害時における広域避難策定ガイドライン」を作成済み	•	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	・内閣府「首都圏における大規模水 害広域避難検討会」での検討・情報 収集 ・上記国検討会を受けた庁内検討組 線の設置及び検討・情報共有 ・実施に向けた取り組みを継続(香 取土木)	害広域避難	都圏における大規模水 検討会」での検討内容 こついて情報収集を行っ	合行くの保存を行うには、	制整備にあたり市町村より問い つせがあった場合は、適宜対応を う事で、市町村と連携を図ってい せて国等の検討結果を踏まえ、関 機関と連携を図りながら、検討を っていく。 京都な城避難の検討会に参画し は明度を完整い	Δ	・体制整備にあたり市町村より間 合わせがあった場合は、適宜対 行う事で、市町村と連携を図って く。 併せて国等の検討結果を踏まえ 係機関と連携を図りながら、検討 行っていく。
②広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定 を支援	E ·H28年度 ·R75	・指定17河川の浸水想定 提供	区域図の	•					・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	の設置及び検討・情報共有	広域避難検討などについて	水想定図(速報版)を市へ	· 内 图	級収集を実施) 関府「首都圏における大規模水 な域避難検討会」での検討内容 事例などについて情報収集を行っ	Δ	・市町村から問い合わせがあった に適宜対応。
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																			
6要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H30年度	- 市町村担当課への説明金開催 - 遊離確保計画の策定等に関す。 者向け送明金の開催(内4か月 - 土浦市延軽確保計画作成促進 雷会開催(R110) - 遅離確保(計画に基づく訓練の3 ((R22)	る施設管理 所で開催) のための講	•					・作成に必要な情報の提供	•H28年度		象に要配慮者利用施設の避難計画の 作成に係る管理者向けの講習会を実 施。 市町村防災課長や担当者に対し説明 会や防災体制向上のためのヒアリング	の作成の指導 へ依頼を行い 介した。 ・県の関係部 に基づく避難	局と連携し避難確保計画 まするよう、市の関係部局 、併せて先進事例等を紹 局と連携し避難確保計画 調像の実施するよう市の はずの依頼を行った。	おおに	町村地域防災計画への要配慮 利用施設の位置付けを促すととも 好事例を紹介するなどの支援を を		・市町村地域防災計画への要配成 者利用施設の位置付けを促すとと に、好事例を紹介するなどの支援 実施
②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情							_						A CEXABILITY	DATE NATION 1	1440 MARC 11 2720				
報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成							Т.												
	・関東地整、市町と協同し、策定を支援	·H28年度 ·R75	・水位情報の提供や避難権 令に係る基本的考え方を扱		0					-作成に必要な水位情報等の提供 ・関係市へ作成の支援	·H28年度	•R7年度	・水位情報等を提供	・関係市より かった。	作成支援の要請がな		町村より作成、支援要請があっ 易合は支援。	0	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、、「マイ・タイムライン」 作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度 •R75	度		・マイ・タイムライン作成講座を開催	〇 ・マイ・タイムライン作成講座を開催	0	・マイ・タイムライン作成講座を開催	0	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度			こてマイタイムラインの こついて、周知を実施し	0 1	ホームページにおいて、マイ・タ ュラインの作成方法等について周 を実施した。	0	・県ホームページにおいて、マイ・ イムラインの作成方法等について 知を実施した。
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施					・マイ・タイムライン作成講座を開催	○ ・マイ・タイムライン作成講座を開催	0	・マイ・タイムライン作成講座を開催	0							1	ホームページにおいて、マイ・タ ュラインの作成方法等について周 を実施した。	0	・県ホームページにおいて、マイ・ イムラインの作成方法等について 知を実施した。
③タイムラインに基づく実践的な訓練	図上型防災訓練のモデルの構築 図上型防災訓練の実施支援 訓練への参加	・H28年度 ・H29年度 ・R7 ² ・H28年度	・図上型防災訓練のモデルた た ・市町村からの支援要請な・県災害対策本部の図上割風水害対応訓練において、インを考慮して訓練した	اد	・県災害対策本部の図上訓練である 図水害対応訓練において、タイムラ インを考慮して訓練した	・県災害対策本部の図上訓練である ○ 風水害対応訓練において、タイムラ インを考慮して訓練した	5 0	・県災害対策本部の図上訓練である 風水害対応訓練において、タイムラ インを考慮して訓練した	0	-関係自治体訓練への参加	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・5/10に霞ヶ浦情報伝達訓練に参加 合都北本)	・国の情報位	達訓練を実施した。	0 •	の情報伝達訓練を実施した。	0	・国の情報伝達訓練に参加した。
⑤気象情報を信時の「危険度の色分け表示」、「聖報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																			
⑤洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構 策)																			

○ R5取り組み状況について(個票)

①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	·R7年度	窓口を設置し、随時間い合わせに対応する。	・問合せ内容に応じて、関係部署が 適宜対応した。	・問合せ内容に応じて、関係部署が 適宜対応した。	・問合せ内容に応じて、関係部署が 適宜対応した。	・設置予定なし							
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	: -H28年度	·R7年度	・水害の危険性が高い箇所を有する 最い消流域6市町で住民避難力強化 事業を実施 (現全体では17市町で実施)	・住民や小中学生、民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・学校の安全教育指導者研修において、マイ・タイムラインの紹介及び作成促進において、マイ・タイムラインでは講座を開催(WEB開催)・果庁見学で来庁した小学生に対か、リース型ロボットペッパーを活用した水防災講座を開催	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水・ケード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・ ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	•H28年度	•R7年度	・常陸川水門現地見学会に参加 【H29】	・市町村防災担当者向けの説明会の開催した。 ・ 市町村防災担当者向けの説明会の開催した。 ・ 市町村防災担当者向け、気象ワークショップ及び意見交換会を実施した。		・気象台と連携し、市町村防災担当 ・気象台と連携し、市町村防災担当 名向け、気象防災ワークショップ及 び意見交換会を実施した。	•
③教員を対象とした講習会の実施	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく。	· •H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ			・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	・H28年度	•R7年度	・教員に対する講習会を実施 ・防災授業実践研修会(管理職対象 の部)において、第子地方気象台の 次長を講師として招き、防災情報の 活用について」の講話を行い、各学 校における防災教育の推進を図る。 [R1]	次長から「防災情報の活用につい	の部)において、大学教授や銚子地 方気象台職員等の外部専門家を講	・助災教育実践研修会(管理職対象の 部・教員対象の部)において、大学教技 や総子地方策会合職員等の外部専門 家を開解した、水災客舎を持体なな 災害のメカニズムや対処法、防災情報 の活用についての講話を行い、各学校 における防災教育の推進を図った。	•
④小学生を対象とした防災教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく。	·H28年度	•R7年度	・一斉避難訓練時に防災教育を実施	0			・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ 「防災意識高揚のための啓発動 画」を活用して啓発を行った。	△ ・「防災意識高揚のための啓発動 画」を活用して啓発を行った。	・「防災意識高揚のための啓発動 画」を活用して啓発を行った。	Δ
⑤出前講座等を活用した講習金の実施	・要請により出前講座等を積極的に 行っていく。 ・住民避難力強化事業(マイマップ、 マイ・タイムラインの作成等)の開催	1120年度	•R7年度	・出前講座実施 (行方市民生委員向け 2回) ・水害の危険性が高い箇所を有する 器ヶ浦読域6市町で実施 (県全体では17市町で実施)	・出前講座実施 ・水害の危険性が高い箇所を有する 地域で、住民やハ中学生、民生委員 等を対象としたマイタイムライン作 成議座を開催 (県全体で15回実施 今後も継続) 【防災・危機管理課】	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水・・サード内の小学校において マイ・タイムライン作成授業を実施	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	・要請により出前講座等を積極的に 行っていく	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・要請がなかったため実施なし	△ ・要請がなかったため実施なし	- 要請がなかったため実施なし。	Δ
⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	・H28年度	·R7年度	・防災情報メール等の登録促進	○ ・防災情報メール等の登録促進 【防災・危機管理課】	・防災情報メール、SNS等の登録促進	〇 ・防災情報メール、SNS等の登録促進	・設置予定なし							
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなど に水位計やライブカメラの情報をリー ルタイムで提供する。	ア・H28年度	·R7年度	・CCTVカメラを設置し画像の配信を実施	・ホームページのトップ画面を変更 し、直感的な操作ができるように図っ た。	県内だけでなく、県外テレメータ観測 局をシステムに取り入れ、より広範 囲に河川状況を提供できるようシス テム改良を行った。	○ ・河川情報システムのスマートフォン 版画面の整備検討	・設置予定なし							
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・要請により出前講座等を積極的に 行っていく。	·H28年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ ・実施に向けた取り組みを継続 Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続 △	・実施予定なし							
 策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保の より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	pt.	-		-											_
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施															
②水防団同士の連絡体制の確保															
③水防団や地域住民が参加する洗水に対しリスクが高い区間の 共同点検	・人員不足、多くの対象箇所がある ことなどから取り組み方法について は、今後検討していく必要がある。		·R7年度	・河川事務所が実施する共同点検に 毎年参加している。 ・県管理河川において実施する滅災 対策協議会で、市町村と共同した点 検方法等について検討を進める。	・河川事務所が実施する共同点検に 毎年参加している。 ・県管理河川において実施する滅災 対策協議会で、市町村と共同した点 検方法等について検討を進める。	・河川事務所が実施する共同点検に 毎年参加している。	・河川事務所が実施する共同点検に の 毎年参加している。	・国が実施する共同点検への参加	•H28年度	•R7年度	・国が実施する共同点検へ参加	O・国が実施する共同点検へ参加した。	○ ・国が実施する共同点検へ参加した。	・国が実施する共同点検へ参加した。	0
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加	□ •H28.5	·R7年度	・水防管理団体が行う訓練へ、参加した。	○ ・水防管理団体が行う訓練へ、参加 した。	・水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。	○ ・水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。	・水防管理団体が行う訓練への参加 【毎年】	•H28年度	•R7年度	・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・合同水防訓練の実施(香取土木)	○ ・水防訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、 ・中止となった。	○ ・利根川水系連合・総合水防演習へ 参加した。	・利根川水系連合・総合水防演習へ参加した。	. 0
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進															
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築															
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・内水被害危険箇所に関して関係核 関と情報の共有化を図っていく。	^雙 •H28年度	·R7年度	・水害統計調査により、市町村との 情報共有を図った。	○ ・水害統計調査により、市町村との 情報共有を図った。	・水害統計調査により、市町村との 情報共有を図った。	○ ・水害統計調査により、市町村との 情報共有を図った。	・関係自治体と情報共有していく	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・関係市と浸水被害箇所の情報共有を行った。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	・関係市と浸水被害箇所の情報共本を行った。	1 0
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共 同点検を実施。	•R3年度	·R7年度		・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ は補充を行った。	・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ は補充を行った。	・重要水肪箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ は補充を行った。	・重要水防箇所・水防資機材等の共 同点検を実施。	•R3年度	•R7年度		・重要水防箇所の確認を行った。 ・水防資器材の点検を実施した。	○ ・重要水防箇所合同巡視を書面開 催	・国が実施する共同点検へ参加した。	0
③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)					・県政広報コーナーで水防啓発展(6 月)及び水防災意識強化週間(9月)	・県政広報コーナーで水防啓発展(6月) 及び水防災意識強化週間(9月)のパネ	・県政広報コーナーで水防啓発展(6月) 及び水防災意識強化週間(9月)のパネ								
像水筋削練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度		のバネル展を実施した。 県管理河川における 情報伝達訓練及び洪水対応 演習の実施	ル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練 及び洪水対応演習の実施	ル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度		・情報伝達訓練を実施 ・水防訓練については、新型コロナ 感染症の感染防止のため、中止と なった。	O -情報伝達演習を実施。 O	・情報伝達演習を実施した。	0
①水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	·R3年度	·R7年度		取り組み内容の検討	茨城県管理河川減災対策協議会の 開催により、各水防、防災関係者と 情報共有を図った。	茨城県管理河川減災対策協議会の ○ 開催により、各水防、防災関係者と 情報共有を図った。	・広域的、効率的な水防活動の実施 に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度		・香取地区水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	・香取地域水防連絡会において、関 の 係市町と水防活動を行うための連 携、協力について確認した。	・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	
 策の主な取組 (3) 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復で 赤計画(案)の作成及び排水訓練の実施	ŧī														_
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	·R7年度	・排水ポンプ車設置の参考となる浸水継続時間を示した図面を作成した。	●・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	Δ・実施に向けた取り組みを継続 Δ	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	Δ ・関係機関から作成に伴う協力要請 Δ がなかった。	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	Δ
②排水訓練の実施	・関係自治体が実施する訓練への利加	》◆H28年度	·R7年度	・河川事務所が実施する排水ポンプ 車の操作訓練へ参加し、技術の習 得をした。	・河川事務所が実施する排水ポンプ 車の操作訓練へ参加し、技術の習 得をした。	・河川事務所が実施する排水ポンプ 車の操作訓練へ参加し、技術の習 得をした。	・河川事務所が実施する排水ポンプ 車の操作訓練へ参加し、技術の習 得をした。	・関係自治体が実施する訓練への参加	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	・関係機関における緊急排水計画の 作成されていないため、訓練を実施 していない。		・関係機関における緊急排水計画か 作成されていないため、訓練を実施 していない。	
③内水被害危険箇所の排水計画(楽)の作成	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ・実施に向けた取り組みを継続 Δ	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。		・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	_
1								・排水設備の耐水化	•R3年度	pa #= #=		・対象施設がないため、対象外	■・対象施設がないため、対象外 ■	・対象施設がないため、対象外	
④排水設備の耐水化								・対象施設がないため、対象外	110-7/32	•R7年度		71 M //E 12/3 " 40 " / 2 0 / 2 M / I"	- 対象肥設がないため、対象が	- 対象他収がないため、対象が	T_{-}

事 百 内容	実施内容	実施	施期間	土浦市 R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	実施		石岡市 R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績
・ ド対策の主な取組	大心で1台	着手	完了	110千及天順	X	八十尺大順	2000000	八〇十及天順	X100 F100	大心でも	着手	完了	110千及天順	X.00 P.1.	八千人人人根	240 8409	113年及天順
1)洪水を河川内で安全に流す対策																	
①優先的に実施する堤防整備														1			
②優先的に実施する波浪対策																	
③危機管理型ハード対策																	
2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																	
①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																	
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・一部のアナログ波防災無線を、 H28~H29にかけてデジタル化する	·H28年度	H29年度	市内全域の防災無線のデジタル化 済(H29年度)	•	市内全域の防災無線のデジタル化 斉(H29年度)	•	市内全域の防災無線のデジタル化 済(H29年度) 希望世帯へ戸別受信機の貸し出し 実施	• •	既設アナログ波防災無線のデジタ ・化の検討	•H28年度	R7年度	・検討委員会でデジタル化及び戸別 受信機による多重化に向けた方針 を決定した ・戸別受信機の配布方法の検討を 行った。	•	・防災ラジオを市内の希望した世帯 や事業所等に貸与した。	•	・防災ラジオを市内の希望した世 や事業所等に貸与した。
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防団員の安全を確保するため、 資機材等の充実を図る	` •H28年度	R7年度	ジャケット)配備済み ボート1艇 教命胴衣6着 排水ポンプ1台 切割防止享保護衣 耐切割性手袋6双 防塵メガネ 防塵マスク を追加配備(R4.2.8)	•	新資機材配備は無し。	×	新資機材配備はなし	× · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	水防団員の安全を確保するため、 「機材等の充実を図る	·H29年度	•R7年度	・トランシーバーを2台配備	•	・各分団にトランシーバーや雨衣を 配備済み	•	・各分団にトランシーバーや雨衣 配備済み
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・既存水位計を活用する。 ・POTEKA等の新規システムにつ いて導入を検討する	·H28年度	•R7年度	・POTEKA等導入済み自治体に対 しての聞き取り調査を実施		POTEKA等導入済み自治体に対 しての聞き取り調査を実施	0	R6年度ワンコインセンサー実証実験にむけ調整中	O -F	POTEKAの導入	•H28年度	•R7年度	・設置済みのPOTEKAを活用	•	・設置済みのPOTEKAを活用	•	・設置済みのPOTEKAを活用
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・実施済み	•H28年度	R7年度	実施済み	•	実施済み	•	実施済	● ··J	庁舎・避難所は地区外のため対象 にし	•H28年度	•R7年度					
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・内水ハザードマップを作成しており、局地的大雨等の発生時に巡回 点検を実施	;]・・H28年度	•R7年度	・内水ハザードマップ作成済み ・災害時の巡視を継続実施	•	内水ハザードマップ作成済み 災害時の巡視を継続実施	•	・内水ハザードマップ作成済み ・災害時の巡視を継続実施	● 除	揚水機場の有効活用のほか、危 食箇所へ排水ポンプ(マンホールポ ブ等)を導入する	•H28年度	•R7年度	・機場に排水ポンプ1台増設	•	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・高浜湖岸に新たにCCTVカメラる 設置 ・実施に向けた取り組みを継続
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	F - P3年度	•R7年度	実施に向けた取り組みを継続		実施に向けた取り組みを継続		実施に向けた取り組みを継続		重要施設の雨水排水整備の実施	• P3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	_	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
○王女 12.5.54 W PSE M 5 回 0 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	主文池改艺的外外不正确心大池	5 110+1X	117712	大心に同じたな かんしか とれたが		大が出ていていている人が出いてと場合がた	Ľ	大池101917704人7900729249		主义心成以内外外外正确切关心	110-12	107-10	大がにに向いたこれとが近いた。 をおいれ		大地に同じたな アルロックと かとが		文心に内17724人が担いた神社が
⑧河川防災ステーションの整備																	
⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	MCA無線からIP無線への変更(R2 ~) 引き続き通信設備の強化に向けた 取り組みを継続	•	MCA無線からIP無線への変更(R2 〜) 引き続き通信設備の強化に向けた 取り組みを継続	•	MCA無線からP無線への変更(R2〜) 災害対策本部代替施設(防災行政無 線親機設置施設)→非常用発電機設 置 引き続き通信設備の強化に向けた取り 組みを維練	• :	防災拠点の停電対策、災害対策 3通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	・IP無線を5台増台(計57台)	•	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
													アロ士				
				土浦市									石岡市				
事 頁	実施内容	実施	施期間 完了	土浦市 R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	実施	期間 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績
タ 	実施内容	上 実放 着手	施期間 完了		実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	実施 着手	期間 完了			R4年度実績	実施状況	R5年度実績
*	実施内容	美力 一	施期間 一一一一一		実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	<u>実施</u> 着手	期間 完了			R4年度実績	実施状況	R5年度実績
3 -対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	実施内容	着手	施期間 完了		実施状況	R4年度実績	実施状況	₹ R5年度実績	実施状況	実施内容	実施 着手	期間 完了			≍ R4年度実績	実施状況	R5年度実績
8 ト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	実施内容	着手	施期間		実施状況	R4年度実績	実施状況	₹ R5年度実績	実施状況	実施内容	<u>実施</u> 着手	期間 完了			≍ R4年度実績	実施状況	R5年度実績
** ト対策の主な取組 ①遠げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ①遠げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ①	実施内容 ・広域避難計画は未作成であるが、災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たが 自治体との協定締結を検討する	着手	施期間 完了	R3年度実績				R5年度実績・実施に向けた取り組みを継続		実施内容 協議会の中で広域避難計画(案) 策定する	着手	期間 完了 ・R7年度		実施状态	R4年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続		R5年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続
日本	・広域避難計画は未作成であるが、 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急順に置きつつ、新たば	着手	完了	R3年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ		△・・ををした。	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する	着手	完了	R3年度実績	実施状:	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	
日本	・広域避難計画は未作成であるが、 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たた 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した	着手 ・H29年度 た・H30年度	完了 •R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△・・をを表対法	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 常定最大規模降雨における洪水を 食に、広域避難計画を反映した 水ハザードマップを策定する	着手 -H29年度	完了 ·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	東施 状: △ △ △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
日本	・広域避難計画は未作成であるが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れを念頭に置きつつ、新たが自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映した、洪水バザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置	着手 ・H29年度 た・H30年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する	Δ Δ	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中	△ ・・・	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 思定最大規模降雨における洪水を 象に、広域避難計画を反映した 水ハ・ザートマップを策定する 洪水浸水総地図の公表後、整備	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。	△ △ △ △	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継・ ・実施に向けた取り組みを継続
対策の主な取組 ①進げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・広域避難計画は未作成であるが 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たパ 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映しが 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の	着手 ・H29年度 た・H30年度	·R7年度 H30年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響	Δ Δ	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続	△ ・・・	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 定最大規模降雨における洪水を 1象に、広域避難計画を反映した 水小ザードマップを策定する 洪水浸水総地図の公表後、整備 向けた検討を行う 要配慮者利用施設において策定し こいる避難計画の中に水害も対象 にいる避難計画の中に水害も対象 にして位置づけ、避難訓練等を支援	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川駅と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。 ・実施に向けた取り組みを継続	△ △ △ △	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継・ ・実施に向けた取り組みを継続
日本の主な取組 ①遠げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1) 法域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・広域避難計画は未作成であるが 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たパ 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映しが 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の	着手 ・H29年度 た・H30年度	·R7年度 H30年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響	Δ Δ	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続	△ ・・・	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 定最大規模降雨における洪水を 1象に、広域避難計画を反映した 水小ザードマップを策定する 洪水浸水総地図の公表後、整備 向けた検討を行う 要配慮者利用施設において策定し こいる避難計画の中に水害も対象 にいる避難計画の中に水害も対象 にして位置づけ、避難訓練等を支援	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川駅と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。 ・実施に向けた取り組みを継続	△ △ △ △	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継・ ・実施に向けた取り組みを継続
日本の主な取組 ①遠げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1) 法が基準を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・広域避難計画は未作成であるが 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たパ 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映しが 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の	着手 ・H29年度 た・H30年度	·R7年度 H30年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響	Δ Δ Χ	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続	△ 1を 数対	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 設定最大規模降雨における洪水を 象に、広域避難計画を反映した は水沙水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う 要配慮者利用施設において策定し にいる避難計画の中に水害も対象 して位置づけ、避難訓練等を支援 る	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。・実施に向けた取り組みを継続 ・避難計画は全ての施設で作成済み	文施(状)	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継・ ・実施に向けた取り組みを継続
日本の主な取組 ①達け遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・開知等 ②想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ③広域避難を考慮したハザードマップを備・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ①ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・広域避難計画は未作成であるが 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たが 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映しが 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施	着手 ・H29年度 ・H29年度 ・H29年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練未実施	Δ Δ × ::	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の漫水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	△ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 認定最大規模降雨における洪水を 像に、広域避難計画を反映した	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・避難計画は全ての施設で作成済み ・遊ヶ浦、恋瀬川に対応したタイムラインを策定済み	実施伏社	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・
日本の主な取組 ①達け遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・開知等 ②想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・広域避難計画は未作成であるが 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たな 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映しが 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施	着手 ・H29年度 ・H29年度 ・H29年度 ・R3年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練未実施 作成済み。適宜修正。 浸水想定区域内の学校を対象にしたマイタイムライン作成講習会の実	Δ Δ X	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの 割知 お前講座などの機会を活用し、マイタイムラインの作成を促進するよう	Δ Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの周知 防災訓練や出前講座の実施時にマイタイムライン様式を配布 地区単位の出前講座にて実施(一	△ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 記定最大規模降雨における洪水を 象に、広域避難計画を反映した は水八ザードマップを策定する 洪水浸水総地図の公表後、整備 向けた検討を行う 要配慮者利用施設において策定し にいる避難計画の中に水害も対象 して位置づけ、避難訓練等を支援 る	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・避難計画は全ての施設で作成済み ・遊ヶ浦、恋瀬川に対応したタイムラインを策定済み	実施伏社	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・ ・ が表が浦、恋瀬川に対応したタイル インを策定済み ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
日本の主な取組 ①達け遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・開知等 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑤の要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②がサードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ③避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・広域避難計画は未作成であるが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れを念頭に置きつつ、新たが自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映しが、洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施 ・作成及び避難訓練の実施	### ### ### ### ### ### #### #########	·R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練未実施 作成済み。適宜修正。 浸水想定区域内の学校を対象にしたマイタイムライン作成講習会の実	Δ Δ	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの 割知 出前講座などの機会を活用し、マイ	Δ Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの周知 防災訓練や出前講座の実施時にマイ タイムライン様式を配布	△ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 記定最大規模降雨における洪水を 食に、広域避難計画を反映した 水ハザードマップを策定する 洪水浸水総地図の公表後、整備 向けた検討を行う 要配慮者利用施設において策定し これる避難計画の中に水害も対象 して位置づけ、避難訓練等を支援 る	着手 •H29年度 •H29年度	·R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・避難計画は全ての施設で作成済み ・遊ヶ浦、恋瀬川に対応したタイムラインを策定済み	実施伏	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継・ ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・西ヶ浦、恋瀬川に対応したタイル インを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムライの作成の促進を実施
日本の主な取組 ①遠げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップを備・拡充 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ②要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②が、サードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	・広域避難計画は未作成であるが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れを念頭に置きつつ、新たが自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映しが、洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施 ・作成及び避難訓練の実施 ・なイ・タイムラインの作成の促進 ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・水防訓練と併せて実施するよう検討	### ### ### ### ### ### #### #### ###	·R7年度 H30年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練未実施 作成済み。適宜修正。 浸水想定区域内の学校を対象にしたマイタイムライン作成講習会の実施を検討	Δ Δ	実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの 割知 出前講座などの機会を活用し、マイタイムラインの作成を促進するような取り組みの実施を検討	Δ Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ハザードマップ改定作業中 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 を旅行の対象を選続 を取りが変別様や出前講座の実施時にマイタイムラインの周知の変をがある。 地区単位の出前講座にて実施(一部地区)	△ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	協議会の中で広域避難計画(案) 策定する 設定最大規模降雨における洪水を 象に、広域避難計画を反映した 水ハザードマップを策定する 洪水浸水総地図の公表後、整備 向けた検討を行う 要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 して位置づけ、避難訓練等を支援 る	着手 ·H29年度 ·H29年度 ·H29年度	·R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定するため県河川課と打ち合わせを行った。・広域避難を反映した洪水ハザードマップについては検討中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・避難計画は全ての施設で作成済み ・透ヶ浦、恋瀬川に対応したタイム・インを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムラインの作成の促進を実施	実施伏	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・一般を対象を表現した。	Δ Δ	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継・ ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・透ヶ浦、恋瀬川に対応したタイル インを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムライの作成の促進を実施 ・出前講座等で作成講習を実施がみ

災教育や防災知識の普及				平時は防災危機管理課,発災時は	平時は防災危機管理課、発災時は	平時は防災危機管理課,発災時は				
)水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	•R7年度	市民班の所掌業務として災害総合 相談窓口の開設・運営に関すること を行う	● 市民班の所掌業務として災害総合相談窓口の開設・運営に関することを行う		● ・ケース(地域)ごとの問い合わせ窓口を明確にする	•H28年度 •	R7年度	・平時は、問い合わせ内容に応じて 担当課で対応。災害時は、防災危 機管理課を窓口として対応。 ● 機管理課を窓口として対応。 ● 機管理課を窓口として対応。
	・防災講演会等での実施を検討す	Luca for the	na fer de	トヨタカローラ南茨城(株)土浦店に	水防災に関する出前講座、護濱会	水防災に関する出前講座、講演会		Line for the	an for the	・自治会や自主防災組織での訓練・自治会や自主防災組織での訓練・自治会や自主防災組織での
水防災に関する説明会の開催・広報の実施	ক	•H28年度	•R7年度	で防災に関するグイスや避難所物 資の展示等を行うイベントを開催	水防災に関する出前講座、講演会を実施	を実施	・地域防災訓練に(実施する)	·H28年度 ·	R7年度	 自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施 自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施時、出前講座等で講話を実施時、出前講座等で講話を実施
数員を対象とした講習会の実施	・例年、防災講演会への教員の参加要請を行っている	・H30年度	•R7年度	新型コロナウイルス感染症の影響 により講演会中止	× R52月に防災講演会実施。教員の 出席あり。	R6.2月に防災講演会実施。教員の 出席あり。	・浸水想定区域にある小学校を対象に講習会を実施する。	·H29年度 ·	R7年度	 ・実施に向けた取り組みを継続 △ ・実施に向けた取り組みを継続 △ ・実施に向けた取り組みを継続
小学生を対象とした防災教育の実施	・小・中学校の防災訓練等に併せて、防災士等に協力を要請し、防災に対する講習等の実施を推進する		R7年度	新型コロナウイルス感染症の影響 により訓練未実施	× 小学校単位の防災訓練を実施 ●	小学校単位の防災訓練を実施 ほか、小学生を対象とした出前講座 実施	・市内小中高校を対象に出前講座 により実施する	·H28年度 -	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △ ・市内の小学生に向けて防災教育 を実施 ・市内の小学生に向けて防災を実施
出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	地区の依頼に基づき2件実施	● 依頼に基づき6件実施 ●	依頼に基づき15件程度実施	● ・出前講座等を活用した講習会の 実施	H28年度 -	R7年度	・自治会や自主防災組織での訓練 時、出前講座等で講話を実施 ・自治会や自主防災組織での訓練 時、出前講座等で講話を実施 ・自治会や自主防災組織での訓練 時、出前講座等で講話を実施
「 ッシュ型の洪水予報等の情報発信	・広報誌等でのブッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知を検討	・H28年度	R7年度	・市報等により、情報取得手段について適宜、周知している。	・市報等により、情報取得手段につ いて適宜、周知。	・市報等により、情報取得手段について適宜、周知。	・情報の入手方法について啓発して いく。	·H28年度 ·	R7年度	・訓練や出前講座, 防災研修会など で啓発 ・訓練や出前講座, 防災研修会など で啓発
なは計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報等を	· ·H28年度	•R7年度	市HPに川の防災情報リンク先設定	● 市HPに川の防災情報リンク先設定 ●	市HPに川の防災情報リンク先設定	市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリン	•H28年度 R	7年度	- 市公式サイトにて、川の防災情報
中可工作物管理者への防災教育の実施	リンク先で提供する・実施に向けて検討をする		•R7年度	・実施に向け内部検討中		・実施に向け内部検討中	クして、情報を提供している ・情報収集を図り、実施に向けて検		R7年度	提供を行っている。 提供を行っている。 提供を行っている。 提供を行っている。 ・実施に向けた取り組みを継続
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			. ~				O 討する			AND THE CHEEK
(本の)であり、日本のである。 は、おいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・水防訓練に併せ伝達訓練を実施	・H28年度	•R7年度	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・実施済み ● 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行っている	・H28年度 ・	R7年度	・日頃の訓練や火災現場等にて実 施 ・日頃の訓練や火災現場等にて実 O ・日頃の訓練や火災現場等にて実 O ・日頃の訓練や火災現場等
防団同士の連絡体制の確保	・各水防団への無線機器の配備計 画策定中	·H28年度	•R7年度	・デジタル無線機及びトランシー バーを配備済み	・デジタル無線機及びトランシー バーを配備済み	・デジタル無線機及びトランシー バーを配備済み	● ・連絡体制を確保する	·H28年度 ·	R7年度	・消防団として連絡体制確保済み ・消防団として連絡体制確保済み ・消防団として連絡体制確保
: 訪団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施している重要水 防個所等の共同点検への参加	·H28年度	•R7年度	新型コロナウイルスの影響により中 止	× 新型コロナウイルスの影響により中 ×	霞ヶ浦(西浦)中岸にて実施	● ・河川事務所が実施している重要水 防個所等の共同点検への参加	·H28年度 ·	R7年度	・新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため、霞ヶ浦中岸の点検を担 当のみで実施 ・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施 ・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施
君係機関が連携した実働水防訓練の実施	・毎年、消防本部主導の水防訓練 を実施	•H28年度	•R7年度	新型コロナウイルス感染症拡大の ため訓練中止	消防本部主導の水防訓練を実施。 × 教助訓練に関しては前日の雨によ る河川増水に伴い中止。	消防本部主導の水防訓練を実施予 定であったが、台風2号の影響によ り訓練中止	× ・実施の必要性を精査し検討する	・H29年度 ・	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続
K防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・市のイベント等や各分団において 募集活動の実施チランの配布のぼ り旗の作成	•H28年度	•R7年度	・市報等での募集の実施を検討	〇 ・市報等での募集の実施を検討	・市報等での募集の実施を検討	〇 ・実施の必要性を精査し検討する	・H29年度 ・	R7年度	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広り、消防団員の募集については広報誌、団員による声がけやホームページ等で募集している。 ・消防団員の募集については広報誌、団員による声がけやホームページ等で募集している。
記域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・建設業協会との災害協定締結済み	H29年度	•R7年度	茨城県建設業協会土浦支部土浦 分会と災害協定締結済み	● 茨城県建設業協会土浦支部土浦 分会と災害協定締結済み	茨城県建設業協会土浦支部土浦 分会と災害協定締結済み	● ・実施の必要性を精査し検討する	·H29年度 ·	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続
9水被害危険箇所の把握及び情報共有	・作成済みの内水ハザードマップを 共有	・H28年度	R7年度	内水ハザードマップ作成済み	● 内水ハザードマップ作成済み ●	内水ハザードマップ作成済み	・消防, 消防団, 警察等と共同で、 内水等の危険個所マップを作成し 共有する	·H29年度 ·	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続
要水肪箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	各関係機関との水防箇所の点検を 実施予定。一新型コロナウイルスの 影響により中止	× 各関係機関との水防箇所の点検を 実施	各関係機関との水防箇所の点検を 実施	● ・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	·R3年度 ·	R7年度	- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、重要水防箇所の点検を実施担当のみで実施 ■ ・重要水防箇所の点検を実施
(防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	水防団員確保のための広報を継続 実施	○ 水防団員確保のための広報を継続 実施	水防団員確保のための広報を継続実施	・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度 •	R7年度	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広り、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。 ・消防団員が水防活動を兼以、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼し、消防団員が水防活動を兼保しておいる。
K防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	新型コロナウイルスの影響により水 防訓練中止	× 水防訓練を実施 ●	消防本部主導の水防訓練を実施予 定であったが、台風2号の影響によ り訓練中止	×・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度 •	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 Δ ・実施に向けた取り組みを継続 Δ ・実施に向けた取り組みを維続
K防関係者間での連携、協力に関する検討の主義を表現している。 の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	○ 実施に向けた取り組みを継続 ○	実施に向けた取り組みを継続	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	·R3年度 •	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 Δ・実施に向けた取り組みを継続 Δ・実施に向けた取り組みを継続
計画(案)の作成及び排水訓練の実施								Ī		
非水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置個所の選定まで行った排水計画(案)の作成	・H28年度	•R7年度	・計画策定を検討中	O -計画策定を検討中 O	・計画策定を検討中	○ ・検討する	·H29年度 ·	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続
非水訓練の実施	水防訓練との同時実施を検討	・H29年度	•R7年度	・計画策定を検討中	O ・計画策定を検討中 O	・計画策定を検討中	〇 ・検討する	・H29年度 ・	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 Δ・実施に向けた取り組みを継続 Δ・実施に向けた取り組みを継
内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・排水ポンプ等の設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)の作成	・H29年度	•R7年度	・計画策定を検討中	〇 ・計画策定を検討中	・計画策定を検討中	○・検討する	·H29年度 ·	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 Δ ・実施に向けた取り組みを継続 Δ ・実施に向けた取り組みを維
排水設備の耐水化							・排水設備の耐水化	•R3年度 •	R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 Δ・実施に向けた取り組みを継続 Δ・実施に向けた取り組みを継
							1			

Company of the comp	項事目項	内容	実施内容	実施 着手	期間 一一完了	龍ケ崎市 R3年度実績	^{実施伏児} R4年度実績	実施状況	R5年度実績 実施状況	実施内容	<u>実施</u> 着手		_{鹿嶋市} R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状态
The content of the						1	•		· · ·	<u>'</u>				•				•
Section																		
The state of the control of the co	21	受先的に実施する波浪対策																
The state of the control of the co	(3) fi	た機管理型ハード対策																
Part																		
Manufacture	① 	同量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備																
Property	21	5 災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	年度より実施・設計、R3~R4年度工事(この期間は工事期間の為、アナログ無線とデジタル無線を同時並行で稼動))。 ・防災ラジオについては防災無線のデジタ	•R2年度	•R7年度	ル化整備工事が終了した。 ・防災ラジオについては今後、状況	・R3年度に防災行政無線のデジタ ル化整備工事が終了した。	•	・身体障害 障がい者又 の代表者を 線の内容を	学者手帳の交付を受けている聴覚 又は視覚障がい者の属する世帯 に対し、音声放送や防災行政無 を見ることができる、ディスプレイ	·H28年度	R7年度	聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音 声放送や防災行政無線の内容を見る ことができる、ディスプレイ機能がある	•	聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音 声放送や防災行政無線の内容を見る ことができる、ディスプレイ機能がある	聴覚 する 声放 ことか	障がい者又は視覚障がい者の。 世帯の代表者に対し、引き続き 送や防災行政無線の内容を見 ができる、ディスプレイ機能があ	属 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
Procession Pro	37	K防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備		•H28年度		を結び、災害時に活用できる体制を	社と災害協定を結び、災害時に活	0			H28年度	R7年度		•	・水防団(消防団員)の安全を確保 するため、資機材等の充実を図る			
Part	4 ft		交通省に要望している。 ・県管理河川に危機管理型水位計		•R3年度	(新利根川, 大正堀川, 小野川)に	● 備を活用出来るため、新たな設置	•	備を活用	引出来るため、新たな設置・	H28年度	•R7年度		×		×		×
### PARTITION OF THE PA	(5)3	長水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・新庁舎における耐水対策として、 自家発電装置のかさ上げを実施	•H28年度	•H28年度	電装置のかさ上げを行った本庁舎	● 電装置のかさ上げを行った本庁舎	•		浸水想定区域外であり対								
### PROPRIES ###	© p		ブの準備 ・常総市八間堀川の内水氾濫(平成29年10 月8年20月21号)を教訓に既存のタイムライン の追加改訂検討中 ・佐貴駅周辺に内水氾濫防止用の貯留槽	·H29年度	•R7年度	・排水ポンプの保守点検の実施	●・排水ポンプの保守点検の実施		車した消 ンプとして 消防団が	が車両のポンプを排水ポ て準備する。(H28年度) が内水被害個所の対応を実	H28年度	R7年度						•
************************************	71	重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施							·重要施	設の雨水排水整備の実施・	R3年度	•R7年度		×		×		×

			・防災拠点の災害対策用備品や機 器の増強等	•R3年度	•R3年度	市内地図パネルを防災拠点に設置した。	● MCA無線更新の方針を検討。	0			R3年度	•R7年度		×		×		×
1	南 車					龍ケ崎市							鹿嶋市					
Company Comp	目項	内容	実施内容		<u>函期間</u> ┃ 完了	R3年度実績	^{実施状況} R4年度実績	実施状況	R5年度実績 寒應状況	実施内容	17 - 717-	<u>期間</u> 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状5
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日																		
大型の関係の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対																		
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日														1				
「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	2.2	見定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																
おおかけ	31	域避難計画の策定	画を策定中 ・鬼怒川・小貝川流域減災対策協 議会の中で広域避難計画(案)を策				・R2年度に小貝川・利根川洪水避 難計画と広域避難計画を策定済 み。	•	・協議会を策定す	の中で広域避難計画(案) -る	H29年度	•R7年度	実施に向けた取組みを継続	Δ	実施に向けた取組みを継続	△ 実施	に向けた取組みを継続	Δ
### (現場 日本)	4 1		定区域見直し後, 洪水ハザードマップを策定	・H29年度	•R3年度	災の手引き(ハザードマップ)につい	● 災の手引き(ハザードマップ)につい	•	を対象に	、広域避難計画を反映した・	H29年度	•R7年度	・区長への配布依頼及び公民館、 図書館、庁舎等、公共施設への配		設への配架し、市内全域を対象に	設へ	の配架し、市内全域を対象に	
おおおけられた。	53	るごとまちごとハザードマップ整備・拡充	グ 中		•R7年度	地区、長山地区、馴柴地区、久保 台地区)で地区防災計画の策定に	O 区、馴柴地区、久保台地区)で地区 防災計画の策定に向けて取組を	0			·H28年度	•R7年度		•	今後県のモデル事業を取り入れ、 整備・拡充に努める。			. 0
大学の大力・プロを表し、	63		る避難計画の対象災害の中に水害 も対象として位置づけ、避難訓練等 を支援 ・水防法改正を基に、介護施設、保 育園、病院等に要配慮者支援施設	•H28年度	•R7年度	難確保計画を確認し、水害時の逃げ遅れ がない計画の作成を支援した。 ・H28年度、29年度に小貝川氾濫等に浸水 想定区域内にある小護施設、保育園等の 現所に対する避難計画の説明会を開催 し、その後事業所により計画の作成の取組	○ ・避難訓練の促進の取り組みを検 討 ・	0	ている避	難計画の中に水害も対象	H29年度	•R7年度	画の作成促進に向けたアンケート 調査を実施。 ・要配慮者利用施設において策定し ている避難計画の中に水害も対象		する要配慮者利用施設の避難確保	● する	要配慮者利用施設の避難確	
■ 機能に毎日にか見川・相側的	7,	ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用																
2個報報示の食物の利能高楽社(高力)が、マイ・タイムラインの作成の促進 日本度			水タイムラインを策定し、随時見直	•H28年度	•R3年度	り、避難指示に一本化されたことを 受け、タイムラインの見直しを行っ た。 ・H30年度にタイムラインの見直しを	● 改正により、避難指示に一本化されたことを受け、タイムラインの見直しを行った。 ・H30年度にタイムラインの見直しを		等の判断 今後、タイ	所基準は作成済み。 イムラインについても策定	·H29年度	•R7年度	うタイムラインの見直しを行う。 ・洪水タイムライン(防災行動計画) 作成。	•	作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修	作成 ·改]		
□	21	#難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R3年度		● センターにてマイ・タイムライン作成	•	・マイ・ター	イムラインの作成の促進・	R3年度	•R7年度	・マイタイムライン講習会の参加 ・広報紙掲載 ・マイタイムラインに関するチラシの配布		法の紹介	法の紹・マイ・	召介 ・タイムラインに関するチラシを行政委員	U
- タイムラインに基づいた水防訓練を6月5日に実施、7月5日に検討を6月5日に実施、7月5日に検討を6月5日に実施、7月5日に検討をを実施、H28.6 (タイムラインに基づいた大阪訓練を6月5日に実施、7月5日に検討をを実施、H28.6 (リーストリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31	マイ・タイムライン」作成講習の実施					センターにてマイ・タイムライン作成	•							出前講座にて実施	O出前	講座にて実施	0
③気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 化」等の改善	4)5	・イムラインに基づく実践的な訓練	を6月5日に実施。7月5日に検討会を実施。H28年度中に整理をしていく・H28年度に策定した小貝川・利根			の避難行動実働型の実践的な水害対応の 訓練を実施) ・小貝川・利根川洪水避難計画に基づいた。 図上型訓練を実施。(H30.2) ・大宮地区にて水害を想定した避難訓練を 実施した。(警戒レベル4発表を起) (R1.6) ・松葉地区にて水害発生時の避難所にて感 楽症を想定した避難所設度訓練を実施し	・R5年度に水害を想定した訓練の実施案検 計 ・ハ貝川・利根川洪水 避難計画に基づいた 図上型訓練を実施。(H302) ・大宮地区にて水害を想定した避難訓練を 実施した。(第成レベル4発表を想定) (R1.6) ・ 松業地区にて水害発生時の避難所にで懸 染症を想定した運輸所設営訓練を実施し	•	- 地区防分	災訓練にあわせ実施する・	H28年度	·R7年度	避難所運営訓練と合わせて実施	0	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施	〇鹿嶋	市防災訓練と合わせて実施	i O
の洪水時における河川等理者からの情報提供等(ホットラインの標答)			Ì	1	1	1	/=0 \116.//	\vdash					1	1				-
DAMANASIAMAN ARTINI BURRAN ARTINI BURRAN ARTINI ART																		

①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	·H28年度	•R3年度	・水災害等に関する問い合わせ窓 口を設置している。(平時には市危 機管理課で対応し、災害対応時に は相談窓口班による対応としてい る)	・水災害等に関する問い合わせ窓 口を設置している。(平時には市危 機管理課で対応し、災害対応時に は相談窓口班による対応としてい る)	•	・問合せ窓口を設置している。	•H28年度	•R7年度	主な行政窓口として、交通防災課、 道路建設課、施設管理課で対応。	● 主な行政窓口として, 交通防 道路建設課、施設管理課で対	災課、 対応。 ●	主な行政窓口として, 交通防災割 道路建設課、施設管理課で対応
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・9/1~9/8下館河川事務所(鬼怒 川・小月川下流域大規模犯濫に開 する減災対策協議会と連携し常総 市水害に関するパネルを展示予定 ・浸水想定区域対象地区にてマイ・ タイムライン作成講座を実施し、住 民の自助意識を啓発する。		·R7年度	・流過程済大学・機川下流河川事務所・下館河川 事務所と連携し、2/6に小貝川総防決壊の年シン ボジウム・龍ケ崎市市民防災フェア2021~を開 低し、災害の区配を持たない世代・引き帳でと もに、災害に対する危機整送を高める機会とした。 ・機川下流河門等務所と連続、8/20-8/27 に、ションピングセンターで小貝川境防決場の年の ・地域の下流型が出たる人の手のに、出前護 の中で防災を観についての説明会を実施し、その 中で水災害の設明を行った。	・地域からの要望によるものを中心に、出前講座 の中で防災全骸についての股別会を実施し、その 中で火災室の関発行うた。 ・令和3年度に流過能済大学・科製川下流河川事 病所・新図川事務所に通過に、2016に月川堤 防災場の年シンボジウム・程か場市市民防災 フェア2012・ご帰催に、災害の配便を持たのは、 は、つ引き線にくといた。以害に対する危機意識を あった機会にといた。以害に対する危機意識を あった機会に関川下流河半系所と連続いた。 かったりでは、ションピングセンターで小貝川堤 防決権の年のバネル展示を実施。	D	・実施に向けて検討する	·H28年度	·R7年度	・マイ・タイムラインの作成や地域の 危険箇所の再確認を行った。 ・地域からの要望を受けて、出前講 座の中で防災全般についての説明 を実施し、その中で水災害の内容を 取り入れる。 ・霞ヶ浦河川事務所の職員を講師 に、市内小学校で、マイタイムライ ン作成講座を実施。	○ ・マイ・タイムラインの作成やす 危険箇所の再確認を行った。 ・地域からの要望を受けて、 達座の中で防災全般についてのを実施し、その中で水災害の取り入れる。	計講 ○説明 ●	・マイ・タイムラインの作成や地域 危険箇所の再確認を行った。 ・地域からの要望を受けて、出前 歴の中で防災全般についての脱 を実施し、その中で水災害の内容 取り入れる。
③教員を対象とした講習会の実施	・。学校担当課と調整し、小中学生への講習会を教員も含め検討・実施する。		·R3年度	・利根川下流河川事務所と連携し、 龍ケ崎西小学校で総合の時間に水 害に対する防災授業を実施した。	・令和3年度に利根川下流河川事券 所と連携し、龍ケ崎西小学校で総 合の時間に水害に対する防災授業 を実施した。		・浸水想定区域にある小学校を対象に講習会を実施する	・H29年度	•R7年度	小学校からの要望によるものを中心に、説明会を実施し、その中で水災害の説明を行った	小学校からの要望によるもの 心に、説明会を実施し、その「 災害の説明を行った		小学校からの要望によるものをで 心に、説明会を実施し、その中で 災害の説明を行った
①小学生を対象とした防災教育の実施	・平成28年6月5日市内合同防災 訓練において、水戸気象台の支援 を受けて、防災教育を実施 ・市防災気象アドバイザー(委託)カ 市内小中学生に向けて水防災教育 を実施	ys.	•R3年度	・利根川下流河川事務所と連携し、龍ケ崎西小学校で総合の時間に水害に対する防災授業を実施した。 ・大宮地区の小学生で対象にマイ・タイムライン作成講座を実施した。(R1.6)	・市内小学校にて地域住民と共に合同防災 訓練を実施した。 ・令和3年度に利機川下流河川事務所と連 携し、龍ケ崎西小学校で総合の時間に水害 に対する防災投棄を実施した。 ・大宮地区の小学生を対象にマイ・タイムラ イン作成譲渡を実施した。(日16)		・浸水想定区域にある小学校を対 象に実施する	·H28年度	•R7年度	浸水想定区域にある小学校を対象 に、洪水等に関する防災教室を実 施	浸水想定区域にある小学校を 〇 に、洪水等に関する防災教室 施		浸水想定区域にある小学校を対 に、洪水等に関する防災教室を施
5)出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	・地域からの要望によるものを中心 に、出前講座の中で防災全般につ いての説明会を実施し、その中で水 災害の説明を行った。	・地域からの要望によるものを中心に、出前講座の中で防災全般についての説明会を実施し、その中で水災害の説明を行った。	k •	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	八對十八(10: 25) 中野西小学校(11/7) 浜津賀台地区(11/21) 高松小学校(11/26) 豊津小学校(12/14) 波野地区(3/6)	波野地区まちづくり委員会(8/28) 中野西小学校(11/15) 鉢形地区を考える会(11/25) 豊郷小学校(12/15)	•	豊津地区(5/14) 高松地区(5/21) 中野西小学校(10/19) はまなす公民館(2/17)
ジブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・広報車、防災行政無線、メール配信。エリアメールによって発信音声一斉配信サービスを導入	·H28年度 ·H29年度	·R3年度	・広報車、防災行政無線、メール配信、 エリアメールによって発信。 ・小貝川・利根川にでブッシュ型メール 配信サービスを実施した。 ・音声 - 斉記信サービスを導入し、土 砂災害警戒区域住民に電話で土砂災 害霊 飛情報を発表した。(129.6~) ・防災アブリの薄人 (72.8)	・広報車、防災行政無線、メール配信、エリアメールによって発信。 ・小貝川・利根川にてブッシュ型メール 配信サービスを実施した。 ・音声一斉配信サービスを導入し、土 砂災害警戒区域住民に電話で土砂災 書派情報を発表した。(#286~) ・防災アブリの導入(R286~)	_	・広報車、防災行政無線、メール配 信、ツイッター、フェイスブック等に よって配信。	·H28年度	·R7年度	・避難指示発令の際に、一人暮らし の高齢者へ直接避難を促す電話連 絡及び連絡が付かない家への訪問 を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メール配 信、ツイッター、フェイスブック等に よって配信。	・避難指示発令の際に、一人 の高齢者へ直接避難を促す 絡及び連絡が付かない家へ を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メー 信、ツイッター、フェイスブック よって配信。	配話連 D訪問	・避難指示発令の際に、一人暮 の高齢者へ直接避難を促す電影 移及び連絡が付かない家への記 を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メール 信、X(旧ツイッター)、フェイスブ 等によって配信。
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・市公式サイトにて、川の防災情報 のリンクを付し、情報を提供してい		•R3年度	・市公式サイトにて、川の防災情報 のリンクを付し、情報提供を行った (R2年度)	・市公式サイトにて、川の防災情報のリンクを付し、情報提供を行った(R2年度)	•		•H28年度	•R7年度	市公式サイトにて、川の防災情報(水 位及びライブカメラ映像)をリンクし、随 時情報提供を行う。	市公式サイトにて、川の防災情報 位及びライブカメラ映像)をリンク 時情報提供を行う。		市公式サイトにて、川の防災情報(位及びライブカメラ映像)をリンクし 時情報提供を行う。
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・霞ヶ浦では該当なし	・H28年度	•R3年度		(R2年度)・霞ヶ浦では該当なし	-	クして、情報を提供している ・国で行なう履行検査に合わせて実施する。	•H29年度	•R7年度	時情報提供を行う。 許可工作物管理者への防災教育の取 組みについて、関係機関と協議を行っ た	時情報旋供を行う。 許可工作物管理者への防災教育 組みについて、関係機関と協議		時間報促供を行う。 許可工作物管理者への防災教育の組みについて、関係機関と協議を行った。
策の主な取組 (2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 リ効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Ur.	17-,	ı	17-0
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行っている		•R3年度	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行って いる	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行っている		・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行って いる	•H27年度	•R7年度	連絡体制の再確認を実施	○ 連絡体制の再確認を実施	0	連絡体制の再確認を実施
2)水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	•H28年度	•R3年度	・各行動部長に携帯型無線機を配 備した(R2年度)	● ・各行動部長に携帯型無線機を配備した(R2年度)	•	・連絡体制について確保する	•H28年度	•R7年度	各消防団に携帯型無線機を配布していることから随時対応。	● 各消防団に携帯型無線機を配 ていることから随時対応。	配布し●	各消防団に携帯型無線機を配 ていることから随時対応。
3)水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・毎年,河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加していく	, ∙H28年度	•R7年度	・例年,河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加。	○ ・例年,河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加。	0	・河川事務所が実施する重要水防 個所等の共同点検に参加する	•H28年度	•R7年度	・新型コロナワイルス感染症のため 共同点検中止。 ・交通防災課単独で実施。	○ 北浦共同点検の実施。	•	北浦共同点検の実施。
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・各関係機関が連携し、タイムライン(小貝川・利根川対応)に基づいた避難行動実働型の水害対応訓終を実施た・ ・ 128年度に策定した小貝川・利根 川洪水避難計画の検証を行う。 ・ 国土交通省と連携してマイ・タイム ライン検証訓練を行う。	•H30.2	•R3年度	(・各関係機関が連携し、タイムライン(小貝 川・利根川対応)に基づいた避難行動実働 型の水害対応訓練を実施 ・小貝川・利根川洪水避難計画に基づいた 関上型訓練を実施(1402) ・国土交通省と連携して川原代地区にてマ イ・タイムライン検証訓練を実施 ・要配慮者利無設に指定している介護福 被施設と連携して避難訓練を実施した。 (日16)	・小貝川・利根川洪水避難計画に基 づいた図上型訓練を実施。(H30.2) ・要配慮者利用施設に指定している 介護福祉施設と連携して避難訓練 を実施した。(R1.6)		・現在、消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけや広報誌、ホームページ、コミニティーFM等で募集していく。	·H27年度	•R7年度	実働水防訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止。	実働水防訓練については、新 x ロナウイルス感染症の影響が止。		実働水防訓練については、新型 ロナウイルス感染症の影響から 止。
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・水防団入団の募集広報を実施	•H28年度	•R7年度	促すための募集広報を市広報誌やホーム ページ掲載、市内行事において消防団を募 集した ・水防団員募集チラシを作成、全戸配布を	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を 促すための募集広報を市広報誌やホーム ページ掲載、市内行事において消防団を募 集した。 東版(R2.11)	.	・現在、消防団員が水防活動を兼 務しており、消防団員の募集につい では広報誌、団員による声かけや コミニティーFMを利用した募集活動 を実施済み	•H28年度	•R7年度	・消防団員の募集に合わせて、広 報紙、団員による声かけやコミュニ ティを活用した募集活動を実施。	・消防団員の募集に合わせて 新紙、団員による声かけやコティを活用した募集活動を実	=== O	・消防団員の募集に合わせて、 報紙、団員による声かけやコミ ティを活用した募集活動を実施
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討する	・H28年度	•R3年度	・市建築業組合との間で、風水害等の 応急対策を含む災害協定を結んでいる ・市建設業組合に小貝川・利根川洪水 建盟日上型訓練に参加してもらった (R2年度)	市建築業組合との間で、風水害等の 応急対策を含む災害協定を結んでいる ・市建設業組合に小貝川・利根川洪水 避難図上型訓練に参加してもらった (R2年度)		・体制について構築済み	・H28年度	•R7年度	引き続き維持する	● 引き続き維持する	•	引き続き維持する
プ内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・担当課により点検を実施する	•H28年度	•R7年度	・担当課により点検や側溝等の改 修を行っており、また災害時や平時 に関わらず、必要な際には危険箇 所の共有を行う	・担当課により点検や側溝等の改修を行っており、また災害時や平時に関わらず、必要な際には危険箇所の共有を行う	0	・区長、消防署員や水防団(消防団 員)と情報共有、点検を実施済	•H28年度	•R7年度	市役所窓口で内水氾濫ハザード マップの配布するとともに、ホーム ページで随時掲載する。	● 市役所窓口で内水氾濫ハザ-マップの配布するとともに、ホページで随時掲載する。		市役所窓口で内水氾濫ハザーマップの配布するとともに、ホーページで随時掲載する。
③重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・水防資機材(土のう袋)の適切な管理を行っている。	● ・水防資機材(土のう袋)の適切な 管理を行っている。	•	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度		×	×	
②水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施		·R3年度	・水防団員募集チラシを作成、全戸 配布を実施(R2.11)	● ・水防団員募集チラシを作成、全戸配布を実施(R2.11)	•	・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	·R3年度	•R7年度	・消防団と兼ねていることから消防 団の加入促進を行っている。 ・自主防災組織結成意向調査の実施。	● ・消防団と兼ねていることから 団の加入促進を行っている。	消防	・消防団と兼ねていることから消団の加入促進を行っている。
週水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・例年、水防訓練(2組合・3組合)に参加しているが、コロナで中止となった。	△ 市単独の水防訓練を実施した。	•	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度		×	×	
①水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・定期的に水防に関する会議等に 出席し、広域的な情報共有を実施した。	・定期的に水防に関する会議等に ・定期的に水防に関する会議等に 出席し、広域的な情報共有を実施し た。	•	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度		×	×	
版の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 水計画(案)の作成及び排水訓練の実施		1	1	上 扫拨↓↓	1. 11 株 J. ca 2. 40 内, 1 上 2	1			T			T	1
)排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置個所の選定まで行った排水計画(案)の作成	・H28年度	•R7年度	・大規模水害を想定した市のハザードマップを基に、令和3年度に耐水 化計画を策定した【下水道課】 ・排水ポンプの更新を計画的に実施している	・大規模水害を想定した市のハザードマップを基に、令和3年度に同か、 ・	•	・計画策定に向け関係機関と協議中	•H28年度	•R7年度	排水機場の運転に関する協定を見 直し、平成29年5月に変更協定を 締結した。	排水機場の運転に関する協設 ● 直し、平成29年5月に変更協 締結した。		排水機場の運転に関する協定? 直し、平成29年6月に変更協定 締結した。
2.排水訓練の実施	・毎年、水防訓練と同様に各自治体 持ち回りで実施する	★ ・H28年度	•R7年度	・排水訓練については各排水施設 管理者等が各々で操作確認等をし ている	・排水訓練については各排水施設 管理者等が各々で操作確認等をし ている	0	・防災訓練と合同で実施している	•H28年度	•R7年度	防災訓練と合同で実施している	•	×	
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	-						・計画策定に向け関係機関と協議 中	・H28年度	•R7年度	・計画東定に同け工地収良事務所などの関係機関から意見や要望の聞き取りを行った。	・計画末定に向け工地収長事務所で係機関から意見や要望の聞き取りさた。	E行っ	・計画末定に同け土地収良事務所など 係機関から意見や要望の聞き取りを行 た。
申林. 故備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・令和3年度に、耐水化計画の策定した【下水道課】	● ・令和3年度に、耐水化計画の策定 した【下水道課】	•	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・関係機関において現場確認を実施	・関係機関において環場確認を宝体 ×	×	・關係機關において現場確認を宝施
	+	+	 			1			 	+			+

#				潮来市							稲敷市					
PP 頁 頁	実施内容	実施 着手	5/911HJ	R3年度実績 **	R4年度実績	実施状5	R5年度実績 **	実施内容		<u>期間</u> 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施
- ド対策の主な取組 1)洪水を河川内で安全に流す対策	•			<u>. </u>		•		•					•			
①優先的に実施する堤防整備																
②優先的に実施する波浪対策																
3.危機管理型ハード対策																
2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備													1			
①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良を行う	•H28年度	R7年度	市内完全デジタル化の整備済 (戸別受信機が半導体不足に伴い納品 できない状況のため、引き続き受信機 整備を進める	市内完全デジタル化の整備済 (戸別受信機が半導体不足に伴い納品 できない状況のため、引き続き受信機 整備を進める	•	市内完全デジタル化の整備済 戸別受信機を難聴地域に設置中(約2 0台)	・防災無線デジタル化に伴う実施設計・防災無線(デジタル化)	·H27年度	R7年度			・稲敷公式アプリを導入し、防災行政無線戸別受信機からの移行を目指す。		・稲敷市公式アプリの機能拡張。 ・IP戸別受信端末の導入調整。	
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防団員の安全を確保するため の資機材の充実を図る	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ 市内11ヶ所に土のうステーションの整備、耐候性土のうの推進	0	市内11ヶ所に土のうステーションの 整備、耐候性土のうの推進	O ・水防団員の安全を確保するため の資機材の充実を図る	•H30年度	•R7年度				0		(
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・水位計や量水標、カメラの設置	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ POTEKA、ウェサ [・] ーニュース等の導入検 討を実施	Δ	•POTEKA、ウェサ [*] ーニュース等の導入検 討中	Δ •POTEKAの設置	•H28年度	R7年度				•		•
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であり対 象なし							・自家発電装置の耐水化を図る ・庁舎が浸水想定区域外であり対 象なし	·H29年度	·R7年度				•		١
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・水中ポンプの準備	•H28年度	•R7年度	建設業組合との応援協定において、8/15の大雨時、市内1箇所に排水ポンプの設置を実施	O 建設業組合との応援協定	0	・建設業組合との応援協定において、6/2の大雨時、市内1箇所に排水ポンプの設置を実施	・重要危険個所については共同点 会等を計画予定 ・水防訓練等で水防工法実施	•H28年度	R7年度				0		(
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	·R3年度	•R7年度	管財サイドとの排水設備を確認	○ 管財サイドとの排水設備を確認	0	施設管理担当との排水設備を確認	○ ・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度				Δ		
⑧河川防災ステーションの整備																
9庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	非常用電源の補助設備として、 6000Wタイプ2基、3000Wタイプ3台 の整備	0	0		O ・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度				Δ		
				潮来市							稲敷市					
事 頁	実施内容	実施	7/41/61		^{実施状況} R4年度実績	実施状況	R5年度実績 *	寒施内容		E期間	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	 R5年度実績	実施
■ ト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組		着手	元」	1.222		ı			直于	完了						
1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等						_			1	1 1			,			
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																
③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	•H28年度	•R7年度	・平成29年2月に神栖、稲敷、香取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の設定、初動マニュアルの作成実施	・平成29年2月に神極、稲敷、香取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の股定、初動マニュアルの作成実施	•	平成29年2月に神橋、稲敷、香取、 潮来の4市による「大規模水害時に おける広域避難の連携に関する協 定」を締結し広域避難所(計7ヶ所) の設定、初動マニュアルの作成実 施	● ・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	•H28年度	R7年度				Δ		
④広域遊難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	水・H29年度	R7年度	・警戒レベルを用いた避難勧告等の 発令を周知するため防災パンフレット(ハザードマップ掲載)を令和元年 7月改訂し市民に配布	広域避難を考慮したハザードマップを含む 「満来市総合防災マップデジタル版」を作 成、令和4年3月ホーベージにアップ済。 令和4年度「B4冊子版 潮来市総合防災 マップ保存版」を作成し、全戸配布、市関連 施設等へ配布済	•	広域避難を考慮したハザードマップを含む 「潮来市総合防災マップデジル・脳上を作 成、令和4年度「B4冊子版 潮来市総合防災 マップ保予版」を作成し、全戸配布、市関連 施設等へ配布済	・想定最大規模降雨における洪水 ● を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	(・H29年度	R7年度				Δ		
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う	•H29年度	•R7年度	令和3年度は電柱公告で10箇所、防 災無線BOXを活用L20箇所の計30箇 所設置(累計43箇所)	O 令和4年度、電柱公告10箇所設置 済(累計53箇所)	0	防災無線BOXを活用し18箇所に設置			•R7年度	・市内110ヵ所(電柱100ヵ所、公共 施設10か所)に浸水深想定看板を 設置			0	・市内100ヵ所(電柱100ヵ所)に 深想定看板を追加設置	浸水
⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設において策定して いる避難計画の策定計画の中に水害 も対象として位置づけ、避難訓練等を 支援する	.1120年度	·R7年度	・3ヶ所の障害者利用施設、4ヶ所の認 定こども園に計画作成のための個別説 明を実施	○ 令和4年度同様、7割の策定	0	令和5年度同様、7割の策定	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、避難訓 練等を支援する	·H29年度	•R7年度				Δ		
プハザードマップボータルサイトを活用した周知サボート、地図情報の活用												Ì				工
2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ① 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインの策定を行う	•H29年度	R7年度	霞ヶ浦・利根川下流について策定	令和3年5月、①霞ヶ浦河川事務所② 利根川下流河川事務所③潮来土木事		令和3年5月、①霞ヶ浦河川事務所② 利根川下流河川事務所③潮来土木事	◆ ・タイムラインの策定を行う	-H29年度	R7年度						\top
▽左左 日小 少元 むしん 自しに ノリムノコノ 切下級	- フィムフィンの東ルを11フ	· П23千及	八十戌	R277用「竹収川」がについて東正	務所との3種のタイムライン作成済	_	務所との3種のタイムライン作成済	→ ライムフィンの東ルを11フ	口23千茂	11/十段				Δ		
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	マイ・タイムラインの講習会において 参加者各自作成	令和4年度潮来市防災訓練でのマイ・タイムライン作成ブース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイ・タイムライン作成講習会での作成	0	令和5年度潮来市防災訓練でのマイ・タイムライン作成ブース設置。 令和5年6月に、潮来市自主防災組織リーダー研修会の中で、マイ・タイムライン作成	○・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度				Δ		
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度		令和4年度潮来市防災訓練でのマイ・タイムライン作成ブース設置、潮来市役所部・ 課長を対象としたマイ・タイムライン作成講 習会での作成		令和5年度潮来市防災訓練でのマイ・ タイムライン作成ブース設置	0						Δ		
④タイムラインに基づく実践的な訓練	-ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	 •H29年度	•R7年度	令和3年6月6日、全職員に対し、 前川が氾濫する想定で情報伝達訓 練を実施	令和4年6月5日、潮来市役所全職員 に対し、前川が氾濫する想定で情報伝 達訓練を実施	0	令和5年6月4日、潮来市役所全職員 に対し、前川が氾濫する想定で情報伝 達訓練中止(台風2号対応のため)	〇 ・実践的な防災訓練のする	•H29年度	•R7年度				Δ		
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の	0充実															
化」等の改善																l l
化」等の収害 ⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																

防災教育や防災知識の普及															
①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	- 明い今も井安口を設置する	·H28年度	R7年度	・市役所総務課に設置		市役所総務課に設置	市役所総務課に設置		- 設置を検討中。 - H28	年度	R7年度				T_{\wedge}
①水災客に争削年傷に関する同い省わせねロの政直	・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	R/年度	•市佼所総務誄に設直					・設直を検訶屮。	年及	R/年度				
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討する	•H29年度	•R7年度	5月に市議会議員に対し、災害対策基本法の一部改正による避難レベルの変更点や 重ねるハザードマップの見方等勉強会実施	Δ	令和4年9月、潮来市議会議員に対し、市 内水位観測所、防災倉庫等の視察、総合 防災マップ勉強会を実施	令和5年10月、潮来市議会議員に対し、前 川排水機場(水門を閉めるフロー)説明・見 学	0	・実施について検討する ・H29	年度	R7年度			Δ	Δ
教員を対象とした講習会の実施	・浸水想定区域にある小中学校を対象に講習会を実施する	・H29年度	•R7年度	・平成30年度の小学生を対象とした防災教育が契機となり、教員間で情報共有。勉強 会の検討	0	・平成30年度の小学生を対象とした防災教育が契機となり、教員間で情報共有。勉強会の検討	平成30年度に小学生対象の防災教育により、教員間で情報共有。勉強会検討		・浸水想定区域にある小学校を対 象に講習会を実施する ・H29	年度	R7年度		・小学校独自で実施した	•	•
3)小学生を対象とした防災教育の実施	・実施について検討する	・H29年度	•R7年度	令和元年度から市内小学校におい て各2回、計10回実施。	0	令和元年度から市内小学校におい て各2回、計10回実施。	令和元年度から市内小学校におい て各2回、計10回実施。		・浸水想定区域にある小学校を対 象に、実施について検討する ・H29	年度	R7年度		・小学校独自で実施した	•	•
5)出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	実施に向けた取組を継続	Δ	実施に向けた取組を継続	令和5年9月28日に、潮来市高齢者 クラブ(悠々塾)において、潮来市の 防災について講習会を開催しまし た。	0	・出前講座等を活用した講習会の 実施	丰度	-R7年度		・小学校独自で実施した	•	•
⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・実施に向けて検討する	•H29年度	R7年度	・各地区区長、民生委員児童委員、 消防(水防)団員、市職員を対象とし 防災に特化したメール等配信サー ビスを整備	•	・各地区区長、民生委員児童委員、 消防水防団員、市職員を対象とし 防災に特化したメール等配信サー ビスを整備	区長、民生・児童委員、消防(水防) 団、市職員を対象とし、防災に特化 したメール等配信サービスを整備	•	・実施に向けて検討をする ・H29	年度	R7年度			Δ	Δ
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・実施に向けて検討する	•H28年度	•R7年度	・予算化に向けた内部検討	0	・市ホームページに川の防災情報 等をリンクして市民に提供	市ホームページに川の防災情報等 をリンクして市民に提供	•	・ホームページで川の防災情報等を リンク先で提供する	3年度	R7年度			Δ	Δ
8許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けて検討をする・H29	年度	•R2年度			Δ	۷
策の主な取組 (②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 にり効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化						<u> </u>			-		1	1		1 1	_
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・これまでにも水防訓練に併せ伝達 訓練を実施している	・H28年度	•R7年度	・IP無線を活用し伝達訓練実施。また、6・11月の情報伝達訓練に於いて防災に特化したメールの一斉配信実施	0	・IP無線を活用し伝達訓練実施。また、6月の情報伝達訓練に於いて防災に特化したメールの一斉配信実施	防災訓練の際、消防団員によるIP 無線を活用し情報伝達訓練を実施	0	・これまでにも水防訓練等で伝達訓 ・H28 練を実施している	年度	R7年度			•	•
②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	-H28年度	R7年度	・消防系統で確保済み	•	・消防系統で確保済み ●	消防系統で確保済	•	・連絡体制は確保済 ・H28	年度	R7年度			•	Ī
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•H28年度	•R7年度	・令和3年5月河川事務所の共同点検 (水防団員の参加無し)及び潮来土事 務所の出水前点検(本部員6名参加) を実施		令和4年6月河川事務所の共同点 検及び潮来土事務所の出水前点検 (水防団出席無)を実施	令和5年6月河川事務所の共同点 検及び潮来土事務所の出水前点検 (水防団出席無)を実施	0	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	年度	·R7年度			Δ	2
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・利根川水系連合水防演習に参加 する ・広域水防訓練の実施	·H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取組を継続 △	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・利根川水系連合水防演習に参加 する ・広域水防訓練の実施	年度	R7年度			Δ	•
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・広報誌やホームページ等で募集していく	´・H30年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続 △	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・広報誌・ホームページ等で募集し ていく	年度	R7年度			Δ	2
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討する	·H28年度	•R7年度	・既存の災害応援協定で対応 令和元年の台風15・19号を教訓に協 定内容を一部見直し、令和3年1月再締 結	•	災害応援協定で対応 ●	災害応援協定で対応	•	・実施を検討する・H29	年度	R7年度			Δ	1
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検を行う	・H29年度	•R7年度	・消防団当該分団(徳島地区)との情報 共有と危険箇所の点検及び排水ポンプ の操作訓練を実施(令和元年10月)令 和3年7・8月に2地区の水防団と情報 共有を実	0	令和4年7月に水防訓練実施と情報共有	令和5年7月に水防訓練実施と情報共有	0	・水防団等と情報共有、点検を行う・H29	年度	R7年度			Δ	(
⑧重要水筋歯所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	令和3年7月の水防訓練実施ととも に外浪逆浦周辺堤防の確認	0	令和4年7月の水防訓練実施ととも に外浪逆浦周辺堤防の確認	令和5年7月の水防訓練実施とも に外浪逆浦周辺堤防の確認	0	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	丰度	•R7年度			Δ	
③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団貝の募集、目王防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、 実施	•R3年度	•R7年度	・継続的な水防団員の募集を実施	0	・継続的な水防団員の募集を実施	継続的な水防団(消防団)員の募集 を実施	0	・水防団貝の募集、目王防災組織、企 業等の参画を促すための広報の検討、 ・R3年 実施	丰度	•R7年度			Δ	T
⑪水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	水防用土のうステーションの整備の ため土のう作製を実施	0	水防用土のうステーションの整備の ため土のう作製を実施	「水防用 土のうステーション」用の 土のう作製訓練を実施	0	・実践的な水防訓練の検討、実施・R34	丰度	·R7年度			Δ	T
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続 △	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	丰度	·R7年度			Δ	
対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施							•				•				<u> </u>
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(案)を作成する。	•H29年度	•R7年度	市職員向けマニュアル「台風・大雨に 備えた事前行動計画」に排水機場、樋 門、水門等の一覧を盛り込み確認	0	市職員向けマニュアル「台風・大雨に 備えた事前行動計画」に排水機場、樋 門、水門等の一覧を盛り込み確認	市職員向けマニュアル「台風・大雨に 備えた事前行動計画」に排水機場、樋 門、水門等の一覧を盛り込み確認	0	・検討する ・H29	年度	•R7年度			Δ	
②排水訓練の実施	・防災訓練と合同で実施する検討を 行う	·H29年度	•R7年度	防災訓練に於いて担当課による操 作訓練の実施	0	防災訓練に於いて担当課による操 作訓練の実施	防災訓練での担当部局による操作 訓練実施	0	・防災訓練と合同で実施する ・H29	年度	R7年度			Δ	
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・排水ポンプ等の設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)の作成	•H29年度	•R7年度	・排水ポンプの設置箇所(2箇所)及び 過去の浸水箇所の一覧図を「台風・大 雨に備えた事前行動計画」を改訂し掲 載		・排水ポンプの設置箇所(2箇所)及び 過去の浸水箇所の一覧図を「台風・大 雨に備えた事前行動計画」を改訂し掲 載	排水ポンプ設置箇所及び過去の浸水 箇所一覧図を「台風・大雨に備えた事 前行動計画」に改訂	0	・検討する ・H29	年度	·R7年度			Δ	
(多排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	0	・実施に向けた取組を継続 △	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・排水設備の耐水化 ・R3名	丰度	·R7年度			Δ	
⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	·R3年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	0	・実施に向けた取組を継続 △	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・作成に必要な情報の提供 ・R3年	丰度	·R7年度			Δ	T

			施期間	かすみがうら			ı				=	施期間	神栖市	1	1		
「現」 「現」 「内容 「内容 「	実施内容	着手		R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状态	R5年度実績	実施状況	実施内容	着手	完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ***
(1)洪水を河川内で安全に流す対策													•				
①優先的に実施する堤防整備																	
②優先的に実施する波浪対策																	
③危機管理型ハード対策																	
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																	
①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備																	
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・霞ヶ浦地区の防災行政無線デジタ ル化(H28年度〜R3年度)を進め、 令和4年度には市内全域の防災行 政無線をデジタル化する	•H28年度	•R7年度	市防災行政無線整備事業5か年計 画完了による市内全域のデジタル 化完了		市防災行政無線整備事業5か年計 画完了による市内全域のデジタル 化完了	•	市防災行政無線整備事業5か年計 画完了による市内全域のデジタル 化完了	•	・市内全域に防災行政無線屋外拡 声子局を整備済・防災ラジオを有償配布中	•H28年度	R7年度	一	•	無償配布要件に該当する方については、無償配布要件に該当する方については、無償配布を実施中 【無償配布を件】	•	「か及フライを有限能和中 無償配布要件に該当する方について は、無償配布を実施中 【無償配布要件】
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・より効果的な資機材の配備を検討する	・H28年度	•R7年度	・資機材等の配備(水のう・土のう製作器・水難ボックスウォール)	0	・資機材等の配備(水のう・土のう製作器・水難ボックスウォール)	•	新資機材配備はなし	×	・新技術を活用した水防資機材等 の配備	•H30年度	R7年度				/	
③簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・県の設置状況を考慮しつつ必要で あれば市でも設置を検討する	・H28年度	R7年度	·H29年度POTEKA設置(市内4力所)	•	·H29年度POTEKA設置(市内4力所)	•	•H29年度POTEKA設置(市内4力所)	•	・水位計や量水標、カメラの整備	・H29年度	R7年度	・(㈱ウェザニュースへ水防対策支援 業務を委託しており、その中で水位 予測情報等の情報提供を受けてい る。	•	・(株)ウェザニュースへ水防対策支援 業務を委託しており、その中で水位 予測情報等の情報提供を受けてい る。		(関ウェザニュースへ水防対策支援 業務を委託しており、その中で水位 予測情報等の情報提供を受けている。
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であり対象外									・庁舎が浸水想定区域外であり対象外							
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・関係課とともに対策を検討する	•H28年度	R7年度	・田伏地先に内水排水ポンプ設置 済み	•	・田伏地先に内水排水ポンプ設置済み	•	・田伏地先に内水排水ポンプ設置済み・R6年度排水ポンプ車予算要求	0	・排水ポンプの整備	•H29年度	R7年度	・内水被害に備え水中ポンプ用ホースを購入し、備蓄倉庫に配備した。	•	・内水被害に備え水中ポンプ用ホースを購入し、備蓄倉庫に配備した。	•	・内水被害に備え水中ポンプ用ホースを購入し、備蓄倉庫に配備した。
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度		×		×		×	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・重要施設の雨水排水整備の実施	•	・重要施設の雨水排水整備の実施	•	・重要施設の雨水排水整備の実施
②河川防災ステーションの整備																	
③庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	非常用電源の確保	0	非常用電源の確保	0	非常用電源の確保 (中央庁舎)	Δ	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	非常用電源の整備やIP無線機の導入	•	非常用電源の整備・改修	•	非常用電源の整備・改修
項事。内容		T +	施期間	かすみがうら	市		1	T			*	佐 田 思	神栖市				
	実施内容	着手	完了	- R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状态	R5年度実績	実施状況	実施内容	着手	完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ***
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																	
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																	
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																	
														_			
③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画を策 定するなど今後策定を検討する	•H29年度	•R7年度	・広域避難計画(案)を検討 ・R19.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。	0	・広域避難計画(案)を検討 ・R19.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。	0	・RI.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組み を継続	Δ	・広域避難計画の策定	•H28年度	R7年度	・H29.2に締結した水郷4市(潮来市、稲敷市、神橋市、香取市)「大規模水害時における広域避難の選携に関係に関いていた郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。	•	・H29 2に締結した水郷4市(潮来市、稲敷市、神橋市、香取市)下、 規模水害時における広域選難の連携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、選難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。	•	・H29.2に締結した水郷4市(潮来市、稲敷市、神栖市、香取市)「大規模水害時における広域避難の連 様に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。
③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・協議会の中で広域避難計画を策 定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市の ハザードマップの作成の際に併せ て検討		•R7年度 •R7年度	・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に	0	・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に	0	水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組み	Δ	・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザードマップの策定	•H28年度 •H29年度	R7年度 R7年度	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及		市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及		市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及
	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市の ハザードマップの作成の際に併せ	・H29年度		・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し	0	R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し		水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組み を継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6 年3月に作成、5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を	Δ Ο	・広域避難を考慮したハザードマッ	•H29年度		市、稲敷市、神栖市、香取市)大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定リニついて水郷4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 RAMSPOVIZMOSEESWILTADUCU、 洪水ハザードマップを平成20年度に作 配売を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洗水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に対応し	•	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定 Jについて水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 展入が短い液小形と座域にシリルレニ 洪水ハザードマップを平成29年度に作 成、H30、4月より行政区を通じて全戸 配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に対応	•	市、稲敷市、神極市、香取市)「大 規模製」では、 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初勤マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した。 最大規模の浸水想定区域に対応した。 未がザードマップを令和4年度に改 定。行政区を通じて全戸配布を実施。 災害協定に基づく、広域連難の避難
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、	・H29年度	•R7年度	-R1927、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 - 平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し ている。	0	R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し ている。		水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。	Δ Ο	・広域避難を考慮したハザードマップの策定	•H29年度 •H29年度	R7年度	市、稲敷市、神橋市、香取市)大 規模水書時における広域避難の連 携に関する協定 はこいて水郷4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 び、初動マニアル等を作成した。 「販入版長の次小忍と近端に入り配い、 「東入版長の次小忍と近端に入り配い、 「東入版長の大の選小忍となった。 「東入版長の大の選小忍となった。 「大の大のといるからない。 、災害協定に基づく、広域避難の避難 先表決水・ガードマップ内に示しているかを記載した表示看板を整 でしなるかを記載した表示看板を整	•	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 取入派(株が)に水が近に海い、2月10 に一 洪水ハゲードマップを平成29年度に年 成、430、4月より行政区を通じて全戸 配布を実施。 、災害協定に基づ、広域避難の避難 先を洪水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に対応と 延難場所がどの自然災害に対応と でいるかを記載した表示看板を整	•	市、細数市、神極市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した 洪水ハザードマップを令和4年度に改 定。行政区を通じて全戸配布を実施。 災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水ハザードマップ内に示してい を逃りがいずードマップ内に示しているがを記載した表示看板を整 しているかを記載した表示看板を整
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度	•R7年度	-R1927、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 - 平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し ている。	0	R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し ている。		水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。	Δ Δ	・広域避難を考慮したハザードマップの策定 ・まるごとまちごとハザードマップ整備 ・要配慮者利用施設の避難計画の	•H29年度 •H29年度	R7年度 -R7年度	市、稲敷市、神橋市、香取市)大 規模水害時における広域避難の連 横に関する協定 について水原4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 び、初動マニアル等を作成した。 一級大阪保が区水の20年で20年で成立を 減水ハザードマップを平成20年度に作 成、H30、4月より行政区を通じて全戸 配名実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に対応し でいるかを記載した表示看板を整 備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水	•	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 服入版様が次水池上四端に対応した。 ・扱いバードマップを平成29年度に作成。1810、4月より行政区を通じて全戸 配布を実施。 ・災害協定に基づ、広域避難の避難 先を決水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に力応しているがを記載した表示者板を整 備中 洪水浸水池定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水	•	市、細数市、神極市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 第に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初勤マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した 操大ルバザードマップを令和年度に改 定。行政区を通じて全戸配布を実施。 災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水・ボードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応して でいるかを配載した表示看板を整 備中 漢水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度	•R7年度	-R1927、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 - 平成31年4月、市内全戸に配布し た総合防災マップを引き続き活用し ている。	0	R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討	0	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。		・広域避難を考慮したハザードマップの策定 ・まるごとまちごとハザードマップ整備 ・要配慮者利用施設の避難計画の	+H29年度 +H29年度 +H29年度	R7年度 -R7年度	市、稲敷市、神橋市、香取市)大 規模水害時における広域避難の連 横に関する協定 について水原4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 び、初動マニアル等を作成した。 一級大阪保が区水の20年で20年で成立を 減水ハザードマップを平成20年度に作 成、H30、4月より行政区を通じて全戸 配名実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に対応し でいるかを記載した表示看板を整 備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水	•	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 服入版様が次水池上四端に対応した。 ・扱いバードマップを平成29年度に作成。1810、4月より行政区を通じて全戸 配布を実施。 ・災害協定に基づ、広域避難の避難 先を決水ハザードマップ内に示してい 避難場所がどの自然災害に力応しているがを記載した表示者板を整 備中 洪水浸水池定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水	•	市、細数市、神極市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 第に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初勤マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した 操大ルバザードマップを令和年度に改 定。行政区を通じて全戸配布を実施。 災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水・ボードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応して でいるかを配載した表示看板を整 備中 漢水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サボート、地図情報の活用 (2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし	•H29年度 •H29年度	•R7年度 •R7年度	・R19.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討	0	・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討	0	水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組み を継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6 年3月に作成、5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を 予算要求。 ・予算化に向けた内部検討	•	・広域避難を考慮したハザードマップの策定 ・まるごとまちごとハザードマップ整備 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施 ・遊難勧告の発令に着目したタイム	+H29年度 +H29年度 +H29年度	R7年度 •R7年度	市、稲敷市、神栖市、香取市)」大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定 はついて水郷4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 一般人院様の深小忠正と深いストルのに 境へいなサードマップを平成29年度に作 成、H30・4月より行政区を通じて全計 を支護。・災害協定に基づく、広域避難の避難 先老漢本、サードマップ内に示して 定しいるかを記載した表示者板を整 増木・浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水 防施業と避難確保計画の作成を依 植。	0	市、組敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 酸入板(味が)次小恋近に30、1入りルロに 洪水ハザードマップを平成29年度に作成、H3O、4月より行政区を通じて全戸 配布を実施 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 大害協定に基づく、広域避難の避難 でいるかを記載した表示看板を整 備中 、大震大規定の管理者に対し、市の水 防施設と避難確保計画の作成を依 類。	•	市、細数市、神極市、香取市「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初勤マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した表大が、「中で、対を令和任實に改定、行政区を通じて全戸配布を実施。災害協定に基づく、広域避難の避難、たを洪水・ボードマップ内に示している。 整難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中、提水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水坊施策と避難確保計画の作成を依頼。
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①遊離指示の発令に着目したタイムラインの作成	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、 設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし ・タイムラインの策定を行う	•H29年度 •H29年度 •H28年度	•R7年度	R1927、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイムライン作成	0	R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイムライン作成	•	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・87年度総合防災マップ改定版を予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 ・で成済み。適宜修正 マイタイムラインを作成しようをホー	•	・広域避難を考慮したハザードマップの策定 ・まるごとまちごとハザードマップ整備 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施 ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定	*H29年度 *H29年度 *H29年度 *H29年度	R7年度 -R7年度 -R7年度	市、報敷市、神橋市、香取市)大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定リについて水郷4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 、初動マニュアル等を作成した。 及八然時の7次の30年20年20年度に作 配合を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を浅水いザードマップを平成20年度に作 配合を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洗水いザードマップ内に示してい 一般を追加した表示看板を整備中 漢水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水 防施策と避難確保計画の作成を依 超。 ・災害対策基本法の改正に併せて 更新を検討。	0	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 展入版様が次不必定位域に対応した。 ・ 18430、4月より行政区を通じて全戸 配布を実施。 ・ 1856協定に基づく、広域避難の避難 先を洪水ハザーマップ内に示してい ・ 2世 報局がどの自然災害に対応 になるを記載した表示看板を整 備中 洪水浸板で変積の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水 防施策と避難確保計画の作成を依 超・ ・ 1429年度タイムラインを作成。	•	市、細数市、神極市、香取市「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初勤マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した表大が、「中で、対を令和任實に改定、行政区を通じて全戸配布を実施。災害協定に基づく、広域避難の避難、たを洪水・ボードマップ内に示している。 整難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中、提水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水坊施策と避難確保計画の作成を依頼。
③広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 理難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、 設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし ・タイムラインの策定を行う	•H29年度 •H29年度 •H28年度	•R7年度	R1927、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイムライン作成	0	・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイム ライン作成 引き続き実施検討 ・和4年度は2回開催 ・R1年度、風水害を想定した市総合	•	水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組み を継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6 年3月に作成と5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を 予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 ・で成済み。適宜修正 マイタイムラインを作成しようをホームページにて周知	•	・広域避難を考慮したハザードマップの策定 ・まるごとまちごとハザードマップ整備 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施 ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定	*H29年度 *H29年度 *H29年度 *H29年度	R7年度 -R7年度 -R7年度	市、報敷市、神橋市、香取市)大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定リについて水郷4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 、初動マニュアル等を作成した。 及八然時の7次の30年20年20年度に作 配合を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を浅水いザードマップを平成20年度に作 配合を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を洗水いザードマップ内に示してい 一般を追加した表示看板を整備中 漢水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水 防施策と避難確保計画の作成を依 超。 ・災害対策基本法の改正に併せて 更新を検討。	0	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」について水郷本市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。 展入版様のアステルをでは、「外のとで、「大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	•	市、稲敷市、神極市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した 景水パザードマップを令和4年度に改 定。行政区を通じて全戸配布を実施。 「災害協定に基づく、広坡遺跡の避難 先を洪水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備 備中 来水浸液を運動した表示看板を整 施中 東水浸液を運動した表示看板を整 施中 東水浸液を運動した表示看板を整 機中 東水浸液を運動で発力にあっている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
②広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 (2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進	•H29年度 •H29年度 •H28年度 •R3年度	•R7年度 •R7年度 R7年度	R19.97、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイムライン作成 引き続き実施検討 ・R1年度、風水害を想定した市総合防災割縁を実施(災害対策本部の	0	R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・十28年度霞ヶ浦の洪水対策タイムライン作成 引き続き実施検討 令和4年度は2回開催 ・R1年度、風水害を想定した市総合防災割緩を実施(災害対策本部の	•	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正 マイタイムラインを作成しようをホームページにて周知 R5年度は未実施。 R6年度、水害から命を守るための選	•	・広域避難を考慮したハザードマップの策定 ・まるごとまちごとハザードマップ整備 ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施 ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定	·H29年度 ·H29年度 ·H29年度 ·H29年度	R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	市、報敷市、神橋市、香取市)大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定リについて水郷4市 で協議を重ね。避難場所の設定及 、初動マニュアル等を作成した。 及八然時の次の30年20年20年度に作 成、出30・4月より行政区を通じて全庁 配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難 先を浅水いザードマップ内に示してい 一変を監定しまづく、広域避難の避難 先を洗水がザードマップ内に示してい 一変を監定しまづく、広域避難の避難 を表水がザードマップ内に示してい 一変難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 漢水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水 防施策と避難確保計画の作成を依 超。 ・災害対策基本法の改正に併せて 更新を検討。	0	市、稲敷市、神栖市、香取市)「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」について水郷本市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。 展入版様のアステルをでは、「外のとで、「大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	•	市、稲敷市、神極市、香取市)「大 規模水害時における広域避難の連 携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した 景水パザードマップを令和4年度に改 定。行政区を通じて全戸配布を実施。 「災害協定に基づく、広坡遺跡の避難 先を洪水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備 備中 来水浸液を運動した表示看板を整 施中 東水浸液を運動した表示看板を整 施中 東水浸液を運動した表示看板を整 機中 東水浸液を運動で発力にあっている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

方災教育や防災知識の普及															
	・設置を検討する	•H29年度	•R7年度	・設置について内部検討中	0	・設置について内部検討中	0	・平時は、間合せ内容に応じて担当課で対応。災害時は、危機管理課を窓口として対応。	・問い合わせ窓口の設置	•H28年度	R7年度	・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当課で対応。災害時は、防災安全課を窓口として対応。		・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当課で対応。災害時は、防災安全課を窓口として対応。	
水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・常陸川水門現地見学会に参加	•H28年度	R7年度	令和4年度以降も継続して実施予 定	•	令和4年度以降も継続して実施予 定	•	- 総合防災訓練や自治会への自主防 災組織の組織化説明会にて広報	・国、県による出前講座等の開催	•H28年度	R7年度				
教員を対象とした講習会の実施	・実施に向けて検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続 △	・国、県による出前講座等の開催	・H29年度	R7年度				
n学生を対象とした防災教育の実施	・実施に向けて検討する	•H29年度	R7年度	・風水害を対象とした市総合防災訓 練への参加呼びかけ	•	・風水害を対象とした市総合防災訓 練への参加呼びかけ	•	・総合防災訓練への参加を呼び掛けた が日程調整ができず未実施となった。	・国,県による出前講座等の開催	•H29年度	R7年度				
出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	新たな地域での住民避難力強化事 業の実施を検討予定	•	新たな地域での住民避難力強化事 業の実施を検討予定	•	・令和6年度、実施予定の「水害から命を守るための避難訓練」に係る訓練内容の事前説明会を実施。	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度				
プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・メール、ツイッター等による周知やその他の方法を検討	・H29年度	R7年度	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、メール、市アプリ、ツイッターへ避難情報を発信可能となる。	•	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、メール、市アブリ、ツイッターへ避難情報を発信可能となる。	•	・防災無線親局の発令判断システム (音声合成装置)整備に伴い、メール、 市アブリ、ツイッターへ避難情報を発信 可能となる。 ・総合防災マップや市広報紙等におい て情報取得手段について、適宜、周 知。 ・R6年度防災アプリを整備予定。	・ブッシュ型の洪水予報等の情報入 手手段の周知	-H28年度	R7年度	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を発信している。	•	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を 発信している。	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を発信している。
)水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報等を リンク先で提供する	·H28年度	R7年度	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議会や 川の防災情報をリンク。区長会総会 や自主防災組織をつうろう研修会 で各種防災情報を取得するアプリ 等を継続して周知していく。		市HPへ震ヶ浦減災対策協議会や 川の防災情報をリンク。区長会総会 や自主防災組織をつうろう研修会 で各種防災情報を取得するアプリ 等を継続して周知していく。		市HPへ需ヶ浦減災対策協議会や川の 防災情報をリンク。区長会総会や自主 防災組織をつろうろが毎々で各種防災 情報を取得するアプリ等を継続して周 知していく。	・ホームページ、スマートフォンやテ レビなどに水位計やライブカメラの 情報をリアルタイムで提供	・H29年度	R7年度	市ホームページに「川の防災情報」 へのリンクを設定している		市ホームページに「川の防災情報」 へのリンクを設定している	市ホームページに「川の防災情報」 へのリンクを設定している
許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続 △	操作規則の制定履行検査における周知	·H28年度 ·H28年度	•R7年度	・策定に向け内部検討中	0	・策定に向け内部検討中	・策定に向け内部検討中
の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化					1						I.		•		_
7の末町は小砂点型の美能ない小砂体制の通信 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せ伝達訓練を実施していく	•H29年度	R7年度	・実施済み 消防団兼任のため, 普段から継続 実施	•	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	•	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・水防団等への連絡体制の再確認 と伝達訓練の実施	•H28年度	R7年度	・消防団への連絡手段として、無線機やメールを整備している。		・消防団への連絡手段として、無線 機やメールを整備している。	・消防団への連絡手段として、無線機やメールを整備している。
次防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	-H29年度	R7年度	・無線機と簡易無線機を分団各部 に配備済み	•	・無線機と簡易無線機を分団各部 に配備済み	•	・無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み	・水防団同士の連絡体制の確保	•H28年度	R7年度	・小型無線機を各分団へ配備済み	•	・小型無線機を各分団へ配備済み ●	・小型無線機を各分団へ配備済み
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同訓練に参加する	•H28年度	•R7年度	令和3年6月共同訓練実施	0	令和4年6月共同訓練実施	0	令和5年6月共同訓練実施	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加	•H28年度	R7年度	•河川事務所の共同点検に参加	•	・河川事務所の共同点検に参加 ●	・河川事務所の共同点検に参加
関係機関が連携した実働水防訓練の実施	毎年、消防本部主導の水防訓練を 実施	•H28年度	•R7年度	令和4年度以降も消防水防訓練を 実施予定	0	令和4年度以降も消防水防訓練を 実施予定	0	6月の水防訓練、11月の総合防災 訓練にて実施	・利根川水糸連合水防演習への参加 ・関係機関と連携した広域水防訓練 の実施		R7年度	いたまれたは、半時日よ節神戸		1	1/// 中中1-11 迷卧田北麓林田
5水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	広報誌やホームページ等で募集していく	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	11月の総合防災訓練にて団員募集 実施	・広報紙やホームページ等で水防協力団体を募集	•H28年度	R7年度	- 水災害時には、消防団が管轄区 域内の内水被害の対応をしてい る。消防団の募集については、経常 的に実施しているが、水防協力団 体の募集については実施していな い。	•	・水災害時には、消防団が管轄区 域内の内水被害の対応をしてい る。消防団の募集については、経常 的に実施しているが、水防協力団 体の募集については実施していな い。	・水災害時には、消防団が管轄区域内の内水被害の対応をしている。消防団の募集については、経り的に実施しているが、水防協力団体の募集については実施していない。
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討·構築	実施を検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	地元の建設業協会と災害時の協力 体制を協議	・建設業者と災害時における応急復旧に関する協定の締結済	•H23年度	R7年度	・H23年度に建設業組合と災害時に おける応急復旧に関する協定を締 結している。		・H23年度に建設業組合と災害時における応急復旧に関する協定を締結している。	・H23年度に建設業組合と災害時代 おける応急復旧に関する協定を経 結している。
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検を行う	•H28年度	R7年度	上記の共同訓練の際、地元水防団 に参加をいただき、情報共有を図っ ている。	•	上記の共同訓練の際、地元水防団 に参加をいただき、情報共有を図っている。	•	6月の台風2号を受けて、被害箇所 の把握、庁内で情報共有を図った。	・水防団等と点検を実施し、内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・H28年度	•R7年度	・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。		・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。	・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。
②重要水防笆所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討していく	Δ	・実施に向けた取り組みを検討していく	Δ	重要水防箇所の点検を実施●	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。
	・小阪四貝の券集、日主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討して	Δ	・実施に向けた取り組みを検討して	Δ	・実施に向けた取り組みを検討して ム	・小防四貝の券票、日主防災組織、企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	* 水防凹貝の券集、日主防災組織、企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•	・水助団貝の寿果、日土防災組織、企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	* 小防団貝の券集、日主防災相極企業等の参画を促すための広報の検討、実施
⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	多くの団員に水防訓練を経験させ る。	0	多くの団員に水防訓練を経験させ る。	0	・R6年度水防訓練では、水防団員 に加え、一般の避難者にも参加を 促していく。	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実践的な水防訓練の検討、実施		・実践的な水防訓練の検討、実施	・実践的な水防訓練の検討、実施
①水防関係省间での連携、励力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討していく	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続 △	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力
策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 非水計画(案)の作成及び排水訓練の実施															
) 排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・計画策定の検討を行う	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続 △	・排水ポンプの設置箇所を選定した 排水計画(案)の作成	•H28年度	•R7年度	・計画策定までは至っていないが、災害時には、関係各課と連携して、水中ポンプの設置等の対応を行っている。	0	・計画策定までは至っていないが、災害時には、関係各課と連携して、水中 ポンプの設置等の対応を行っている。	-計画策定までは至っていないが、災害時には、関係各課と連携して、水中ポンプの設置等の対応を行っている。
2.排水訓練の実施	・計画に基づく排水訓練の実施を検 討	*H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・令和6年度排水ポンプ車操作訓練 を実施予定	・防災訓練と合同で実施	•H30年度	•R7年度				
3内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・計画策定の検討を行う	·H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続 △	・排水ポンプの設置箇所を選定した 排水計画(案)の作成	•H28年度	•R7年度	・作成に向け内部検討中	0	・作成に向け内部検討中	・作成に向け内部検討中
	サルシル体のエナルル	D0/F #	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討して	^	・実施に向けた取り組みを検討して	^	・実施に向けた取り組みを検討して	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度				
④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	117十段	いく	_	いく		LV	19ドバルス 原用 マン 川ゴ ババ 「L	110-12	117年度		/		

内容		実	施期間	行方市 R3年度実績 **	№ R4年度実績	零陈状況	 R4年度実績	実施状況			施期間	<u>鉾田市</u> R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	 R5年度実績
対策の主な取組		着手	完了	K3年及美棋 *	R4平及夫族	美能认 法	K4年及美粮	美肥认沈	美胞內谷	着手	完了	R3年及夫棋	关肥认法	R4年及夫棋	美能认沈	R5平及夫棋
対象の主な収組 共水を河川内で安全に流す対策											_					
①優先的に実施する堤防整備																
②優先的に実施する波浪対策																
③危機管理型ハード対策																
・ 選難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握 伝達するための基盤の整備	ž.															
MAE 7 WILLOW EMENT IE MA	・防災無線の維持管理を徹底する	·H28年度		・防災行政無線、メルマガ、エリアテ	(内) ・(内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内)										+	
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布			•R7年度	レビ等の情報伝達方法の利便性を 向上,聞き逃し対策にフリーダイヤルの	レビ等の情報伝達方法の 向上,聞き逃し対策にフリー			-	・防災行政無線のデジタル化	•H29年度	•R4年度	・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布		防災行政無線のデジタル化 ■別受信機の配布		·防災行政無線のデジタル化 ·戸別受信機の配布
	・防災対応型エリア放送の開始	•H28年度		周知 ・難視エリアの改善	周知 ● ・難視エリアの改善							7 77 71 10 77 10 11	<u> </u>	777× 121 120 - 1 100 11	<u> </u>	7 77 18 18 18 19
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防3	・非常用電源車の検討	・H29年度			● ・計13台に1500W以上の約	合電機能 ●			・水防団員の安全を確保するため			・デジタル簡易無線機を配備	. 7	デジタル簡易無線機を配備		デジタル簡易無線機を配備
材等の配備	^{眞機} ・消防団の装備の基準改正に伴い 資機材の拡充を図る	·H29年度	R7年度	公用車13整備済 ・装備を拡充	公用車13整備済 ・装備を拡充	•			の資機材の充実を図る	•H28年度	•R7年度	・自然水利を管理する分団に対し、 ライフジャケット(5枚)配布		自然水利を管理する分団に対し, イフジャケット(5枚)配布		・自然水利を管理する分団に ライフジャケット(5枚)配布
	・国や県が設置している既存の設備	±	+		 	\rightarrow			·POTEKAの設置			・超高密度気象観測POTEKAを市	. #	超高密度気象観測POTEKAを市	+	·超高密度気象観測POTEKA
①簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	を活用する	H29年度	R7年度						・国や県が設置している既存の設備 を活用する	H29年度	R7年度	内4カ所に設置		4カ所に設置		内4カ所に設置
浸水時においても災害対応を継続するための施設の	^{の整} ・各庁舎は浸水想定区域外								・庁舎が浸水想定区域外であり対							
帯及び自家発電装置等の耐水化	「台川台は及小心足匠場が							Ť,	象なし							
内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・資機材リース会社との災害応援協 定による対応	⋅H28年度	•R7年度	・台風接近時の溢水想定箇所に仮 設排水ポンプ設置を継続	○ ・台風接近時の溢水想定 設排水ポンプ設置を継続	箇所に仮 O			・既設排水ポンプの点検及び新規 整備箇所の検討	•H28年度	·R7年度	・内部危険箇所の点検を実施	O •Þ	内部危険箇所の点検を実施	0.	·内部危険箇所の点検を実加
			+	政殊パパンノ政臣を極利	政殊パパンク設直を終続			3	世州 回り の代割				++		+	
重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所た 要施設の雨水排水整備の実施	など ・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度		・取組を継続	Δ		-	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する		要配慮者利用施設周辺の排水整 を検討する		·要配慮者利用施設周辺の 備を検討する
河川防災ステーションの整備																
/////////// ノコンの正端	75.W be 5.65.T t be .W ct 1 be		+						85.W. No. 5 a 15.T. 1.165 W. 17.1.165			In the last terms of the last terms			+-	
庁舎等の防災拠点の強化	防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度		統合庁舎建設の検討・協	品議 ム			·防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	・機能性を有した防災拠点となる新 庁舎建設の検討	△ 庁:	機能性を有した防災拠点となる新 :舎建設の検討		·機能性を有した防災拠点と 庁舎建設の検討
内容		実行	施期間	行方市		. 1		1	+++++	集	施期間	新田市 第田市	$\overline{}$		$\overline{}$	
	実施内容	着手	完了	── R3年度実績 *	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	着手	完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績
後の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的 或避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	准な避難行期のための収租															
想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																
想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの分	込表		4													
広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案)	・H29年度	R7年度	・広域避難は要しない	● ・広域避難は要しない	•			・協議会の中で広域避難計画(案)	•H29年度	R7年度	市内の避難施設で収容可能なた	• <u>†</u>	内の避難施設で収容可能なた		市内の避難施設で収容可能
	を検討する			72. 10. 20 0. 1				3	を策定する		,	め、広域避難は要しない。	· .	、広域避難は要しない。	- X	め、広域避難は要しない。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・想定最大規模降雨における洪水	V 1100Æ#	D3/T #	・広域避難なしのハザードマップの	・広域避難なしのハザート	マップの			・想定最大規模降雨における洪水	1100年	D7.45.45	・ハザードマップを改訂した		ヽザードマップの更新準備 たば、吹舞はない		・ハザードマップを改訂した
)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	、•H29年度	R7年度	改定を実施	改定を実施				を対象に,広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	-H29年度	R7年度	※広域避難はなし※令和5年度更新予定		広域避難はなし 令和5年度更新予定	0	※広域避難はなし
	・洪水浸水総地図の公表後、設置								·洪水浸水総地図の公表後, 設置			要配慮者利用施設を中心に設置場		配慮者利用施設周辺の電柱に想	3 7	要配慮者利用施設周辺の電
まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	に向けた検討を行う	·H29年度	•R7年度	・取組を継続	△ ・取組を継続	Δ			に向けた検討を行う	•H29年度	•R4年度	所を選定 ※令和4年度予算要求	△ 定	浸水深の標識を設置		安配慮有利用施設同位の 定浸水深の標識を設置
	・要配慮者利用施設において策定し	 	+					+	・要配慮者利用施設において策定し			・避難確保計画は全施設策定済み(14			++	. 跨難722. 是到面(14.0.1m)
要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促	。 _* ている避難計画の策定計画の中に	- 1100年度	R7年度	·R3年12月市内100%作成完了,今	・R4年12月市内100%作り ● 後は訓練支援を継続。	成完了,今		-	ている避難計画の策定計画の中に	·H29年度	R7年度	施設) ・14施設のうち、避難行動要支援者の	施言		施	·避難確保計画は全施設策定 施設)
	*** 水害も対象として位置づけ、避難訓 練等を支援する	1.20 1.20		後は訓練支援を継続。	(浸水想定区域内対象18)				水害も対象として位置づけ,情報提 供及び避難訓練等を支援する	1120 1 12	, , ,	入院・入所が見込まれる2施設での訓練を検討	△ 訓#	^選 難確保計画の随時改訂及び避難 練報告書提出の徹底を図る	0	·避難確保計画の随時改訂及 訓練報告書提出の徹底を図る
8 . 15 15 10 . E . 11 11 E . T. 11												W.C.IVIII				
)ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポー 図情報の活用	*.															
難指示の発令に着目したタイムラインの作成 				1107 F F 1	1,107 5 5 5 7 7 8 14	ND#####				1	1					
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・策定済み	•H27年度	R7年度	・H27年度に完了, その後避難勧告 等の伝達基準変更に伴う改訂等を	・H27年度に完了,その後等の伝達基準変更に伴う			-	・タイムラインの策定を行う	·H29年度	R7年度	・避難情報発令基準の見直しに伴い、タイムラインの内容を一部改訂	● 作:	成済み。適宜修正。	• "	作成済み。適宜修正。
			+	実施。	実施。			-					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	曼水想定区域内の地区に対し、地		浸水想定区域内の地区に
避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイプ ンの作成	ムラ ・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度		・防災アプリ・デジタルマイ インの周知	タイムラ		.	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・河川事務所等の協力を得て、マイタイムライン講習会を開催する		回覧にてマイタイムラインのチラ	×	区回覧にてマイタイムライン シを配布
JOI FIX												・防災アプリの周知を図る	0 .0	を配布 防災アプリの周知を図る	• •	防災アプリの周知を図る
)「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度		・自主防災組織役員・要配品 設職員を対象としたマイタイ									曼水想定区域内の区長を参集し. イタイムライン作成説明会を開催		·浸水想定区域内の区長を マイタイムライン作成説明会
, ,	TT 7 TT				成講習会の実施。	->1>11							के व			する
タイムラインに基づく実践的な訓練	・実践的な訓練を実施する	·H29年度	•R7年度	想定訓練を検討	○ ・想定訓練を検討	0			・ロールプレイング等の実践的な訓 練の実施する	•H29年度	•R7年度	・訓練方法等の内部検討		訓練内容等の検討 令和5年度実施予定	0	·訓練内容等の検討 ※令和6年度実施予定
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報系列を受ける。	ā o							1	マスルッツ				***	17日0千尺大肥了た		☆ 17和0千尺大 爬了走
のスタイト報光信号の「危険及のピカリ表示」、「言報を 記象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 と」等の改善																
ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	/h=															
(ンの構築)																
災教育や防災知識の普及								 							T .	
	・問い合わせ窓口を検討	・H28年度	R7年度	・建設部や関係各課と連絡を執って窓口を設置	・建設部や関係各課と連絡を ■ 口を設置	•			・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	R7年度	・総務課危機管理室を窓口とした。	- ₩	総務課危機管理室を窓口とした。	• -	・危機管理課を窓口とした。
水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置				・HPの拡充(関係機関の情報をリンク)	・HPの拡充(関係機関の情報	最をリンク)									$\perp \rfloor$	
)水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置							. <u></u>					・実施に向けた取り組みを継続	△ .≢	実施に向けた取り組みを継続		実施に向けた取り組みを継続
水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置			•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討	○ ・実施に向けた取り組みを	検討O			・実施について検討する	•H28年度	•R7年度	(H28常陸川水門現地見学会に参加) ・区長会等を対象に防災に関する説明	(H2	128常陸川水門現地見学会に参加) 共水浸水想定区域内の区長を対象に	_	(H28常陸川水門現地見学会) 洪水浸水想定区域内の区長
	・実施について検討	・H28年度	-17.4-12	1								会の実施に向け準備		既不浸水恐足区域内の区長を対象に 災に関する研修会を実施		固別訪問を行い、防災に関す 内容の説明を実施
	・実施について検討	•H28年度	17.4.1发					++	宇体についてや計せて	. 山20 左 座	.07年帝	・数昌笙へ謙邓仝をやり		から第2歳取るた や 社	+-	
水防災に関する説明会の開催・広報の実施				. 5#30 A + 10 84	O . 进现△++>=+	- _ 		1 1	・実施について検討する	•H29年度	•R7年度	・教員等へ講習会を検討	U ·勃	教員等へ講習会を検討	101.	・教員等へ講習会を検討
水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討・講習会等を検討	•H28年度 •H29年度	•R7年度	・講習会を検討	O ・講習会を検討	0		+++							1 1	·茨城県防災 ·危機管理課職員
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施	・講習会等を検討	•H29年度	•R7年度						・実施について給討する	•H29年度	•R7年度	・霞ヶ浦河川事務所職員によるマイタイムライン講習会を市小学校にて実施予	·茨 マ1	茨城県防災・危機管理課職員による イタイムライン講習会を市小学校に		
2.水防災に関する説明会の開催・広報の実施 3.教員を対象とした講習会の実施					○ ・講習会を検討○ ・学校単位の防災訓練を				実施について検討する	•H29年度	•R7年度	·霞ヶ浦河川事務所職員によるマイタイムライン講習会を市小学校にて実施予定も中止 ※令和4年度実施予定	0 71	茨城県防災・危機管理課職員による イタイムライン講習会を市小学校に 実施する	0 7	
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 小学生を対象とした防災教育の実施	・講習会等を検討・実施について検討	・H29年度 ・H29年度	•R7年度 •R7年度									ムライン講習会を市小学校にて実施予 定も中止 ※令和4年度実施予定	○ マイ てす ・茨	イタイムライン講習会を市小学校に 実施する	0 7	マイタイムライン講習会を市小て実施する
D水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 D水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 D水防災に関する説明会の開催・広報の実施 D水学生を対象とした講習会の実施 D水学生を対象とした防災教育の実施 D、お前講座等を活用した講習会の実施	・講習会等を検討	•H29年度	•R7年度						実施について検討する ・出前講座等を活用した講習会の 実施	•H29年度 H28年度	•R7年度 •R7年度	ムライン講習会を市小学校にて実施予 定も中止	○ マイ てす ・茨	イタイムライン講習会を市小学校に 実施する 炭城県の人形ロボット「ペッパー」を活 した防災講座を市内小学校にて実施	O マママ	マイタイムライン講習会を市小! て実施する
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ③小学生を対象とした防災教育の実施 ⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・講習会等を検討 ・実施について検討 ・出前講座等を活用した講習会の実施	-H29年度 -H29年度 H28年度	•R7年度 •R7年度 •R7年度	・学校単位の防災訓練を継続実施	○ ·学校単位の防災訓練をi				・出前講座等を活用した講習会の 実施	H28年度	•R7年度	ムライン講習会を市小学校にて実施予定も中止 ※令和4年度実施予定 ・茨城県の人形ロボット「ペッパー」を活用した防災講座の実施に向け検討	○ マイてす ・茨 用しする	イタイムライン講習会を市小学校に 実施する 炭城県の人形ロボット「ペッパー」を活 した防災講座を市内小学校にて実施 る	〇 マ て 日 〇 押 す	マイタイムライン講習会を市小 て実施する - 茨城県の人形ロボット「ペッパ 用した防災講座を市内小学校」 する
が水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ・教員を対象とした講習会の実施 ・小学生を対象とした防災教育の実施	・講習会等を検討 ・実施について検討 ・出前講座等を活用した講習会の	・H29年度 ・H29年度	•R7年度 •R7年度									ムライン講習会を市小学校にて実施予 定も中止 ※令和4年度実施予定 ・茨城県の人形ロボット「ベッパー」を活	○ マイてす ・茨 用しする	イタイムライン講習会を市小学校に 実施する 炭城県の人形ロボット「ペッパー」を活 した防災講座を市内小学校にて実施	〇 マ て 日 〇 押 す	マイタイムライン講習会を市小 て実施する ・茨城県の人形ロボット「ペッパ 用した防災講座を市内小学校!
次	・講習会等を検討 ・実施について検討 ・出前講座等を活用した講習会の実施 ・情報入手方法などの周知	- H29年度 - H29年度 H28年度 - H28年度	·R7年度 ·R7年度 ·R7年度	・学校単位の防災訓練を継続実施	○ ·学校単位の防災訓練をi				・出前講座等を活用した講習会の 実施 情報入手方法などの周知	H28年度 ・H29年度	•R7年度	ムライン講習会を市小学校にて実施予定も中止 ※令和4年度実施予定 ・茨城県の人形ロボット「ペッパー」を活用した防災講座の実施に向け検討	○ マイてす ・茨 用しする	イタイムライン講習会を市小学校に 実施する 炭城県の人形ロボット「ペッパー」を活 した防災講座を市内小学校にて実施 る	〇 マ て 日 〇 押 す	マイタイムライン講習会を市小 て実施する - 茨城県の人形ロボット「ペッパ 用した防災講座を市内小学校」 する
水防災に関する説明会の開催・広報の実施 教員を対象とした講習会の実施 小学生を対象とした防災教育の実施 出前講座等を活用した講習会の実施	・講習会等を検討 ・実施について検討 ・出前講座等を活用した講習会の実施 ・情報入手方法などの周知	- H29年度 - H29年度 H28年度 - H28年度	•R7年度 •R7年度 •R7年度	・学校単位の防災訓練を継続実施・市報やチラシで実施	○ ·学校単位の防災訓練をi	継続実施 ○			出前講座等を活用した講習会の 実施 情報入手方法などの周知	H28年度 ・H29年度	•R7年度	ムライン講習会を市小学校にて実施予定も中止 ※令和4年度実施予定 ・茨城県の人形ロボット「ペッパー」を活用した防災講座の実施に向け検討	○ マイ てす -茨用し する	イタイムライン講習会を市小学校に 実施する 炭城県の人形ロボット「ペッパー」を活 した防災講座を市内小学校にて実施 る	○ マて て 所す	マイタイムライン講習会を市小当 で実施する - 茨城県の人形ロボット「ペッパ 用した防災講座を市内小学校! する

				行方市								鉾田市				
内容	実施内容	実施 着手	短期間 完了	R3年度実績	寒庵状況 R4年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績
対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間 より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	の確保のための水防活動の取組															
より効果的な小切冶制の美能及び小切枠制の強化			T			T						・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実		・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実	0 :	・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・これまでも伝達訓練を実施している	•H28年度	•R7年度	・災害時優先携帯等を用い訓練を 実施	・災害時優先携帯等を用い訓練を 実施	0			・水防訓練に併せ伝達訓練を実施する	·H29年度	•R7年度	施・消防団が兼務しており、分団長とは日 常からメール配信を実施		施・消防団が兼務しており 公団長とは日		施 ・消防団が兼務しており、分団長とは日 常からメール配信を実施
②水防団同士の連絡体制の確保	·双方向通信機を配備し、マニュア ル作成済み	•H28年度	R7年度	・簡易無線機を各部に配備し、要領 を作成、配布済み	・簡易無線機を各部に配備し、要領を 作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の整 備				・連絡体制を確保する	・H28年度	R7年度	・デジタル簡易無線機を配備	•	・デジタル簡易無線機を配備	•	・デジタル簡易無線機を配備
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い 区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加。【H28年 度~】	•H28年度	R7年度	・水防訓練のほか、出水期前に水防重 点箇所の共同点検において、行政区 民、消防団員が参加(今年度は新型コ ロナウイルス感染症対策によりなし。)	・水防訓練のほか、出水期前に水防重 点箇所の共同点検において、行政区 民、消防団員が参加(今年度は新型コ ロナウイルス感染症対策によりなし。)				・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•H28年度	•R7年度	・河川事務所が実施する共同点検 に参加(未実施)	0	・河川事務所が実施する共同点検 に地元区長及び消防団が参加		·河川事務所が実施する共同点検 に地元区長及び消防団が参加
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・利根川水系連合水防演習に参加 する ・水防訓練の実施	•H29年度 •H29年度	•R7年度	・ 美他に回げた取り組みを継続 ・消防夏季訓練の際に水防訓練を	△ * 美施に回げた取り組みを継続 ○ *消防夏季訓練の際に水防訓練を	Δ			・利根川水系連合水防演習に参加する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ.	実施に向けた取り組みを継続
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を 促進	・募集を検討	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続 ・広報誌やHPなどによる募集	0			広報誌やホームページ等で募集していく	・H29年度	•R7年度	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘				・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討	•H28年度	R7年度	・災害時における資機材のリース協 定や市内建設業者と連携済み	● ・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携済み	•			・災害協定締結済み	•H19年度	R7年度	災害協定締結済み	•	・災害協定締結済み	•	・災害協定締結済み
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・消防団と情報共有、点検を行う	•H28年度	•R7年度	・台風まえに消防団等と点検を実施	〇 ・台風まえに消防団等と点検を実施	ā O			·水防団等と情報共有, 点検に努める	•H28年度	R7年度	・河川事務所が実施する共同点検 に参加	0	・河川事務所が実施する共同点検 に地元区長及び消防団が参加		・河川事務所が実施する共同点核 に地元区長及び消防団が参加
③重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度		・水防資機材の配備・更新を実施する。	- 0			・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・新庁舎建設に併せ、水防資機材を集 約できる倉庫建設を検討 ・先進事例を参考に水防資機材の配備 を検討する	Δ	・新庁舎建設に併せ、水防資機材を集 約できる倉庫建設を検討・先進事例を参考に水防資機材の配備 を検討する	*	新庁舎建設に併せ、水防資機材を約できる倉庫建設を検討 りできる倉庫建設を検討 ・先進事例を参考に水防資機材の配 を検討する
⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、目王防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、 実施	•R3年度	•R7年度		・広報誌やHPなどによる消防団員 の募集	0			・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘				・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘
⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度		・消防団で実施している水防訓練の 内容検討) ^			・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・訓練方法等の内部検討	Δ	・訓練方法等の内部検討	Δ.	-訓練方法等の内部検討
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度		・実施内容の検討	Δ			・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・他機関で実施される訓練,講習会等に参加し,連携強化を図る	0	・他機関で実施される訓練、講習会等に参加し、連携強化を図る	O !:	・他機関で実施される訓練、講習会等 に参加し、連携強化を図る ・他機関等が所有する特殊車両を用い た支援体制の明確化及び強化を図る
- 対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	助の回復を可能とするための排水活動の取組								•	l .	•					
排水計画(案)の作成及ひ排水訓練の美施 ①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検 討を行い、大規模水器を想定した排水計画(案)の作成	・建設部や関係機関と協議し排水ポンプ設置箇所の選定までを行った排水計画(案)を作成	•H28年度	•R7年度	・建設部や消防団と協議し、排水ポンプ 設置箇所を選定済み。排水計画(案) の作成に向けた検討を実施	・建設部や消防団と協議し、排水ポンラ 設置箇所を選定済み。排水計画(案) の作成に向けた検討を実施				・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(案)を作成する	•H29年度	•R7年度	・機場管理者との情報共有、排水計 画の検討	0	・機場管理者との情報共有、排水計 画の検討	0	·機場管理者との情報共有、排水 画の検討
②排水訓練の実施	・防災訓練等で実施	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ			・防災訓練と合同で実施する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ.	・実施に向けた取組を継続
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・建設部や関係機関と協議し排水ポンプ設置箇所の選定までを行った排水計画(案)を作成	•H28年度	•R7年度	・県河川管理者と協議の上、排水計画 の検討を実施 ・土地改良区と連携継続	・県河川管理者と協議の上、排水計画 の検討を実施 ・土地改良区と連携継続	0			・排水ポンプ等の設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)の作成	・H29年度	•R7年度	・排水計画(案)について内部検討	0	・排水計画(案)について内部検討	0	・排水計画(案)について内部検討
④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度		・実施に向けた取り組みを継続	Δ			・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・段階的な耐水化対策を検討する	Δ	・段階的な耐水化対策を検討する	Δ.	・段階的な耐水化対策を検討する
			•R7年度		・実施に向けた取り組みを継続								,	1	. —	<u> </u>

	1				小美玉市									美浦村					
項 事 目 項	内容	実施内容		期間 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	実施内容	実法 着手	短期間 完了		実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状态
	。 対策の主な取組 洪水を河川内で安全に流す対策																		
(1)	①優先的に実施する堤防整備																		
	②優先的に実施する波浪対策																		F
1 -																			
(0)	③危機管理型ハード対策																		
(2)	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・																		
	伝達するための基盤の整備																		
		・防災行政無線のデジタル放送へ	•H29年度		・機器のデジタル対応完了	•	・機器のデジタル対応完了	•	機器のデジタル対応完了	•	・H30年度以降を目標に防災行政無			・防災行政無線の拡声局の2基増	_		_	D-W (= 7) (= 10 = 7 + 10 = 1	۱ ـ
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	の移行 ・戸別受信機全戸配布済み	•H28年度	•R7年度	・転入者への設置	0	・転入者への設置	0	・転入者への設置	0	線(同報系)の設置を検討している	·H30年度	•R7年度	設を行った。	•	防災行政無線の管理運用	•	防災行政無線の更新を行った	•
																			Г
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機 材等の配備	・資機材の充実の検討	・H28年度	•R7年度	・消防団にライフジャケットを配備 (H28)	0	・消防団にライフジャケットを配備	0	・消防団にライフジャケットを配備	0	・水防団員の安全を確保するための姿機はの本実を検討する	•H28年度	R7年度	・水防団資機材の管理運用	•	・水防団資機材の管理運用	•	水防団資機材の管理運用	•
	付号の記事				(H28)		(H28)		(H28)		の資機材の充実を検討する								1
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・カメラを設置する	・H29年度	•R7年度	・国や県が設置している既存の設備		・国や県が設置している既存の設備	•	・国や県が設置している既存の設備	•	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水す	·H28年度	R7年度	監視カメラの管理運用	•	監視カメラの管理運用	•	監視カメラの管理運用	
		,,			を活用する	_	を活用する	_	を活用する 	_	る地域に監視カメラを設置する			m por - y	_	m port. 7 - 1 m.m.	_	m	Ě
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外のため対 象無し									・庁舎が浸水想定区域外								
		SC/IICO			・災害協定に基づき、内水氾濫時に		・災害協定に基づき、内水氾濫時に		・災害協定に基づき、内水氾濫時に		四小時/李橋川/ /2月巻1 - 1914-1								
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・県警と協力しマップ作成中	•H28年度	•R7年度	必要に応じ排水ポンプの提供を依頼する。	•	必要に応じ排水ポンプの提供を依頼する。		必要に応じ排水ポンプの提供を依 頼する。	•	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水す る地域の対策を検討	•H28年度	R7年度	・設置済みの土のうステーションの 点検及び交換を実施		・設置済みの土のうステーションの 点検及び交換を実施	•	・設置済みの土のうステーションの 点検及び交換を実施	•
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など				・市役所庁舎の雨水排水整備対応		72.7 00		- ・市役所庁舎の雨水排水整備対応 ・************************************					・役場庁舎等重要施設の雨水排水		・役場庁舎等重要施設の雨水排水		・役場庁舎等重要施設の雨水排水	П
	重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	済	•	済	•	済	•	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	整備の実施に向けた取り組みを継 続	Δ	整備の実施に向けた取り組みを継 続	Δ	整備の実施に向けた取り組みを継 続	\Box^{Δ}
	⑧河川防災ステーションの整備																		
		・防災拠点の停電対策、災害対策		D7.5.÷	・自家発電設備、無線設備及び衛		・自家発電設備、無線設備及び衛		・自家発電設備、無線設備及び衛	_	・防災拠点の停電対策、災害対策	D0/F =	p3/5-=	・防災拠点の停電対策、災害対策用通		・防災拠点の停電対策、災害対策用通		・防災拠点の停電対策、災害対策用通	ī
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	星電話整備済	•	星電話整備済		星電話整備済	L	用通信機器の増強等	•R3年度		信機器の増強等に向けた取り組みを 継続	Δ	信機器の増強等に向けた取り組みを 継続		信機器の増強等に向けた取り組みを 継続	L^{Δ}
	1				小美玉市					-				美浦村	-				_
項事目項	内容	上 実施内容	実施	期間		実施状況	R4年度実績	実施状況			実施内容	, 実施	西期間		実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状
2. Y7h	↓ 対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な 対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な		着手	完了	10千尺大根		177十次大恨 3				大心には台	着手	完了	10 千汉大帜		八寸十尺大根		10年及天恨	
	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																		_
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																		
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																		
	③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案)	・H28年度	•R7年度	・市内の避難施設で収容可能なた	•	・市内の避難施設で収容可能なた		・市内の避難施設で収容可能なた	•	・協議会の中で広域避難計画(案)	·H28年度	•R7年度	・稲敷広域消防本部圏内市町村広 域避難計画(個別計画)の策定に向	0	・稲敷広域消防本部圏内市町村広 域避難計画(個別計画)の策定に向	0	·稲敷広域消防本部圏内市町村広 域避難計画(個別計画)の策定に向	0
		を策定する			め、広域避難は要しない。		め、広域避難は要しない。		め、広域避難は要しない。		を策定する			け内部検討		け内部検討		け内部検討	
	② 内····································	・想定最大規模降雨における洪水	-1100年度	•R7年度	・霞ヶ浦の想定最大規模降雨にお ける洪水を対象に、洪水ハザード		・霞ヶ浦の想定最大規模降雨にお ける洪水を対象に、洪水ハザード		・霞ヶ浦の想定最大規模降雨における 洪水を対象に、洪水ハザードマップの	_	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザー		. D.7 任 庄	- 禁ウに向けて中部投計	0	- 禁ウに向けて中部投計		- 等字に向けて中部分計	0
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	. •п20年及	-K/平及	マップの策定した(広域避難は考慮しない)	•	マップの策定した(広域避難は考慮しない)		策定した(広域避難は考慮しない)	•	ドマップを策定する	·U30年及	•R7年度	・策定に向けて内部検討	0	・策定に向けて内部検討		・策定に向けて内部検討	ı
		・洪水浸水総地図の公表後、設置									・洪水浸水総地図の公表後、設置								1
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	に向けた検討を行う。	·H28年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	に向けた検討を行う。	·H30年度	•R7年度	・設置に向けて内部検討	0	・設置に向けて内部検討	0	・設置に向けて内部検討	0
		・要配慮者利用施設において策定して			・水害ハザードマップ内の要配慮者		・水害ハザードマップ内の要配慮者		・水害ハザードマップ内の要配慮者	•									
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	いる避難計画の策定計画の中に水害	・H29年度	•R7年度	施設の避難計画作成済	_	施設の避難計画作成済	•	施設の避難計画作成済	•	・要配慮者利用施設が浸水想定区								
		も対象として位置づけ、情報提供及び 避難訓練等を支援する。【H29年度~】			・避難訓練等の実施支援	0	・避難訓練等の実施支援	0	・避難訓練等の実施支援	•	域外。								
	⑦ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、 地図情報の活用																		
																			_
(2)	避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	T			T		1				T	1		1				1	
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインの策定を行う	・H29年度	•R7年度	・タイムラインを策定	•	・タイムラインを策定	•	タイムラインを策定	•	・タイムラインの策定を行う	·H28年度	•R7年度	策定に向けて内部検討	0	策定に向けて内部検討	0	・策定に向けて内部検討	0
																			
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラ インの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・広報誌にマイ・タイムラインの広告		・広報誌にマイ・タイムラインの広告	•	・広報誌にマイ・タイムラインの広告		・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	促進方法について内部検討	0	村のホームページや広報紙にマイ・		村のホームページや広報紙にマイ・	•
	インの作成	(1) 1=) 1> 011 MO RCE		12	を掲載した。		を掲載した。		を掲載した。		(1) 1 = 5 15 05 11 MODELE	1.0 1 2	122	BCZESSIATE OF THE PARTY	Ŭ	タイムラインに関する情報を掲載	·	タイムラインに関する情報を掲載	Ĺ
	③「マイ・タイトライン」、休む護耶の寄せ	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R4年度	•R7年度			・小学校における防災講習内にて		・小学校における防災講習内にて		・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度		7	・実施方法について内部検討		・実施方法について内部検討	0
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	- ・1・21ムフ1ノの作成の促進	N4+皮	尺/千尺			実施	_	実施	L	- ・1・21ムフ1ノの作成の促進	NO平及	17/ 牛皮			大心刀/広に ノい (内部快討	J	大心刀/広に ノい (内部快討	L L
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的な訓	・H29年度	•R7年度	・訓練方法について内部検討	0	・訓練方法について内部検討	0	・訓練方法について内部検討	0	・ロールプレイング等の実践的な訓	·H28年度	•R7年度	・訓練方法について内部検討	0	訓練方法について内部検討	0	・訓練方法について内部検討	0
		練の実施する								Ĺ	練の検討				_		_		Ĺ
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の 現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 は、第の改善																		
	化」等の改善																		
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																		
(3)	防災教育や防災知識の普及																		
	①北州東戸東新年港戸明ナブ明、ヘム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・奶果について怜吐+フ	. 山 20 左 庄	.D7年中	. 吹口たナル! マハフ		・空口をニナル! デいて		. 吹口太二士ル! デハフ	_	・奶果についてやサナフ	. 山 20 左 幸	.07年中	. 吹口太二士ル! デいフ		。空口太二士ル! デいて		・空口もニナル! テいて	_
	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・設置について検討する	•H28年度	•R7年度	・窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•	・設置について検討する	・H29年度	•R7年度	・窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•
																			<u> </u>
		・水防訓練を五月に実施	-1100年中	. D7年本	浸水想定域のある行政区の区長		浸水想定域のある行政区の区長	ا _	・浸水想定域のある行政区の区長	_	・字体についてやシャフ	.uooÆ=	. D7 & #	。中族に向けも 取りぬ シナ 4994年		. 中体に向けも Ball 40 チェナ 444 4年	,	- 字体に向けも Ball 40 7 + 4444	١.
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施		・H28年度	•R7年度	と水位警報装置の点検を実施した。	•	と水位警報装置の点検を実施した。	•	と水位警報装置の点検を実施した。	•	・実施について検討する	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ
					和主意日本: · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		M = = = 0 \ 1 - 2 \		## # #################################										_
	③教員を対象とした講習会の実施	毎年実施する総合防災訓練時に教育施設を避難場所に指定し、実施を検討	•H28年度	•R7年度	・教育委員会と実施について検討す る	0	・教育委員会と実施について検討す る	0	・教育委員会と実施について検討す る	0	・小中学校が浸水想定区域外								
		・毎年実施する総合防災訓練時に			・吐巛供姜改数のよりのマー・ナー		・防災備蓄啓発のためのチラシを配	•	・防災備蓄啓発のためのチラシを配	•									1
		教育施設を避難場所に指定し、実施を検討	•H28年度	•R7年度	・防災備蓄啓発のためのチラシを配布した。	•	布した。 ・小学性の一部において防災講習	-	布した。 ・小学性の一部において防災講習		・実施について検討する	·H29年度	R7年度	・新型コロナ感染拡大により未実施	0	・新型コロナ感染拡大により未実施	0	村内小学校にて防災学習を実施	0
		ルピピコスロリ					を実施	•	を実施	_							_		
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	•H28年度	•R7年度	・実施について内部で検討した。	•	・実施について内部で検討した。	•	・実施について内部で検討した。	•	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	講習会実施に向けて内部検討	0	講習会実施に向けて内部検討	0	・講習会実施に向けて内部検討	0
		スル巴								_	スル巴								<u> </u>
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	•検討中	・H28年度	•R7年度	・防災行政無線、エリアメールのほかに ヤフ一株式会社と災害協定を締結し、	•	・防災行政無線、エリアメールのほかに ヤフー株式会社と災害協定を締結し、	•	防災行政無線、エリアメールのほかに ヤフー株式会社と災害協定を締結し。	•	・情報入手方法などの周知を検討	·H28年度	•R7年度	・防災行政無線、防災メール、ツイッター、ホームページ等による情報発		・防災行政無線、防災メール、ツイッ ター、ホームページ等による情報発	•	・防災行政無線、防災メール、ツイッ ター、ホームページ等による情報発	•
					プッシュ型情報発信の強化を図った		プッシュ型情報発信の強化を図った		プッシュ型情報発信の強化を図った	Ĺ	<i>y</i> ত			信	_	信	-	信	
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・関係機関などのリンクをホーム	・H28年度	•R7年度	・川の防災情報・水位情報等へのリ		・川の防災情報・水位情報等へのリ		・川の防災情報・水位情報等へのリ	•	・村の防災Webにて、川の防災情報	·H28年度	R7年度	・村の防災Webにて、川の防災情報 等のリンクを付し、情報提供を行っ	•	・村の防災Webにて、川の防災情報 等のリンクを付し、情報提供を行っ	•	・村の防災Webにて、川の防災情報 等のリンクを付し、情報提供を行っ	
		ページに記載する	1.00		ンクを作成	oxdot	ンクを作成		ンクを作成	بّ	等のリンクを付し、情報提供を行う			te te	-	te		t	<u> </u>
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	検討する	·H28年度	•R7年度	・実施内容について内部検討	0	・実施内容について内部検討	0	・実施内容について内部検討	0	検討する	·H29年度	•R7年度	・実施方法等について内部検討	0	・実施方法等について内部検討	0	・実施方法等について内部検討	0

the state of the s			- 40 88		T		T				- 40 88	美浦村 美浦村		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
内容	実施内容		<u>期間</u> 完了	R3年度実績	_{実施状況} R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状	実施内容	美 加 第手	期間 一 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績 ***	R5年度実績
策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時	間(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		•	•		<u> </u>		•		70.7				<u> </u>
り効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化		1	1				1				1				_
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練時に実施	•H28年度	•R7年度	・連絡体制の再確認を実施	・連絡体制の再確認を実施	0	・連絡体制の再確認を実施	0	・既に、村の防災訓練に併せ伝達 訓練を実施している	•H28年度	•R7年度	・新型コロナ感染拡大により未実施	0	・新型コロナ感染拡大により未実施 (村の防災訓練に併せ伝達訓線 施した
②水防団同士の連絡体制の確保	検討する	・H28年度	R7年度	・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、火災現場等で実施している・消防団車両に無線機を配備	・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は確保されている ・消防団車両に無線機を配備		・消防団が水防団を兼務しており、連維体制は確保されている ・消防団車両に無線機を配備	*	・連絡体制確保の検討	・H28年度	R7年度	・消防車両に無線機及び小型無線 機を配備	•	・消防車両に無線機及び小型無線 機を配備	・消防車両に無線機及び小型 機を配備
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い 区間の共同点検	、・河川事務所が実施する共同点検 に消防団等とともに参加	•H28年度	•R7年度	・消防、消防団と自主点検を実施した。	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	-H28年度	•R7年度	・河川事務所が実施する合同点検 に参加	0	・河川事務所が実施する合同点検 に参加	・河川事務所が実施する合同。 に参加
①関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防訓練を5月に実施	•H28年度	•R7年度	・未実施	×・消防、消防団と共同で実施した。	•	・消防、消防団と共同で実施した。	•	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市 町村で合同の水防訓練を実施して いる	•H28年度	•R7年度	・新型コロナ感染拡大により未実施	0	・稲敷市、阿見町、美浦村の3市町 村で合同の水防訓練を実施	・稲敷市、阿見町、美浦村の3i 村で合同の水防訓練を実施
③水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定 足進	・自主防災組織の活動促進	・H28年度	•R7年度	・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	● ・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	•	・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	•	・広報誌やホームページ等で募集を 検討する	-H29年度	•R7年度	・水防団を兼務する消防団員の加 入促進を実施し、団員を募集	0	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を実施し、団員を募集	・水防団を兼務する消防団員の 入促進を実施し、団員を募集
⑤地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・検討する	•H28年度	•R7年度	・建設業協会と災害協定を締結している	● ・建設業協会と災害協定を締結している	•	・建設業協会と災害協定を締結している	•	・実施を検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	0	・実施に向けた内部検討	・実施に向けた内部検討
の内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検に努める	•H28年度	•R7年度	・浸水想定区域のある行政区の区 長と水位警報装置の点検を実施し た。	・浸水想定区域のある行政区の区 長と水位警報装置の点検を実施した。	•	・浸水想定区域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	•	·水防団等と情報共有及び点検等 の検討	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	0	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続
③重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・消防、消防団と自主点検を実施した。	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	0	・実施に向けて内部検討	・実施に向けて内部検討
②水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組	・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	● ・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	•	・広報誌やホームページで水防団? 兼務する消防団員の募集を行った	•	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	0	・実施に向けて内部検討C	・実施に向けて内部検討
水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施内容について内部検討中	〇 ・実施内容について内部検討中	0	・実施内容について内部検討中	0	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	0	・実施に向けて内部検討	・実施に向けて内部検討
)水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施内容について内部検討中	〇・実施内容について内部検討中	0	・実施内容について内部検討中	0	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	·R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	0	・実施に向けて内部検討 C	・実施に向けて内部検討
後の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活	動	l				1			l .	ı	I			l l	L
水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	・関係機関との排水施設の情報共 有	•H28年度	•R7年度	・排水機場等の所在地の確認、管 理者の調査を実施した。	・排水機場等の所在地の確認、管 理者の調査を実施した。	0	・排水機場等の所在地の確認、管 理者の調査を実施した。	0	・排水施設等が無いが、検討する	•H30年度	•R7年度	・計画作成に向けた取り組みを継続	Δ	・計画作成に向けた取り組みを継続	・計画作成に向けた取り組みを
②排水訓練の実施	・防災訓練での実施を検討	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	△・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・村の防災訓練と合同で実施するよう検討する	•H30年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続 △	・実施に向けた取り組みを継続
分内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	検討する	•H28年度	•R7年度	・計画策定を検討中	〇 計画策定を検討中	0	・計画策定を検討中	0	検討する	•H30年度	•R7年度	・計画作成に向けた取り組みを継続	Δ	・計画作成に向けた取り組みを継続 <i>△</i>	・計画作成に向けた取り組みを
)排水設備の耐水化	- 排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	•検討中	O ·検討中	0	•検討中	0	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続
5排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	検討中	O ·検討中		·検討中		・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	^	実施に向けた取り組みを継続 △	・実施に向けた取り組みを継続

					阿見町								河内町		-		
項目事項	内容	実施内容		<u>・期間</u> 一一完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 素施坎	実施内容		施期間 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ***
	対策の主な取組 洪水を河川内で安全に流す対策			•		_		_				_					
	①優先的に実施する堤防整備																
-	②優先的に実施する波浪対策																
	③危機管理型ハード対策																
(2)	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
	①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・ 伝達するための基盤の整備																
		・同報系、移動系(デジタル式)無線 は整備済	•H27年度		・同報系、移動系(デジタル式)無線 は整備済	•	・同報系、移動系(デジタル式)無線を 整備済										
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・町主要施設、企業、土砂災害警戒 区域内の世帯(希望者)へ、戸別受	•H28年度	R7年度	・戸別受信機を設置	•	<u>・戸別受信機を設置</u>	0	<u>・難聴地域に防災行政無線を新設</u> ●	防災無線のデジタル化	・H30年度	R2年度		0	前年度に整備完了済	•	令和2年度に整備済み。故障等の 対応実施。
		信機を設置済・難聴エリアへの増設等を検討する				_	・難聴エリアの特定、防災行政無線の 増設について検討を行っている										A THU XIBS
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機				・消防団員用安全管理資機材(ライ		・消防団員用安全管理資機材(ライ	-	・消防団員用安全管理資機材(ライ								
	材等の配備	がら検討する	*H28年度	R7年度	フジャケット)配備済	•	フジャケット)配備済	•	フジャケット)配備済	・資機材の充実を検討する。	•H28年度	•R7年度	・導入資材の選定について検討	0	特になし	×	特になし >
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	検討する	•H28年度	R7年度	・国や県が設置している既存の設備 を活用する (新たな設置は予定し	•	・国や県が設置している既存の設備 を活用する (新たな設置は予定し		・国や県が設置している既存の設備 を活用する (新たな設置は予定し 〇		・H28年度	R7年度			県へ県管理河川への監視カメラ設 置を要望	0	監視カメラー基、簡易水位計一基 設置
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整	广众は温む知ウロゼリ			ていない)		ていない)		ていない)	・霞ヶ浦流域の浸水想定では対策							
	備及び自家発電装置等の耐水化	- 月 吉は及小心足区域介			しょうに 機士笠 のわ たに 明子 7 ね	•	・災害協定を締結している事業所の			を要しない。							
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・災害協定を締結している事業所の 協力を得る	•H26年度	R7年度	・レンタル機材等の協力に関する協定の締結済		協力を得る	0	・建設リース会社と災害協定締結	・資材の配備拡充	•H30年度	•R7年度		Δ	特になし	×	特になし
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度			・実施について内部検討を行う	0	・実施について内部検討を行う	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度			特になし	×	特になし >
	③河川防災ステーションの整備																
	◎☆ハ州の火ヘナーノゴノの金 畑								L=11 VARIETY 1 = 1= 1 :	REWIND TO THE TOTAL THE TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE T							
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	- 防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度			・庁舎の自家発電設備を設置済み	•	・福祉避難所となる福祉センターの 非常用発電機改修	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度			導入に向けた内部検討	Δ	内部検討中 2
$\overline{\Box}$			* 	<u> </u>	阿見町					<u> </u>	·		河内町				<u> </u>
項目事項	内容	実施内容	実施 着手	西期間 ニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニ	H31(R1)年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	R4年度実績 紫瓶状	実施内容	実注 着手	施期間 完了		実施状況	R3年度実績	実施状況	R4年度実績 ×®
	対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	避難行動のための取組															
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・沙洋今の中で、広は野難計画	・H29年度		・稲敷広域圏市町村で広域避難計	0							·H29.1稲敷地方広域市町村事務組				
	③広域避難計画の策定	・協議会の中で、広域避難計画 (案)を策定する・稲敷広域圏内市町村で検討	·H28年度	•R7年度	・相数広域圏市町村で広域避難計画を検討中・災害時相互応援協定の締結	•	・広域避難は要しない	×	・広域避難は要しない■	・隣接市町村との協定締結	•H28年度	R2年度	- R29.1 相	•	締結済	•	締結済
		·広域避難計画策定後、広域避難			・策定に向けた内部検討・想定最大規模降雨における浸水	^	・広域避難計画策定後、広域避難		・洪水浸水想定区域が掲載されて	・利根川下流管内の洪水浸水想定			・ハザードマップ作成業務委託契約		ハザードマップ・防災ガイドマップの		ハザードマップ・防災ガイドマップの
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	を考慮したハザードマップの策定を 検討する	•H28年度	•R7年度	想定区域のハザードマップを策定し 住民へ周知(H30.7月)	•	を考慮したハザードマップの策定を 検討する	Δ	いる防災ハンドブックを作成、配布 ■ 済	区域図の公表後検討を行う	•H30年度	R2年度	締結	0	作成及び配布済み	•	ハサートマップ・防災カイトマップの 作成及び配布済み
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、整備	・H28年度	•R7年度	・整備に向けた内部検討	_	・洪水浸水総地図の公表後、整備	Δ	・浸水想定深の表示について今後	・利根川下流管内の洪水浸水想定区域図の公表後、整備に向けて検	•H30年度	R7年度	・町内各所に想定浸水深を表示した		前年度に実施済		完了済
	◎よっここようここパップ・インン 正端 加力	に向けて検討する	1120年及	117 平及	・支援に向けた内部検討		に向けて検討する		検討	討する。	1100年及	八千及	看板を設置	_	的千及10天旭 / //	Ľ	JC 1 %4
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・避難訓練等を支援する	•H28年度	•R7年度	・県主催で要配慮者施設管理者等 へ避難確保計画の説明を開催(H	0	・避難訓練等を支援する	0	・福祉施設と避難所開設訓練を実 施	・避難訓練等を支援する。	·H30年度	•R7年度	・対象施設への個別説明	0	特になし	×	洪水時の避難確保計画を改正。
	⑦ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、			•R7年度	31.2月)				町ホームページにて周知								
(2)	地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成			10712					ATTECHIAN								
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインを策定する	・H28年度	R7年度	・水害タイムライン策定済	•	・タイムラインを策定する	0	・タイムラインを策定する	チェックリストの作成	·H28年度	R2年度	・チェックリスト作成済み	•	チェックリスト作成済み	•	作成済み
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラ															_	・県作成タイムラインを各戸配布・
	インの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度			・マイ・タイムラインの作成の促進	0	・HPなどでマイタイムラインを広報 ●	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度			広報にて周知	0	防災ガイドブックに掲載あり
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度			・マイ・タイムラインの作成の促進	Δ	・地区防災計画中にマイタイムラインの記載ページあり ●								・小学生、自主防災組織での講習
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・実践的な訓練を実施する	・H29年度	•R7年度	・タイムラインに基づく実践的な訓練	0	・実践的な訓練を実施する	Δ	・実践的な訓練を実施する △	・震災対応訓練が町内全域で完了 したあとに、水害を想定した訓練を	·H30年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	0	実施に向けた内部検討		河内町総合防災訓練(広域避難)を実施 (住民会加利)
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の				手法等について検討					行う。							実施。(住民参加型)
	現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 化」等の改善																
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																
(3)	防災教育や防災知識の普及				・防災危機管理課、道路公園課で									_	An Well		11.500 - 20.00
	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・設置について検討する	•H28年度	R7年度	対応している	•	・設置について検討する	Δ	・設置について検討する Δ	・設置について検討する	•H31年度	R2年度		0	総務課で対応している	•	対応窓口設置済
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討する	•H28年度	•R7年度	・開催に向けた内部検討	Δ	・実施について検討する	Δ	・実施について検討する Δ	・開催について検討する	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	0	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・自主防、小学生に出前講座を実 施。
	③教員を対象とした講習会の実施	・教育委員会と連携して検討してい	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ	・教育委員会と連携して検討してい	Δ	・教育委員会と連携して検討してい	・実施について検討する	・H31年度	•R7年度		0	実施に向けた内部検討	Δ	内部検討中 //
		・教育委員会と連携して検討してい					《 ④小学生を対象とした防災教育の		④小学生を対象とした防災教育の 🔒								J. 244 de 1 - 104 (W. 5 th 5 T) - 1 (4 C) -
	④小学生を対象とした防災教育の実施	☆月女只☆○足防∪し快削ししい	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ	実施	Δ	実施	・実施について検討する	・H31年度	•R7年度		0	実施に向けた内部検討	0	インの作成を実施。
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度			・特になし	×	・洪水浸水区域を対象に「我が家の タイムライン」作成講習会を実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度			マイタイムラインを活用した講習会 の内部検討	0	・出前講座、マイタイムライン作成講習を実施。
					・防災行政無線、メール配信、ホー			<u> </u>		・情報入手方法などの周知につい							·町総合防災訓練時、災害対策本
	⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・情報入手方法などの周知を行う	•H28年度	R7年度	ムページによる配信 ・メール配信登録の啓発	$ldsymbol{ldot}$	・情報入手方法などの周知を行う	0	・情報入手方法などの周知を行う 〇	て検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	0			部での住民へ情報発信訓練を取り 入れる。
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・HPで川の情報のリンクを付し、情	・H28年度	R7年度	・町HPの防災情報へ霞ヶ浦河川事 務所のHPをリンクし、ライブ映像や	•	・HPで川の情報のリンクを付し、情	^	・HPで川の情報のリンクを付し、情		H28年度	•R7年度			ホームページ掲載に向けた内部検	٨	内部検討中 2
	シハロロ マフィノカアノサッパ目報をリアルダイムで提供	報提供を行う	1120千戊	八千茂	務所のHPをリングし、ライノ映像や 水位計を閲覧できるようにした。	_	報提供を行う		報提供を行う		1120千戊	117 牛皮			討	Δ	ר י במאויאני ד' במאויאני ב
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	検討する	・H28年度	R7年度	・町HPの防災情報へ霞ヶ浦河川事 務所のHPをリンクし、ライブ映像や	•	検討する	Δ	・検討する △		H28年度	•R7年度			実施無し	×	実施無し
\sqcup	, 				水位計を閲覧できるようにした。												

					阿見町									河内町					_
項	内容	実施内容	実於 	短期間 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ****		実施内容	実旅 着手	期間 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	
	の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の	の確保のための水防活動の取組																	Ξ
	効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防団の連絡体制の確認を行う	・H28年度	•R7年度	・消防団が水防団を兼務し連絡体 制は火災対応や訓練で実施してい る	0	・水防団の連絡体制の確認を行う (水防団=消防団のため、分団長 メーリングリストで情報共有)	•	・水防団の理解体制の確認を行う (水防団=消防団のため、分団長 メーリングリスト、グループLINEで情報共有)	· (7	伝達訓練の実施	•H28年度	R2年度	・通信訓練として毎年実施している	0	令和3年度は総合防災訓練未実施	×	・総合防災訓練(広域避難)を実施 し無線による伝達・水防活動後の 域避難を訓練した。	
2	水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	•H28年度	·R7年度	・消防団が水防団を兼務し連絡体制は 火災対応や訓練で実施している・消防団車両に無線機を配備	•	・連絡体制を確保する	0) ·通	連絡体制は確保済	・H28年度	R2年度	・通信訓練の実施	0	令和3年度は総合防災訓練未実施	×	・無線機による隊の統制。	
③ 区	水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い 間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•H28年度	·R7年度	・河川事務所が実施する共同点検 へ参加。	0	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	· #	共同点検への参加	•H28年度	R2年度	・利根川下流管内での共同点検に 参加	0	・利根川下流管内での共同点検に 参加	•	・利根川下流管内での共同点検に 参加	:
4	関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市 町村で合同の水防訓練を実施して いる	•H28年度	•R7年度	・水防訓練を実施	0	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市 町村で合同の水防訓練を実施して いる	×	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	· 実	実施について検討する。	•H28年度	R2年度	・利根川下流管内にて実施	0	令和3年度は合同水防訓練未実施	×	・総合防災訓練、利根川の洪水対 応訓練(広域避難)を実施した。	í
⑤ 促	水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を 進	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP 等で実施している	•H28年度	•R7年度	・広報誌やHP、地区ごとの呼び掛けを実施	0	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP 等で実施している	•	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP等で実施している	・募 る	募集・指定の促進について検討す	・H31年度	R2年度		0	ポスターの掲示及び地区ごとの呼 びかけを実施している	•	ポスターの掲示及び地区ごとの呼 びかけを実施している	
6	地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・建設業組合等との災害協定締結	•H19年度 •H22年度	R7年度	・町内建設業組合等との災害協定 締結済	•	・建設業組合等との災害協定締結	•	・建設業組合等との災害協定締結	· 7	水防支援体制について検討する。	・H31年度	•R7年度		0	・実施に向けた内部検討	0	•内部検討中	
7	内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報を共有し点検を行う	・H29年度	•R7年度	・担当課において点検を実施。 ・災害時は危険箇所の点検を行い 情報を共有している	0	・特になし	×	特になし×	:		H28年度	•R7年度			特になし	×	・危険個所の巡回、排水溝の状況 調査	
(8)	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度			・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	Δ	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	・重	重要水防箇所・水防資機材等の :同点検を実施。	•R3年度	•R7年度			水防箇所の点検を実施	•	水防箇所の点検を実施。品年度オ 実施。	Ē
9	水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度			・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	0	・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	(企	水防団貝の募集、目土防災組織、 ・業等の参画を促すための広報の ・討、実施	•R3年度	•R7年度			毎年募集している	0	毎年募集している	
(10)	水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度			・実践的な水防訓練の検討、実施	×	・実践的な水防訓練の検討、実施	· 庚	実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度			令和3年度は合同水防訓練未実施		総合防災訓練時、水防団は土の意義み訓練を実施。	;
1	水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度			・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	0	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力		広域的、効率的な水防活動の実 に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度			特になし	×	特になし	
	の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動	の回復を可能とするための排水活動の取組	l	•	•													•	_
1)	計画(案)の作成及び排水訓練の実施 排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検 を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討していく	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ	・関係機関と情報を共有して検討し ていく	۷		H28年度	•R7年度			未実施	×	未実施	-
2	排水訓練の実施	・水防訓練時での実施を検討してい く	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ	・水防訓練時での実施を検討していく	Δ	・水防訓練時での実施を検討してい く	١		H28年度	•R7年度			未実施	×	未実施	
3	内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討し ていく	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ	・関係機関と情報を共有して検討し ていく	١		H28年度	•R7年度			未実施	×	未実施	
4	排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度			・排水設備の耐水化	Δ	・排水設備の耐水化 △	• 排	排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度			未実施	×	未実施	
(5)	排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度			・作成に必要な情報の提供	Δ	・作成に必要な情報の提供 △	. I-#	作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度		_	未実施	l ∗ T	未実施	

項目事項	th with		中 板	期間	利根町			1				施期間	香取市			1	
	内容 対策の主な取組	実施内容		完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ****	実施内容		^{施期间} 完了	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ***
	対策の主な収益 洪水を河川内で安全に流す対策				I												
	①優先的に実施する堤防整備																
1 -	②優先的に実施する波浪対策																
	③危機管理型ハード対策																
(2)	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
	①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・ 伝達するための基盤の整備																
		叶巛無値(同却で)のごだちょル			中长40-11-12-7		中午乳乳ウフ		•実施設計完了								
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線(同報系)のデジタル化 実施設計(H28年度) ・防災無線(同報系)デジタル化エ	·H28年度	H30年度	・実施設計完了 ・防災無線(同報系)デジタル化工	•	・実施設計完了 ・防災無線(同報系)デジタル化工	•	・防災無線(同報系)デジタル化工事 (H29年度~H30年度) ・防災行政無線情報連携配信サーバー	・防災無線が聴き取りずらい世帯に	·H28年度	•R7年度	・市町合併以前から、貸与は実施しており現在も継続中。特に浸水想	0	防災行政無線のデジタル化に向		・防災行政無線デジタル化に向けた 更新工事入札執行済。3月本契約 (
	心側欠可以無線の成長、例欠フラオ等の配刊	事	•H29年度	口30年及	事(H29年度~H30年度)	•	事(H29年度~H30年度)	•	である。 改修。 固定電話と連動したテレホンサービス	対し戸別受信機の貸与を進める	- 日20平皮	-17.4.及	定区域にある要配慮者施設へ積極 的な配布を実施		け実施設計業務を実施		締結予定。
									を実施。	destruction on the second of							
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機 材等の配備	・水防団員の安全を図る資機材の 充実	•H29年度	•R7年度	・水防団(消防団)の安全を確保す るための資機材を整備	0	・水防団(消防団)の安全を確保するための資機材を整備	0	今年度については特に実施してい ない。		•H28年度	R7年度	・新技術を活用したものではない が、基本的な水防資機材は配備済	•	新技術を活用したものではないが、基本的な水防資機材は配備済	•	・ 新技術を活用したものではない が、基本的な水防資機材は配備済
		水位や雨量に関するデータを提供					・町で作成した防災の手引きに、国			ている ・利根川以北が対象となる事から、							
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	するサイトの情報を周知	•H30年度	H30年度			土交通省が提供する河川情報サイトへのリンクを掲載する。	•		横利根川の水位データを市のホー ムページにリンク貼り付けをする	•H28年度	R7年度	・川の防災情報へのリンク済み	•	川の防災情報へのリンク済	•	川の防災情報へのリンク済
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎は浸水想定区域外で自家発電装置有り								・利根川以北の地形特性上、氾濫 水が貯留される事から避難誘導を	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続
		・内水被害危険箇所の対策、排水	una fr str	on fr. str			内水被害危険箇所の対策、排水		・内水被害危険箇所の対策、排水 。	優先する		D7 47 47	・内水ハザードマップを配布し啓発	_	West a weet site		West A Wild to the
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	ポンプの準備	•H28年度	R7年度			ポンプの準備	Δ	ポンプの準備	・浸水実績図の作成を行う	•H28年度	•R7年度	を行っており、災害時の巡視を実施	0	・災害時の巡視を実施		・災害時の巡視を実施
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度			・重要施設の雨水排水整備の実施	Δ	・重要施設の雨水排水整備の実施 △								
	③河川防災ステーションの整備																
	◎四川WJ火ヘナーノコンUI室岬																
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の災害対策用備蓄品の 整備等	•R3年度	•R7年度			・押付地区水防センター等の備蓄 品の補充。	0	・押付地区水防センター等の備蓄 品の補充。								
	I I	1	<u>I</u>	L	利根町	1	1	1		T			I 香取市				<u> </u>
項目事項	内容		実施	期間	科板町 R3年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	R5年度実績 寒藤坎	寒施内容	実	施期間	食取币 R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ***
	 対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な	I E	<u> </u>	九」							1 万十	九」				l .	
(1)	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																
	③広域避難計画の策定	・稲敷広域組合構成市町村で検討	•H28年度	R2年度	・稲敷広域組合構成市町村により 災害時相互応援協定(広域避難含	•	・稲敷広域組合構成市町村により 災害時相互応援協定(広域避難含		・稲敷広域組合構成市町村により 災害時相互応援協定(広域避難含 ●	・隣接自治体との協定締結など事 前の調整を図った上で、広域避難	. ⊔28 年 度	•R7年度	・協定市間(稲敷市、潮来市、神橋市)において広域避難所(7箇所)を設定した。計画策定に向け、引き続き協議を進める。	0	 市町村災害対応統合システム(IDR4M)の実務 訓練を通じた、情報共有要領及び連携要領につ 		・ 市町村災害対応統合システム(IDR4M)を活用
	◎ □ → 東 ○ □ □ ○ → ▼ C	開始	1120年及	172千/文	む)を締結		む)を締結	_	む)を締結	計画を策定する	1120平及	11.7 千及	- H31.1.24 協定市間で計画策定への問題点抽出のため、DIG訓練 を実施した。)	いて確認	Ŭ	し、避難情報等の配信に向け参考として活用
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水	•H30年度	H30年度	・防災の手引き及びハザードマップを作成し、防災の手引きの中にはマ		・防災の手引き及びハザードマップ を作成し、防災の手引きの中にはマ		・防災の手引き及びハザードマップを作成 し、防災の手引きの中にはマイタイムライン を掲載し、各戸配布により周知を図る	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、新たな洪水ハザードマッ	・H28年度	•R7年度	 ・想定最大規模時間における洪水を対象としたハザードマップを作成するため、仕様等の調整を行った。 ・1430年度に想定最大規模時間における洪水を対象としたハザードマップを作成した。翌年度に配布周知を図る予定。 	0	 3回の説明会を実施。回数が少ないのは、コロナ禍のため、開催ができないため 	0	ハザードマップの策定完了し、各戸配布済。市民 へ周知するため、出前講座等の要望に対し、積極 (
		ハザードマップを策定する			イタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る		イタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る		広域避難については考慮していないため、 〇に変更とする。	プを策定する			H31年度に前年度に作成したハザードマップを全戸配布し、ホームページへも掲載し、市民への周知を行った。	0	7 何のため、財産ができないため		的に対応。
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度	•R7年度	・H30年度に指定避難所の案内看板を設置する・浸水想定深の表示看板について	0	・H30年度に指定避難所の案内看板を設置する・浸水想定深の表示看板について	0	想定浸水深表示看板設置につい て,令和5年度に町内25箇所設	・避難所等の施設に、避難経路に 関する案内表示板等の設置を検討	・H29年度	•R7年度	・市内の一部に設置済であるが、拡 充について検討中。	0	・ 見直しを検討中	0	・見直しを検討中(
		に同けた検討を打り			は、今後検討		は. 今後検討		置。	する			・計画作成の概要、作成例等を市ホーム				
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・避難訓練等を支援する	•H29年度	•R7年度	・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練実施を促進する	0	要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練実施を促進する	0	・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練実施を促進する ○	・作成に必要な情報の提供及び策 定を支援	・H28年度	•R7年度	ページに掲載し、作成支援を行った。また 計画未作成施設へ作成依頼の通知を行っ	0	 94/99(94%)が避難計画を作成を確認 	0	要配慮者利用施設の避難確保計画策定率は100%を達成した。
	⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、												120				
(2)	地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																
(2)	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・避難に着目した利根川・小貝川洪 水タイムラインを策定し、随時見直	•H28年度	R元年度	・利根川・小貝川に対応したタイムラインを作成済み。(令和元年8月更		・利根川・小貝川に対応したタイムラインを作成済み。(令和元年8月更		・利根川・小貝川に対応したタイムラインを作成済み。(令和4年1月更	・タイムラインの策定:見直しを行う	・H28年度	•R7年度	・作成中、広域避難協定市との調整	0	・作成中、広域避難協定市との調整		・作成中、広域避難協定市との調整
		しを図る。			新)	ļ-	新) ・町のホームページや, 町で作成し	Ť	新)		170	, , ,	を今後更に行う		を今後更に行う	-	を写使更に行う
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度			た防災の手引きに、マイ・タイムラインに関する情報を掲載	0	広報紙等にマイ・タイムラインに関する情報を掲載	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	·R7年度			・R4.3.23 マイタイムライン講習会を実施	0	マイ・タイムラインの作成を出前講座に追加。
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施								茨城県と合同で各地区の代表者及 び防災士の方向けにマイ・タイムラ ●								マイ・タイムラインの作成を出前講
								<u> </u>	インの講習会を行った。 地震災害を想定した訓練ではあるか3	・震災に対する訓練のみであったた		1					座に追加。
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・実践的な訓練について検討する	•H29年度	•R7年度	・実践的な訓練の実施を検討する	0	・実践的な訓練の実施を検討する	0	6地区の内26地区が参加し、「共助」 の意識向上に対し、大きな一歩を踏み 出せた。	め、隔年で水災害対象の訓練を実 施するなど検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実																
	化」等の改善 ⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラ	;															
(6)	インの構築) 防災教育や防災知識の普及																
(3)	防災教育や防災知識の晋及 ① ホ災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・水災害に関する問い合わせ窓口	•H29年度	RH29年度	・総務課担当課において問合せに		・防災危機管理課担当課において	•	・防災危機管理課担当課において	・水災害に関連する担当課が連携を 執って、問い合わせ窓口を設置してい	.山20年中	R7年度	・水災害に関連する担当課が連携を執って、関い合わせ窓口を設置	•	・水害に関連する担当課が連携を		・水害に関連する担当課が連携を
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を設置	1727千茂	八口27年及	対応	_	問合せに対応 ・町の出前講座を実施し、ハザード	<u> </u>	問合せに対応 ・町の出前講座を実施し、ハザード	<u> </u>	TIZ0平反	八十茂	を執って、問い合わせ窓口を設置 済。		執って、問い合わせ窓口を設置済。		執って、問い合わせ窓口を設置済。
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・町の出前講座を実施し、水防災に ついて周知を図る	•H28年度	•R7年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明	0	・町の出削講座を実施し、パザート マップや災害情報の収集方法等に ついて説明	0	・町の出削講座を実施し、ハザート マップや災害情報の収集方法等に 〇 ついて説明	・自治会等への出前講座による周 知を図る	•H28年度	•R7年度	・自治会等からの要請により実施している	0	・自治会等からの要請により実施し ている	0	・自治会等からの要請により実施している
	③教員を対象とした講習会の実施	・実施について検討する	・H29年度	•R7年度	・町教育委員会と調整し、実施につ	0	・町教育委員会と調整し、実施につ	0	・町教育委員会と調整し、実施につ	・洪水ハザードマップにより、浸水範囲 の再確認、学校での水災害における過	→H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・R1年度に要望があった中学校に今年度作成したハザードマップ		・R3.8.2 教員を対象とした防災教育	0	・次年度実施に向け調整中(
		2001 (1881)	- FIX	۲/2	いて検討する		いて検討する	<u> </u>	いて検討する	難体制の整備について促進する	·····	+1X	を防災教育用として数十部単位で配布。	•	の実施		・次年度実施に向け調整中
	④小学生を対象とした防災教育の実施	・小学校で防災講習会を実施	•H29年度	•R7年度	・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。	0	・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。	0	・引き続き町内小学校で、マイタイ ムライン作成等を実施する。	・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する	•H29年度	•R7年度	・H30.11.17 小学生を対象に水防に 関する出前講座を実施。	0	・ 実施に向けた取り組みを継続	Δ	・市内小学校からの要請により、水 (防災教育を実施
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の	H28年度	•R3年度			*十久川への仏塚避難訓練にし、地区の代表者及び防災士の方々に対した城路難に関する議座を実	•	・地区の代表者及び、防災士の方 へのマイ・タイムライン講習会の実	・出前講座等を活用した講習会の	H28年度	•R7年度			・自治会等からの要請により実施	0	・自治会等からの要請により実施
		天池					対し、広域避難に関する講座を実		施。	実施		1	・庁起処取がいつで用かりでいる		している		している
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・プッシュ通知での防災情報の配信	H28年度	•R3年度			・町行政アプリによるプッシュ通知で の防災情報の配信	•	・町行政アプリによるプッシュ通知で の防災情報の配信	・情報入手方法等を、再度周知する	・H28年度	•R7年度	・広報紙及びHPで周知している ・R1年度にYahoo!防災速報アプリで 情報発信できるよう数機した	0	・ 千葉テレビのデータ放送との連携を開始	0	・ 千葉テレビのデータ放送との連携を継続 (
												1	情報発信できるよう整備した。 ・市のホームページに、リンクの貼り				
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・水位やライブカメラ等の情報を提供するサイトの情報を周知	H28年度	•R7年度			・町で作成した防災の手引きに、国土交通省が提供する河川情報サイトへのリンクを掲載する。	Δ	・町で作成した防災の手引きに、国土交通省が提供する河川情報サイムトへのリンクを掲載する。	・市のホームページに、リンクの貼り付けをする	・H28年度	•R7年度	・市のホームペーシに、リンクの貼り 付けており、そのリンク先の更新状 況を確認した。	0	・リンク先の更新状況の確認	0	・リンク先の更新状況の確認
												1	から と 単独 即の ひ / こ。				
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	許可工作物管理者への防災教育の実施	H28年度	•R7年度			・許可工作物管理者への防災教育の実施	Δ	・許可工作物管理者への防災教育 の実施	・履行検査時において周知を行う	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
1 1	1		ĺ								1]			1	

			15 40 00					_	_			- #n oo		_	1			
内容	実施内容		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状	実施内容		期間	R3年度実績	実施状況	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	
International Control of the Control	Mark 88 .	有士	元」								万 十	元」				ш'		
対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避り より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	推時間は																	
よう効果的な小例沿動の実施及び小例体制の強化		1		・消防団が水防団を養務しており、防災無線(利	名 都h	・消防団が水防団を兼務しており、防災無線(移動		消防団が水防団を兼務しており、防災無線(移動	th			1				$\overline{}$		
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実	・水防団への連絡体制の確保	•H28年度	•R7年度	系)及び消防団登録メールによる連絡体制を取 ている。伝達の確認や実施については、日頃の 練や火災現場等で行っている	O IIII O	系)及び消防団登録メールによる連絡体制を取っている。伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等で行っている	0	系)及び消防団登録メールによる連絡体制を取っている。伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等で行っている		・国の情報伝達訓練に合わせ訓練 を実施する	・H28年度	•R7年度	・H30.5.11の国の情報伝達訓練に合わせ訓練を継続して実施している	0	・R3.7.14の国の情報伝達訓練に合わせ訓練を継続して実施している	0	・国の情報伝達訓練に合わせを継続して実施している	上訓絲
②水防団同士の連絡体制の確保	・水防組合による会議・訓練により 連絡体制を確保している	•H28年度	•R7年度	 消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は 訓練や火災現場等で実施している 稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保しいる 		・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、 訓練や火災現場等で実施している・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している	0	・消防団が水防団を業務しており、連絡体制は、 訓練や火災現場等で実施している・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している	. 0	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)は既に整っている	•H28年度	•R7年度	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)を整えており、H31.4.1現在の情報に更新した。	0	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)を 整えており、R3.4.1現在の情報に更新 した。	0	・水防団(消防団)連絡網(連絡化整えており、R5.4.1現在の情報にした。	
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが 区間の共同点検	が高い・利根川区間の共同点検を実施している	•H28年度	•R7年度	・河川事務所が実施した合同点検に参加	0	・河川事務所が実施した合同点検に参加	0	・河川事務所が実施した合同点検に参加	0	・合同巡視の際に、地域住民の参加を検討する	•H29年度	•R7年度	・地域住民へ合同巡視の参加要請を検討中	0	・地域住民へ合同巡視の参加要請を検討中	0	・地域住民へ合同巡視の参加 を検討中	四要
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防組合による水防訓練に参加	•H28年度	•R7年度	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・毎年度、実施している	•H28年度	•R7年度	・R1.5.26 水防実技研修会を実施した	0	・コロナウイルスにより未実施	0	R5.5.28開催の第71回利根川: 水防演習に参加した。	水系
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・排 促進	^{指定を} ・促進について検討する	•H29年度	•R7年度	・水防協力団体の募集・指定を検する	^討 O	・水防協力団体の募集・指定を検討する	0	・水防協力団体の募集・指定を検討する	o	・水防に関し広報紙により募集・指 定の促進を図っている	•H28年度	•R7年度	・香取広域消防本部の消防団員募集に合わせてホームページにて募集を実施した。		・香取広域消防本部の消防団員募 集に合わせてホームページにて募 集を実施した。		・香取広域消防本部の消防団 集に合わせてホームページに 集の実施を検討した。	
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・町建設業協会と災害協定を締結し 支援体制を確立している	・H18年度	H18年度	・町建設業協会と災害協定を締結 支援体制を確立している		・町建設業協会と災害協定を締結し 支援体制を確立している	•			・実施を検討する	•H28年度	R7年度	・建設業協会と「地震・風水害。その他の災害応急対策業務協定」を締結した		・建設業協会と「地震・風水害その 他の災害応急対策業務協定」を締 結済	•	・建設業協会と「地震・風水害 他の災害応急対策業務協定」 結済	
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・把握および情報共有を行う	•H29年度	•R7年度	・危険箇所の把握・情報共有を検する	計 O	・危険箇所の把握・情報共有を検討 する	0	・危険箇所の把握・情報共有を検討する	0	・浸水実績図の作成を検討する	•H29年度	R7年度	・内水ハザードマップを配布し啓発を実施。	•	・内水ハザードマップを配布し啓発 を実施。	•	・内水ハザードマップを配布し を実施。	,啓
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・堤防の共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度			・堤防の共同点検を実施。	0	・堤防の共同点検を実施。	0	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度			・重要水防箇所の共同点検を実施した。	•	・重要水防箇所の共同点検をした。	<u>:</u> 実
③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る)	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度			町ホームページにて、水防団募集 に関する情報を掲載	0	町ホームページにて, 消防団募集 に関する情報を掲載	0	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	·R7年度			・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度			・実践的な水防訓練の実施	0	・実践的な水防訓練の実施	0	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	·R7年度			・コロナウイルスにより未実施	×	R <mark>5</mark> .5.28(こ実施	
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度			水害時に、消防署・警察署との連絡 調整を行う	0	水害時に、消防署・警察署との連絡 調整を行う	0	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	·R7年度			・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経	済活動		•								•	•						_
非水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	1.排水烧捏,烧阳,水阴军不佳和井	1			_			1				1			T		1	
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等 討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の付		H28年度	•R7年度			・排水機場・樋門・水門等の情報共有、 排水手法等の検討を行い、大規模水 害を想定した排水計画(案)の作成	Δ	・排水機場・樋門・水門等の情報共有、 排水手法等の検討を行い、大規模水 害を想定した排水計画(案)の作成	Δ	・排水ポンプの設置箇所の選定まで 行った排水計画(案)の作成を検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	H28年度	•R7年度			・排水訓練の実施	Δ	・排水訓練の実施	Δ	・防災訓練と合同で実施するよう検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継ん	続
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	H28年度	•R7年度			・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	Δ	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	Δ	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成を検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度			・排水設備の耐水化	Δ	・排水設備の耐水化	Δ									
⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度			・作成に必要な情報の提供	^	・作成に必要な情報の提供	١.	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度			作成に必要な情報の提供		・作成に必要な情報の提供	

			控散地方广域市町	计重数组合					D+	貨物鉄道(株)					鹿島臨海鉄道	t/ it \	
目事項 内容	実施内容	実施期間	稲敷地方広域市町村 R3年度実績	₩₹ R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況 実施内容	実施	期間 1925年度主持	実施状況 R4年度実績	実施状況 R5年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	R3年度実績 実施状況		実施状況 R5年度実績
ハード対策の主な取組 (1)洪水を河川内で安全に流す対策								70.7	,,,,								
①優先的に実施する堤防整備																	
②優先的に実施する波浪対策																	
③危機管理型ハード対策																	
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																	
①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・ 伝達するための基盤の整備																	
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																	
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備																	
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置																	
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の 整備及び自家発電装置等の耐水化																	
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備																	
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 重要施設の雨水排水整備の実施																	
⑧河川防災ステーションの整備																	
⑨庁舎等の防災拠点の強化																	
			稲敷地方広域市町村	寸事務組合						貨物鉄道(株)					鹿島臨海鉄道	直(株)	
目事項 内容	実施内容	実施期間 一 一 一 一 一 一 一 一	_	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況 実施内容	実施	期間 R3年度実績 完了	実施状況 R4年度実績	実施状況 R5年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 差手 完了	R3年度実績 実施状況	R4年度実績	実施状況 R5年度実績
ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な (1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	避難行動のための取組						1										
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																	
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																	
③広域避難計画の策定																	
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																	
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥ 亜乳 虚 老利 田佐 恐 の 非難利 頭 の 佐 は ひょく 別 は の 伊 オ																	
⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用																	
ト、地図情報の活用 (2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																	
①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																	
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイム																	
ラインの作成																	
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施																	
④タイムラインに基づく実践的な訓練																	
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級 の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 化」等の改善																	
⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホット ラインの構築)																	
<u>'</u>									<u> </u>								
(3) 防災教育や防災知識の普及 ①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置																	
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施																	
③教員を対象とした講習会の実施																	
④小学生を対象とした防災教育の実施																	
⑤出前講座等を活用した講習会の実施																	
⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信																	
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供																	
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施 ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間	の確保のための水防活動の取組																
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	10 CONTROL 1 TO 188																
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施																	
②水防団同士の連絡体制の確保																	
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い 区間の共同点検	・共同点検に消防本部として参加	・H28年度 ・R2年度		・河川事務所が実施する共同点検に 本部として参加。	- 消防 〇 ・河本語	「川事務所が実施する共同点検に消防 部として参加。	0										
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・年1回霞ケ浦地区水防訓練を実施	-H28年度 -R2年度		・霞ヶ浦地区水防訓練に消防本部と		ケ浦地区水防訓練に消防本部として加。	0										
	干・回旋 / 加地匹水柳町林と大池	1120-132 112-132		参加。	参加	DQ .	0										
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を 促進																	
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築																	
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有																	
	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点 検を実施。			・稲敷広域消防管内市町村と連携し	取組	敷広域消防管内市町村と連携し取組											
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・主女小の国別・小の貝候や寺の共同点検を実施。	-R3年度 -R7年度		を行う。	△ を行	放仏域内 所官内川町村と建族し収組 う。	Δ										
②水防に関する広報の本定/水防用品効果に成す事命	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	■ -R3年度 -R7年度		・稲敷広域消防管内市町村と連携し	取組 , ・稲	敷広域消防管内市町村と連携し取組	Δ										
⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	サい多四で近りにのの仏教の快討、美胞	5 八3十段 1八千度		を行う。		すう。	Δ										
⑩水防訓練の充実	実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度 •R7年度		・稲敷広域消防管内市町村と連携し 防訓練の充実を図って行く。	. 水 🛕 稲	敷広域消防管内市町村と連携し、水	Δ										
				別回明末の元夫で囚つて打く。	E CVI	訓練の充実を図って行く。											
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	·広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度 •R7年度		・協議会や訓練等を通じて水災害に た連携強化を図って行く。	向け Δ ·協 た道	議会や訓練等を通じて水災害に向け 連携強化を図って行く。	Δ										
ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動					/												
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																	
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検 討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成																	
②排水訓練の実施																	
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成																	
④排水設備の耐水化																	
⑤排水準備計画の作成																	